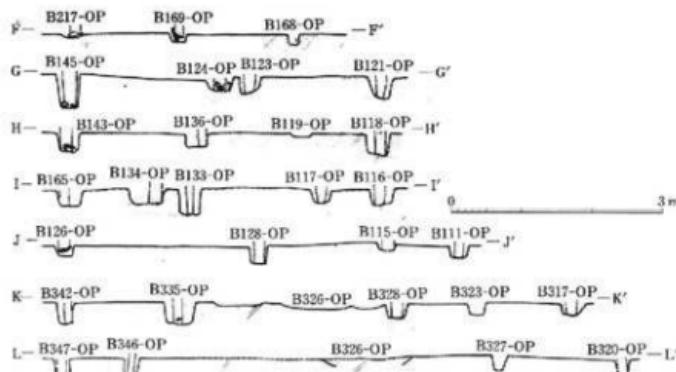
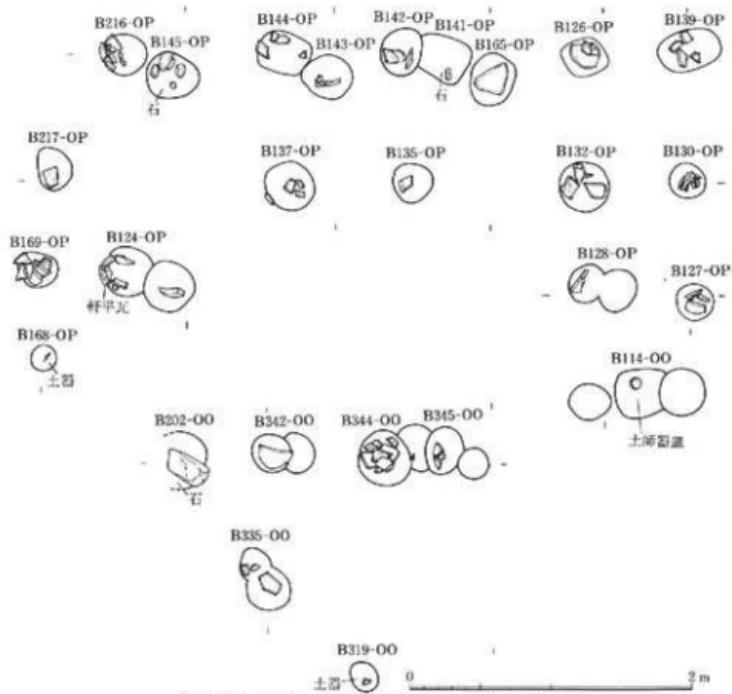


第148図 B144-OB、B324・325-OB 遷換図



第149図 建物B144-OB断面図(T.P.27.2m)



第150図 B144-OB・根固め(瓦・石)出土状態図

柱穴・ビットがある。これらからは、瓦器（椀・皿）・土師器（釜・皿類）・陶磁器と井戸に伴って井戸枠の曲物など、転用された平安時代の瓦塊類などが出土している。そのなかでB144-O Bは類をみない大型で特異な建物と判断した。

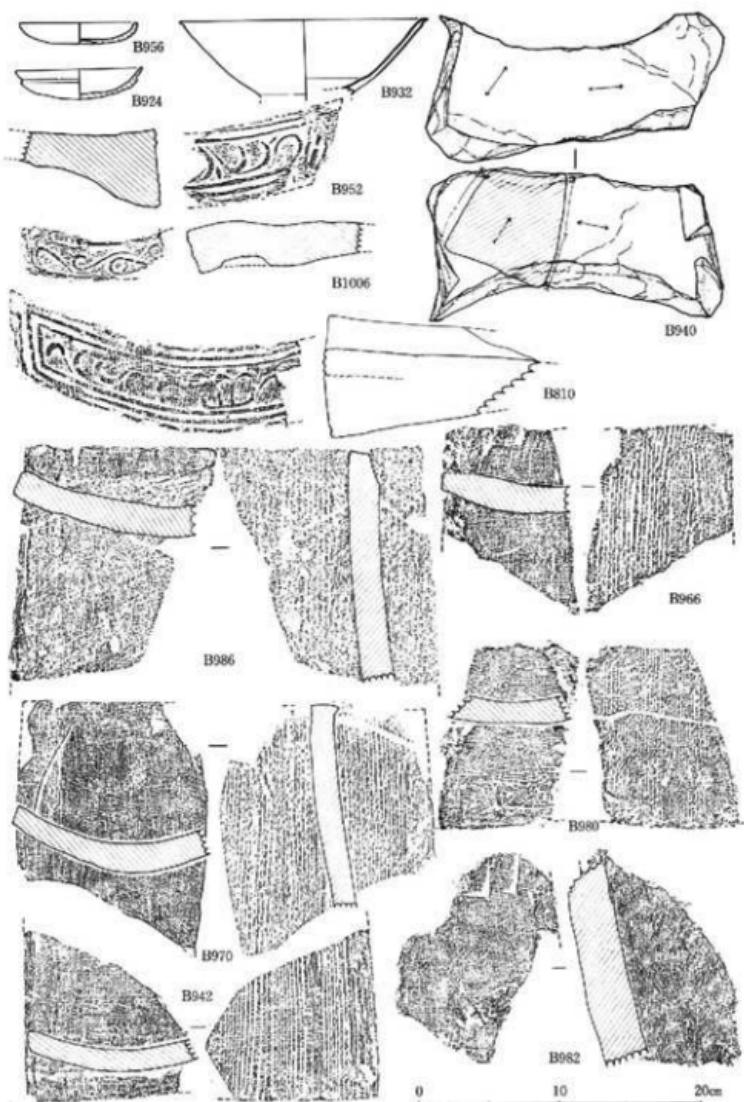
建物はB2区から3区のLG～LL・MG～ML・NG～NL地点で検出した掘立柱建物である。B168・169・217・216・145・124・123・122・121・118・119・120・136・137・144・143・148・142・141・135・134・133・117・116・115・111・110・114・167・128・131・132・126・140・147・146・139・130・127・113・109・107・108・112・125・129・138・201・202・203・204・205・206・207・208・315・317・323・328・335・341・342・343・349・350・351・348・338・336・319・320・321・322・327・337・340・339・344・335・346・347・334-O Pで構成されている。その他にB324・209・318・325・326-O Pの柱穴がある。

主屋となる建物で、東面に造り付けのカマド（B329-O X）を持ち、その周りからは柱穴が検出されず土間であったと思われる。B・C-133O Sに並行して建てられており、桁行7間×梁行5間で、北面の東と西面にそれぞれ1間（1.0～1.1m）の庇をもった東西に長い建物と考えられる。南面中央は鍵の手状になり1間半の入口を持つと推定される。主屋は、身舎の棟柱通りや主柱に添って柱穴が見られ床束であろうと思われる。土間の西側には2間×2間半の2室とカマドの北側に1間の1室を想定することも可能ではないかと考えたい。このように考えると、建物全長桁行16.7m、総面積は112m²（約28坪）と、かなり大型の釜屋建物である。なお柱間寸法は桁方向で2.1m前後、梁方向ではバラツキを見せ、1.8・1.7・1.5mなどをとる。建物はN-78-Eとはほぼ南面している。柱痕は、円形で径20～15cm前後を測り、根がためや根石がわりに瓦を使用するものが多い。西～北面に多く使用が認められる。柱を立て直したためかも知れない。しかし焼土面等は検出されていない。掘方は基本的には円・梢円形で、径約40～20cmが平均的な規模である。埋土は、褐色混じりの灰色土もしくは灰褐色土である。深さは、深いもので40cm程であり、浅いものは検出面で根石の瓦が表われ、もとの建物面が削平を受けていると思われる。

この中にはB124・B139-O Pのように、柱を瓦でとり囲むものや、乱雜に瓦をほり込んで根石とするものがある。また、B202-O Pのように肩平な自然石を柱穴いっぱいに入れているものがある。

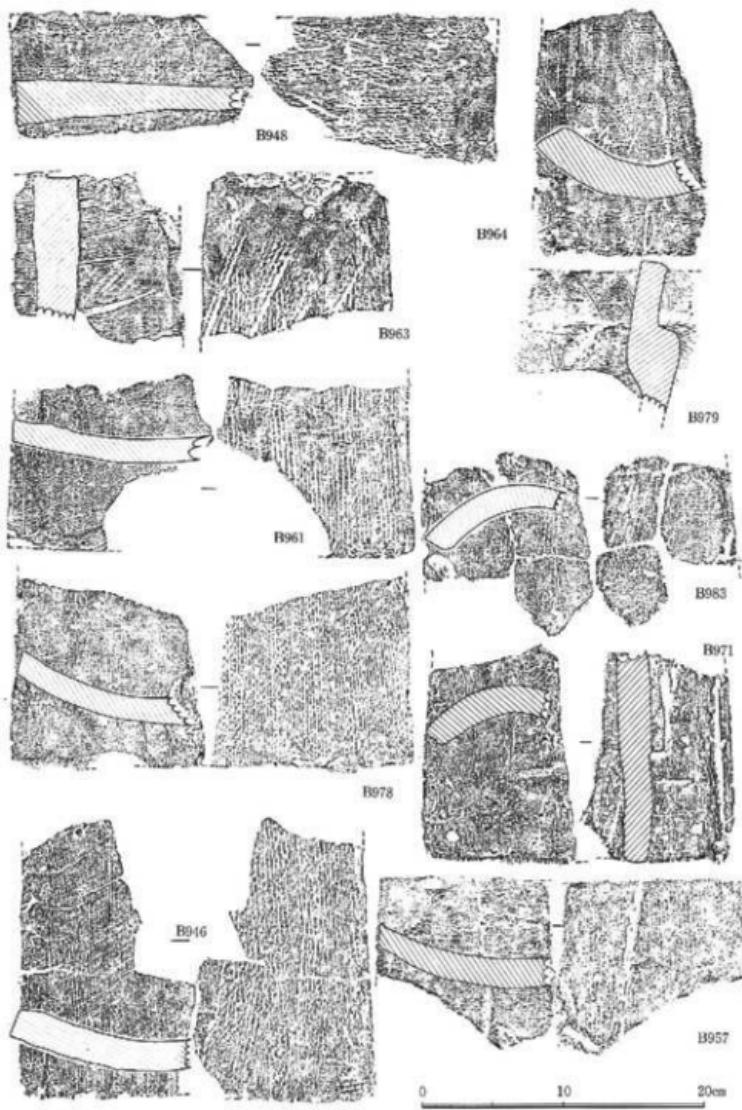
また建物の北に櫛B325-O Fと北西端にB149-O Oを持つ。

遺物は柱穴より土師器・瓦器の細片と白磁片（B932）、根石としての砥石（B940）と



第151図 B144-O B出土遺物

B114-O P(B956)・B167-O P(B924)・B112-O P(B932)・B335-O P(B952)・B342-O P(B940)・B144-O P(B1006)・B124-O P(B810)・B217-O P(B986)・B169-O P(B966)・B216-O P(B970)・B137-O P(B980)・B139-O P(B942)・B130-O P(B982)



第152図 B144—OB出土遺物

B344—O P (B948・979)・B145—O P (B964)・B139—O P (B963)・B169—O P (B961、971)・B2
16—O P (B978)・B130—O P (B983)・B142—O P (B946)・B132—O P (B957)



第153図 B126-O P出土遺物

B・C614-O B (第159図 図版45・50)

B2区南端とC4・C21区にかけて広がっていたと思われる掘立柱式の建物である。建物は、細分化となった各調査区で確認した柱穴を検討した結果、復原した。しかし、現代井戸・水路・矢板ぎわの搅乱の為必ずしも全容が明らかとなった建物ではない。C2区で4間×2間の小規模な建物 (C359-O B) が独立するという意見があるが、一連の建物と考え、B618・B615・B613・B612・B95・B611・B614・B616・B619・C801・C

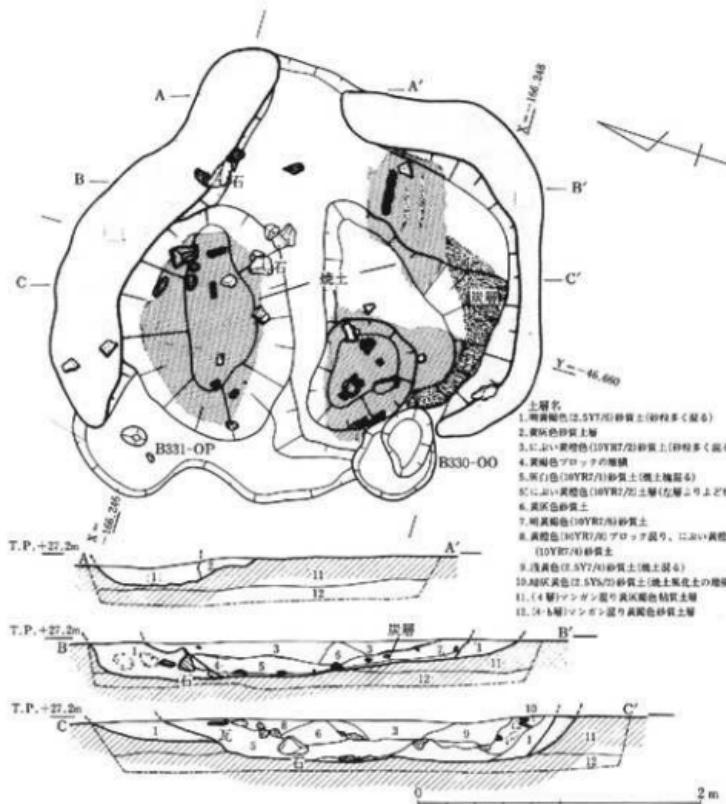
瓦類が出土しているが、時期を決定できる物としてK14KK直上で完形の瓦器椀、B114-O Pからは完形の土師器皿 (B956) を検出しており地鎮の物と思われる。

B100-O F (第156・157図 図版45)

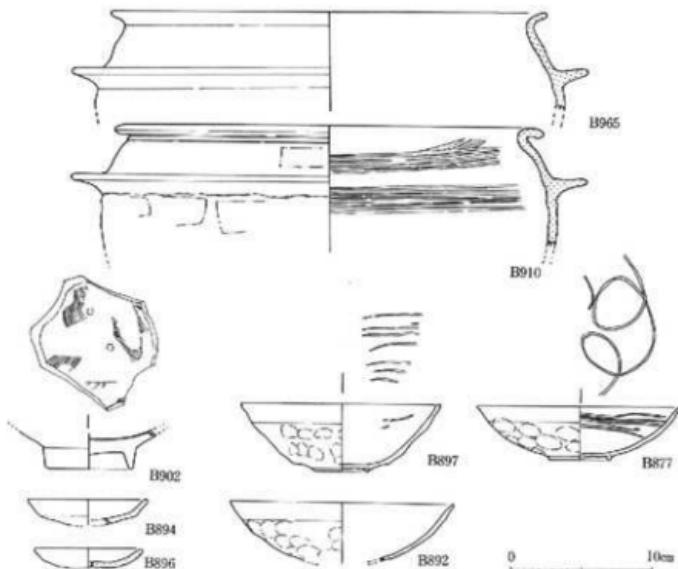
B2区K14QBでB126-O S上に穿たれたピットの並びを検出した。B103・B102・B101・B100-O Pの4ピットを確認できたのみであるが、少なくとも2m以上の短い櫛列と考えておきたい。ピットは径約30~25cm・深さ約15~10cmで柱痕は確認できなかった。櫛列の主軸方向はN-86°-Eを計る。他にはピットが検出されていないので、性格として建物B616-O Bに関係した施設で一種の樁突きのピット列の可能性を考えておきたい。

なお、B101-O Pから一部口縁部を欠失するがほぼ完形の瓦器椀 (B829) が出土した。五寸の瓦器椀で、張り付け高台が逆三角形を呈し、内面に平行暗文を施す。尾上編年III-2型式の椀である。

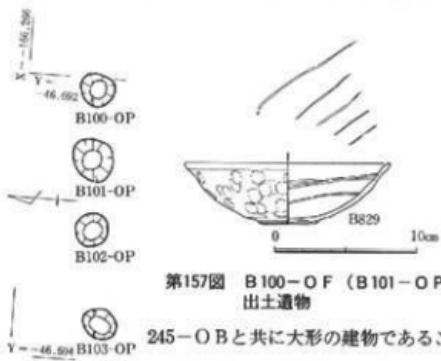
800・C786・C788・C791で構成されていると考えておく。そうすると建物は桁行9間(18.45m)×梁行4間(8.7m)の南北棟と考えられ、南側の梁行は2間となっている。但し延長上にC309-O Pがあり、桁行7間分まで梁行4間であった可能性があるがその他の柱穴は検出されていない。北端の1間分は突出部(角屋)となる可能性がある。建物の主軸方位はN-54°-Eを測る。これは他の建物(B144-O B)と比べ若干南北に振っている格好となっているが、大溝B・C133-O Sの振りに合わせている為と思われる。北側では東柱が認められる。建物構造は、柱間の間隔などから3室を想定できそうであり、



第154図 B329-O X 造構図



第155図 B329-OX (B965・910・897・877) B316-OO (B902・894・896・892) 出土遺物

第156図 B100-OF (B101-OP)
出土遺物

入口は南ないし南東面の可能性がある。柱間寸法は2.25・2.10・1.95mを測り、7尺半・7尺・6尺半が認められる。柱穴は概ね方形ぎみの円形で、直径約45~70cmを測る。柱掘方は深さ30~40cmを測る。検出できた柱痕は20cm前後である。A157・133・

245-OBと共に大型の建物であることが解る。

柱穴からの出土遺物は、ごく少量の古墳時代須恵器と、瓦器・土師器の細片である。

第157図 B100-OF 遺構図 この建物の北東に近接した井戸B250-OWの掘方からは瓦器挽が出土しており、この建物の築造時期を示していると考えられる。

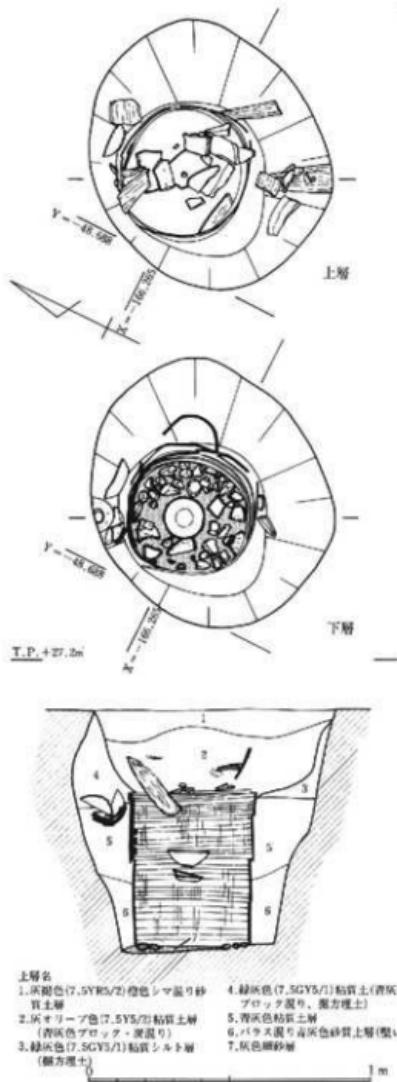
B 250-O W (第158~161図 図
版90・168・172)

B 2 区 K14Q D で検出した井戸である。B 614-O B の北に位置する。掘方の平面の形状は長径約 0.95m・短径約 0.85m の橢円形で、底部径約 0.55m・深さ約 0.85m を測る。古墳時代河川上に掘られており、井戸の構造は、湧水層まで掘り下がった土坑の底面に井筒曲物を 2 段積み重ねて据え付け、周囲を固め、掘方内に瓦器碗 5 つを入れて地鎮している。井筒の中には湧水層の砂が上がるのを防ぐ為に砾を敷き詰めている。

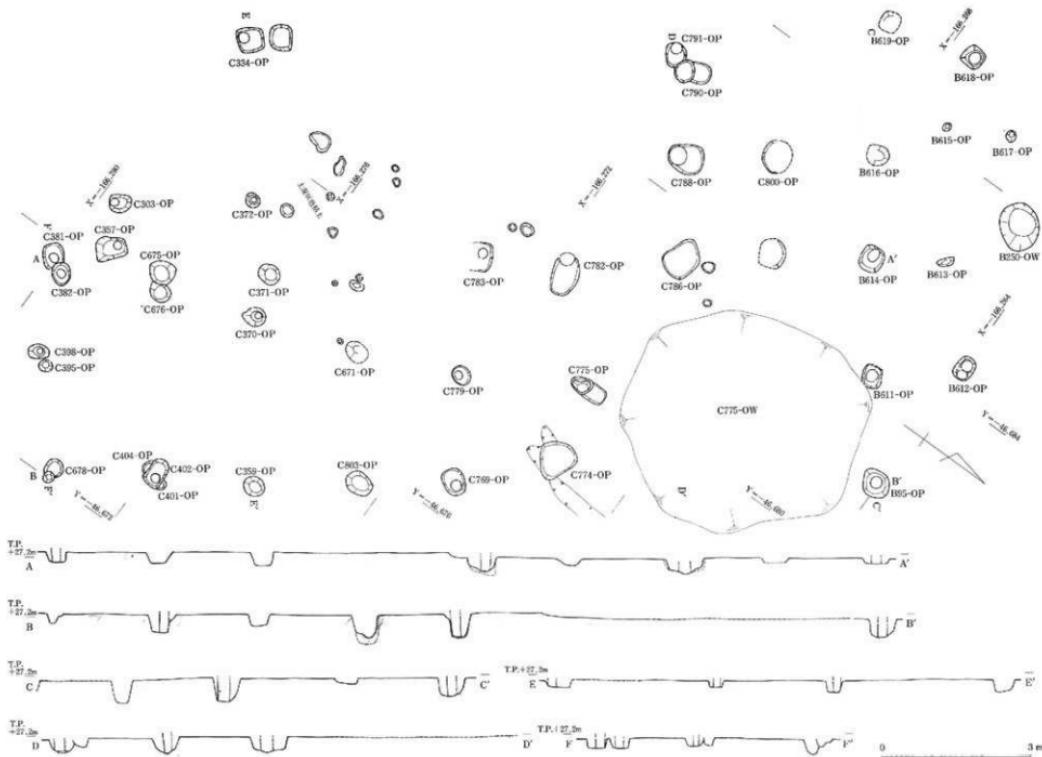
掘方の埋土は、青灰色粘土混じりの緑灰色粘質土ないしパラス混じりの砂質土であった。その土層を切って灰褐色砂質土と灰オリーブ色の粘質土の窪みが観察され、井筒の抜き取りの堆積と思われる。

曲物は二段分を検出しただけであるが、本来、もう一段分は発かれていたと思われる。二段ともほぼ同径で約 0.44m・現存高は約 0.55m を測る。それぞれの曲物をただ単純に積み上げただけのようである。

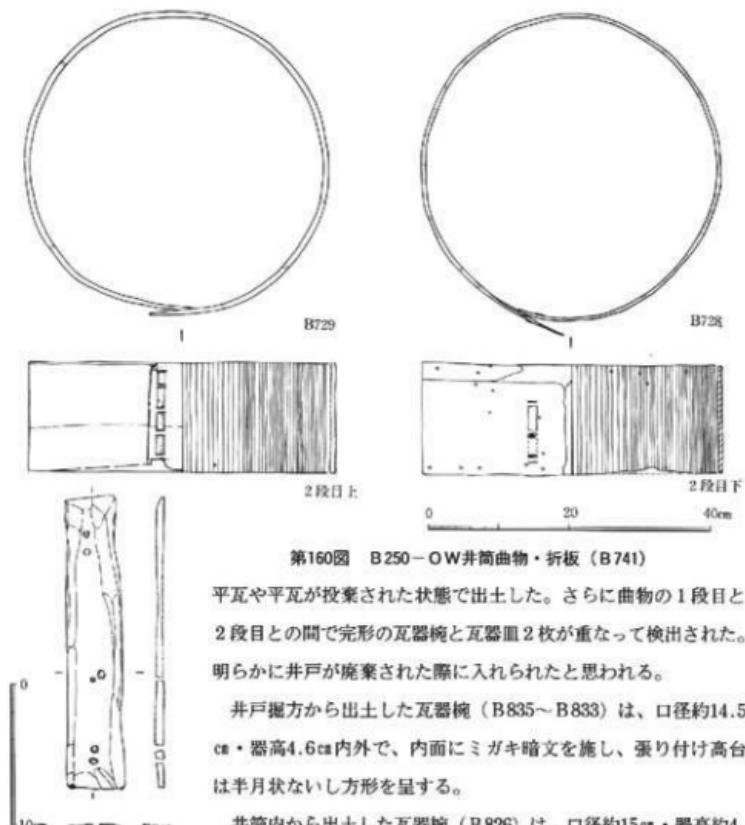
抜き取り内からは、曲物の屑や炭・土師器・瓦器片に混じって軒



第158図 B 250-O W 造構図



第159図 B・C614-O B遺構図



第160図 B250-O W井筒曲物・折板（B741）

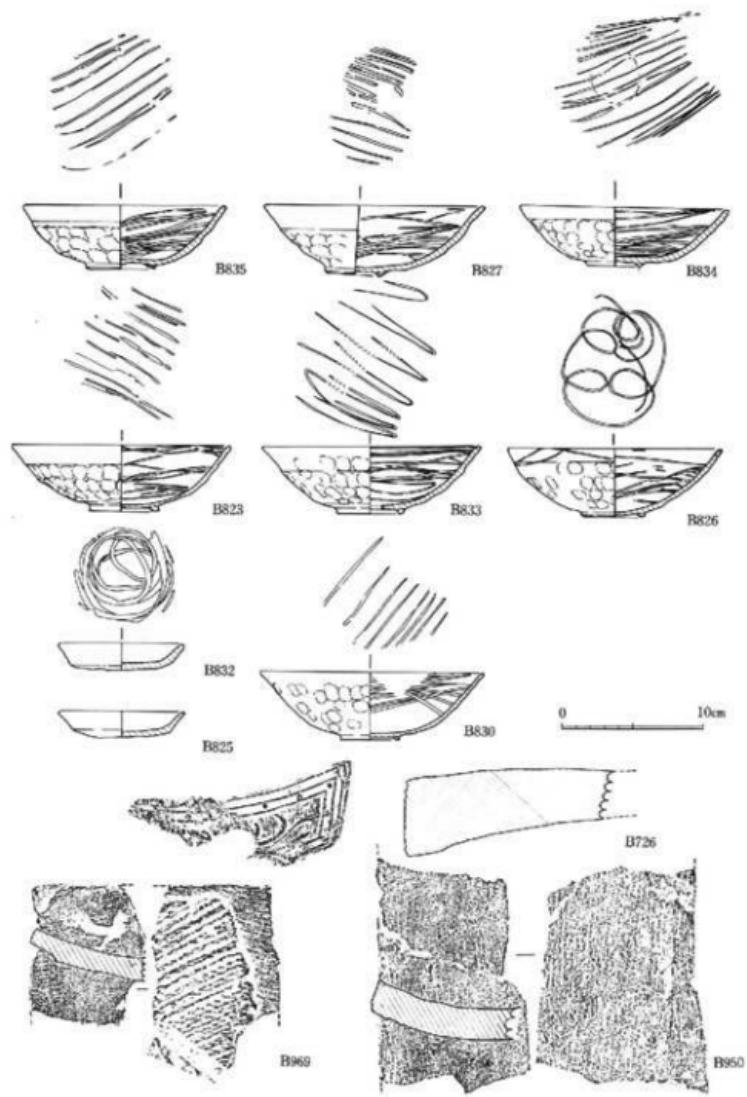
平瓦や瓦が投棄された状態で出土した。さらに曲物の1段目と2段目との間で完形の瓦器碗と瓦器皿2枚が重なって検出された。明らかに井戸が廃棄された際に入れられたと思われる。

井戸掘方から出土した瓦器碗（B835～B833）は、口径約14.5cm・器高4.6cm内外で、内面にミガキ暗文を施し、張り付け高台は半月状ないし方形を呈する。

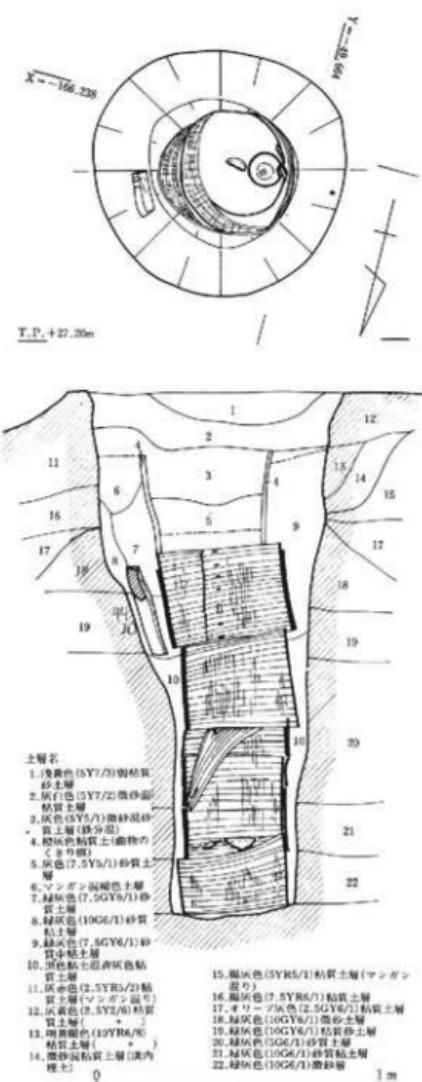
井筒内から出土した瓦器碗（B826）は、口径約15cm・器高約4.8cmを測り、内面は連結輪状暗文を施し、張り付け高台は断面三角形である。瓦器皿（B832・B825）は、口径約8.8cmを測り、口縁が外反する。掘方の瓦器碗は尾上編年III-1型式、井筒内の瓦器はIII-2型式であろうと思われる。

上層の抜取り穴から瓦器碗（B830）や崩れた唐草の軒瓦（B726）・平瓦（B969・B950）が検出された。瓦は共に須恵質のものであり、平安時代後期に比定される。

井筒の曲物は残りが悪く2段目を図化した。正目の檜の約16cmの曲板を2つ組み合わせて1つにしたものと考えられ、製作時のキリの穿孔がある。木厚は約0.7cmを測り、山桜



第161図 B250—OW出土遺物



第162図 B333-OW遺構図

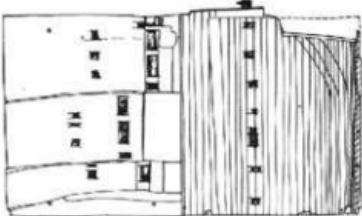
の皮で縫い止めている。内面斜めの切込みはない。(B741)は穿孔のあるヘギ板である。

B333-OW (第162~164図 図版89・167・173・174)

B3区K14Jで検出した井戸で、建物B144-OBの北東に位置する。井戸の周りをB309-OSが取り巻いている。井戸の上部施設のピットの並びなどは検出できない。

掘方は径約0.9mの円形で、中程で段になっており、井戸底では径約0.45mを測る。深さは約1.85mであった。湧水層が古墳時代の旧河川をはざれている為、B250-OWなどに比べると深い。井戸底は素掘りのままである。井戸の掘方埋土の上層は粘土混じりの緑灰色砂質土、下層は黒色粘土混じりの青灰色粘質土層である。

井筒の曲物は5段分を検出した。さらにその上に1段分の痕跡を確認しており、本来は6段以上で構成していたと思われる。曲物はほぼ同径で約0.5m・現存部分の高さは約1.35mを測る。曲物間に噛み合わせや渡木などは認められず、ただ積み上げただけのものである為、やや傾いて崩れている。



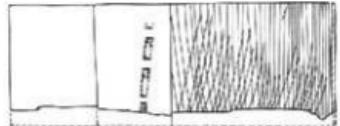
5段目

B788



4段目

B795



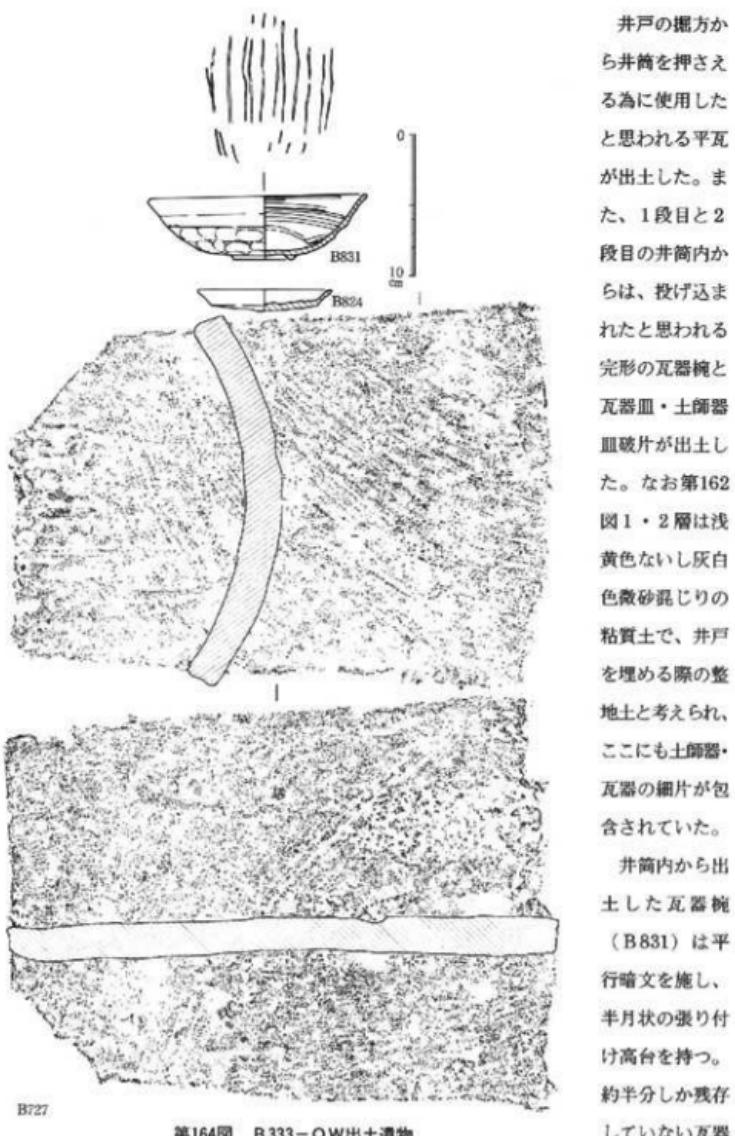
2段目

B801



0 20 40cm

第163図 B333—OW井筒曲物



第164図 B333-OW出土遺物

皿（B824）は、底部が偏平である。共に尾上編年III-2型式に比定されるものである。掘方内の平瓦（B727）は平安時代後期のものと思われ、表面に粗いスリケシを施す。

曲物は全体に残りが良いとは言えず、取り上げる時点で崩壊したものもあるが、井筒として製作したと思われ、一枚で巻くもの（B795）と2枚を組み合わせて帯状に巻くもの（B801）・一枚の上に帯を3条巻きつけるもの（B788）などがある。材質は檜と思われ、正目を使用し、総て山桜の皮の留め具で縫い止めている。

C120-OW (第165・166図 図版92)

K13YTに位置する。曲物が一段だけ残存していた。掘方の径は62cm、検出した深さは42.5cmを測る。曲物は径34cmで、上部は一部欠損している。本来は曲物数個を重ねた構造の井戸と考えられるが、地下水位の関係で上部については腐ってしまったと考えられる。

出土した遺物は、検出面で専らを1点確認しただけである。掘方の内側に位置するので井筒を補強するためのものかも知れない。この井戸はC99-OSを切っているので、この溝より新しいが、細かな時期比定はできない。

B33-OO (第167・168図 図版75・164)

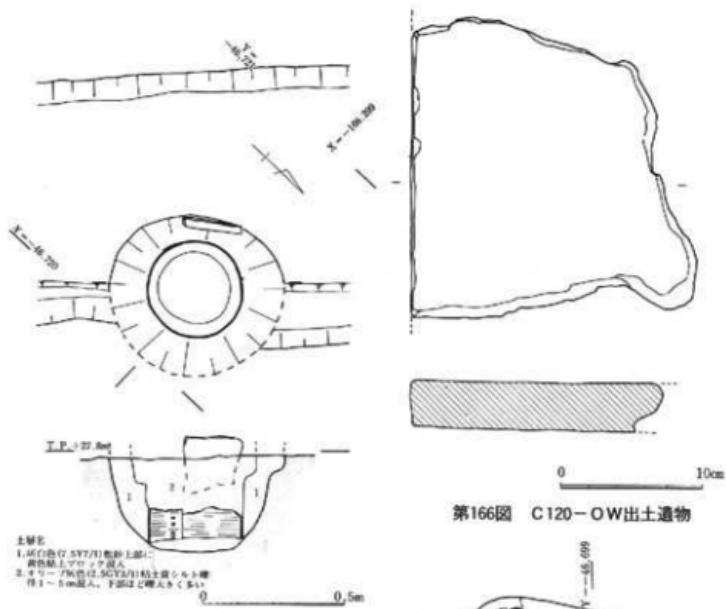
旧河道の堆積土であるシルト質粘土層を掘り込んだ土塙で径約1.6mの梢円形を呈する。深さは検出面からマイナス0.54mで底の形状はゆるやかなカーブを描く。埋土は粗砂・砂礫混泥質シルトで自然による埋没の状況を示している。この土塙内からは大量の瓦器・羽釜・土師小皿が検出された。土塙の北西方向から一括で廃棄された状態である。瓦器碗については完形品が多い。その多くは生焼けの状態である。瓦器碗は法量がほぼ均一で外部外面には例外なく指頭圧痕が認められ、このことから型作りによると考えられる。これらの時期は一応13世紀代前半と考えている。

B149-OO (第169・170図 図版91・167)

B2区K14LF・B144-OBの北西隅に位置する。平面形は約2.05~1.9mを測る不整形で、深さは約2.05mと比較的深い土塙である。断面形はジョウゴ状を呈し、底は平坦である。土塙の性格としてB144-OBの閑所的性格を有した可能性がある。

埋土は、大きく3層に分類でき、上層は粘土塊が混じる暗灰色を主体とした黒色土である。中層はオリーブ灰色の粘質土で粘土のブロックをベルト状に挟む。下層は灰色シルト層で灰色粘土がブロック状に混じる。

出土遺物の大半は埋め土と判断できる上層部から検出されており、瓦器碗12・羽釜8・須恵器2・土師器1破片と共に、拳大の石3と犬頭大の石6個を数える。石は花崗岩の割

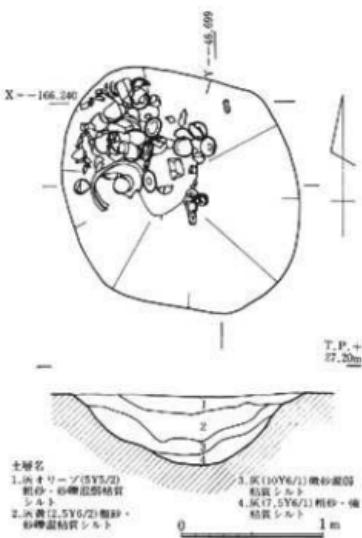


第166図 C120-OW出土遺物

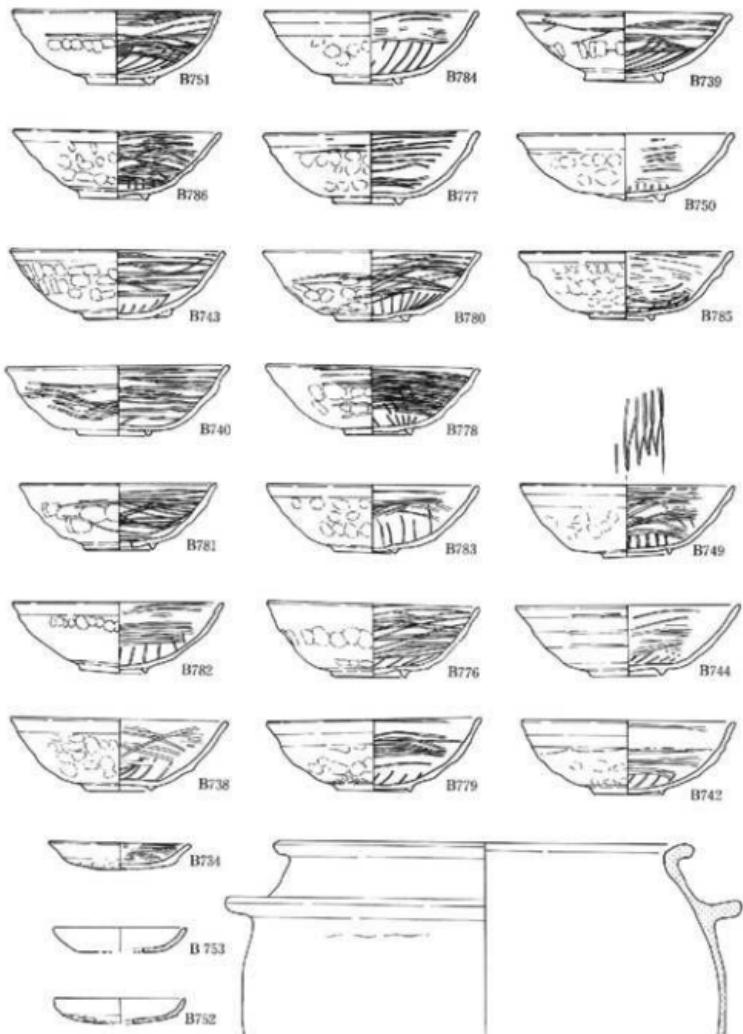
第165図 C120-OW遺構図

石と河原石で、焼けている。これらに混じり、平安時代の平・丸瓦や羽釜・瓦器碗5個体の破片、古墳時代の須恵器破片がある。土坡底面からは、完形の瓦器碗（B828）が出土した。

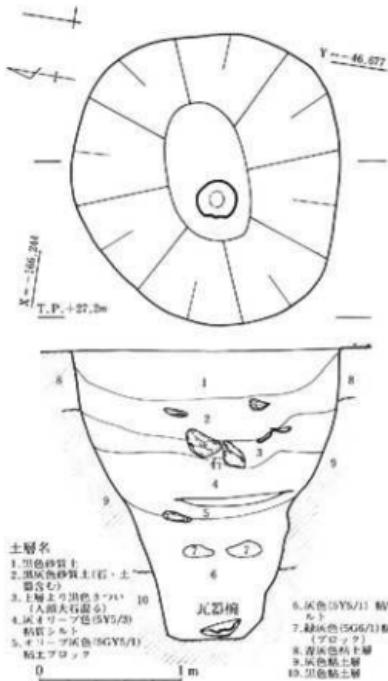
第170図（B828）以外は上層から出土である。（B944・B967）は綺目・布目の残る平安時代の平瓦である。（B850・B849）は羽釜の鉢部の破片で復原口径約27.5cmと31cmを測る。（B891）は復原口径約20



第167図 B33-OO遺構図



第168図 B33-OO出土遺物



第169図 B149-O O遺構図

は黄褐色砂質土であった。

位置的にB144-O Bの南軒下にあたり、貯蔵穴の性格を有する可能性のある土壙である。

遺物は、主に上層から出土した。瓦器碗45片・羽釜15片・土師器3寸皿・白磁底部・土師器60片、その他奈良・古墳時代の須恵器12片が出土している。細片ばかりであるが代表する4点を図示した。

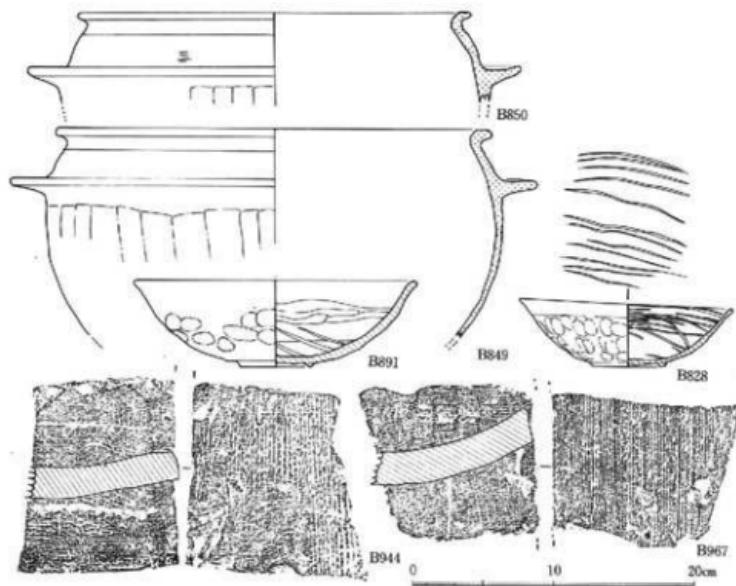
(B902)は白磁底部の破片で内面に稚を施した猫描きがある。(B892)は瓦器の破片で復原口径約16cmを測る。(B894)は三寸の瓦器皿であり、復原口径約8.4cmを測る。

(B896)は土師器三寸の皿で復原口径約7.6cmを測る。これらは總て尾上編年III-2型式

を測るやや古手の瓦器碗の破片で内外面の暗文もしっかりとしている。尾上編年III-1型式の範疇に入る。(B828)は五寸の瓦器碗の完形品であり、口径約15cm・器高約4.4cmを測る。外面には指頭圧痕を残し、口縁部にナデを、内面には平行暗文を施すタイプである。尾上編年III-2型式であり、土塙の時期をしめす遺物である。

B316-O O (第155・171図
図版86)

B3区南端のM J・MKに位置する長径約1.25m・短径約1.05mを測る橢円形の土壙である。深さは約40cmを測り、一部袋状になっている。底は概ね平坦である。埋土は上下2層に大別でき、上層はマンガンを含んだ黄橙色を基調にした砂質土、下層

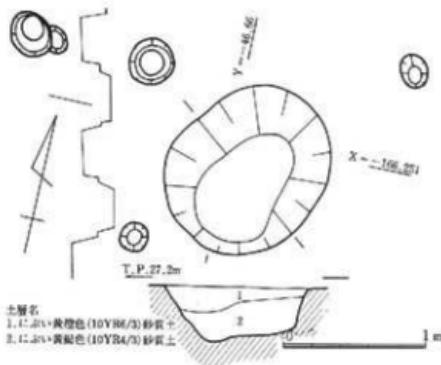


第170図 B149-OO出土遺物

の範疇の遺物である。

B330-OO (第154図 図版87・88)

B3区K14LJでカマドB329-OXに伴って検出された土壙である。径約0.6mの橢円形を呈し、二段掘りになっている。深さは26cm前後で、埋土は灰白色砂質土であった。中からは炭と瓦・瓦器焼・土器器の細片に混じって東播系の須恵質で叩きがある甕の破片が出土して



土層名
1. に赤い黄橙色 (10YR6/3) 砂質土
2. に赤い黄褐色 (10YR4/3) 砂質土

第171図 B316-OO遺構図

いる。B329-O Xの「火消し壺」的性格を持つ土壙の可能性がある。

B611-O O (第172図 図版80)

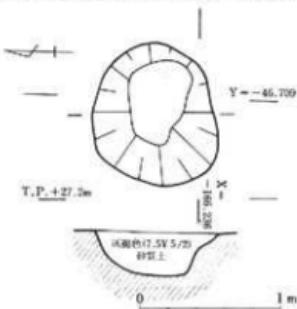
B 4 区 K13 J Wで検出した橢円形を呈する土壙である。径約1.04~0.8m、深さ約30cmを測る。埋土は灰褐色砂質土であった。遺物は、奈良時代の須恵器甕など13片・土師器3片と羽釜・瓦器の細片が出土している。

B32-O X (第12・173図)

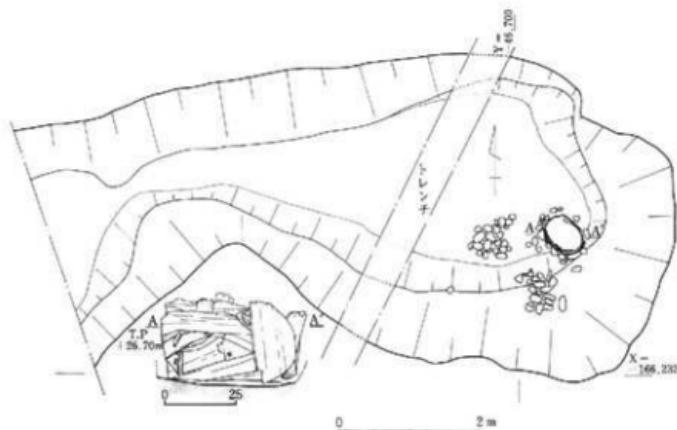
B 2 - O Bの南側に位置する不整形な土壙である。土壙は細長くあるいは溝とした方が妥当かもしれない。この土壙からは曲物が一個体据えられた状態で検出された。曲物の周囲には人頭大の礫が散かれた状態でみつけられた。曲物は1段だけであるが、曲物に底がない点、この一帯の湧水点が高いことから井戸としての可能性も考えられる。遺物は瓦器椀（B571・421・424・757・755）の5点が出土している。このうちB757・755については曲物内から出土した瓦器でやや時期が下がると考えられる。

B299-O X (付図1・第130図 図版38・45)

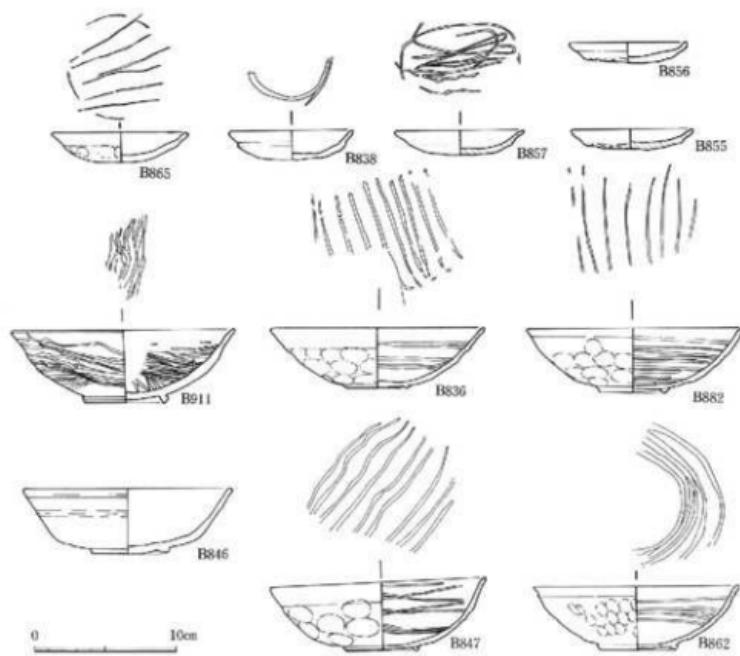
B 3 区の中央部 K14 I J で検出した浅い落ち込



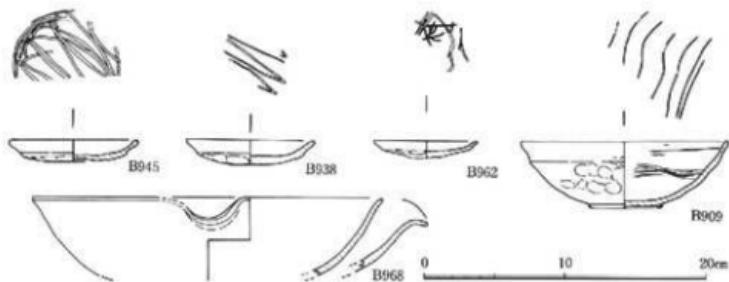
第172図 B611-O O 遺構図



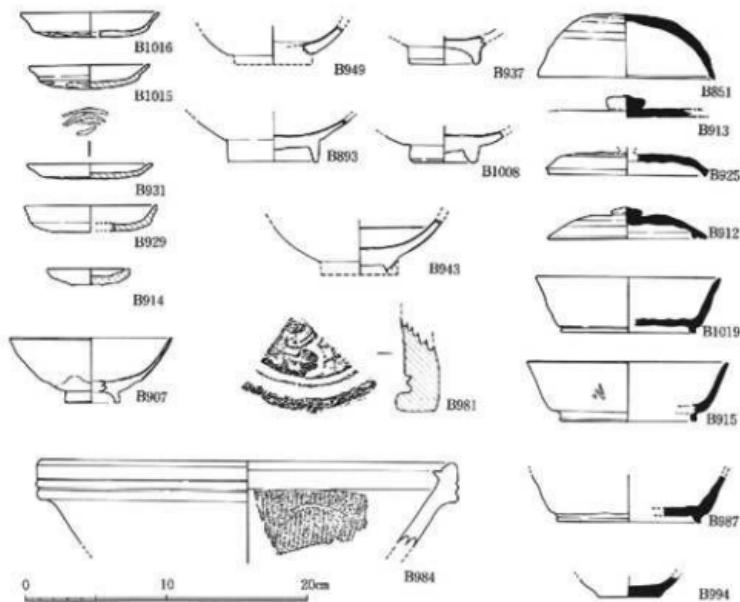
第173図 B32-O X 遺構図



第174図 B232-O X出土遺物



第175図 B612-O X出土遺物



第176図 B 2 ~ 4 地区第II・III層出土遺物

みで、東に広がるが調査区外は現代用水路によって破壊されている。検出法量は南北約2.6m・東西約2.8m・深さ約20cmを測り、不整形形を呈している。埋土はブロック状の粘土塊を多量に含む人為的な埋土の單一層で、明黄褐色のシルト層である。

B309-O Sが取りついでおり、一連の遺構であると考えることができ、B333-OWに伴ったものであろう。

遺物は、須恵器・瓦器の破片が数点検出されたに過ぎない。

B329-O X (第148・154図 図版87・88)

B3区JM・LMで焼土・炭の集中する地点を確認した。ちょうどB144-O Bの東部分の内側にあり、カマド(ヘツイ)の下部と考えられる。

遺構は黄褐色粘土のベース面を大きく皿状に掘り込み、回りに明黄褐色粘土を張って窯体としている。中央にも仕切りの粘土が認められる。東辺は途切れており煙出しの部分にあたると考えられる。

炊き口は、掘窓められた左右二ヶ所に焼土と炭屑が充满していた。瓦や石がそれに沿って置いている部分もあった。

壁体粘土・焼土・炭屑の状況より少なくとも2度以上造り変えて使用している様である。

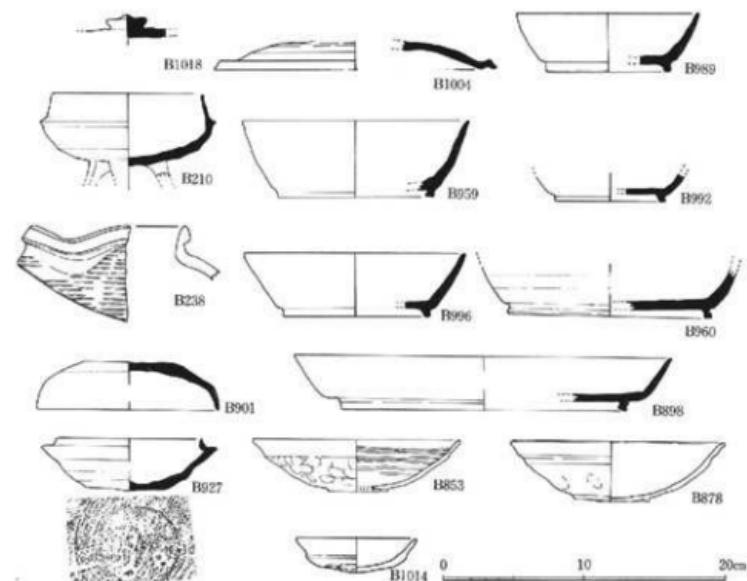
杭穴と思われるB332・B331-O Pと土塹330-O Oを伴っている。

出土遺物として、上層の覆土中の瓦器碗（B897・B877）・羽釜（B965・B910）、瓦や須恵器甕の細片と焼けた破片がある。

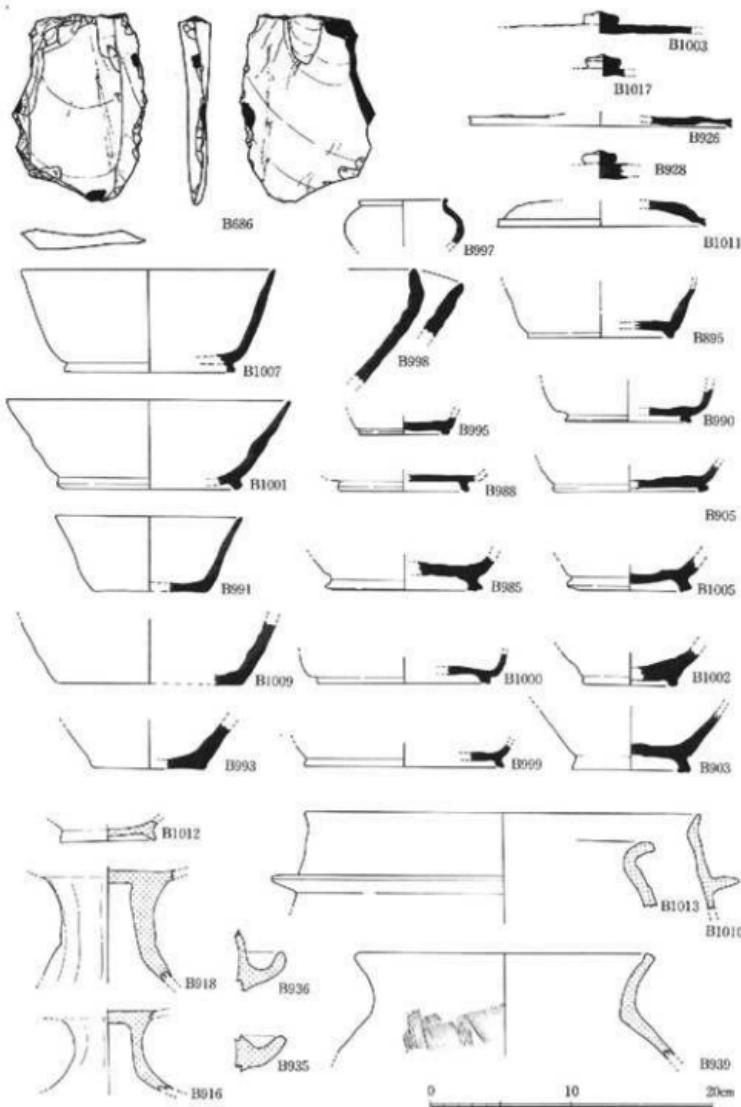
焼成部からは、焼土・焼土塊と炭に伴って瓦・瓦器・羽釜細片がある。

B-1地区包含層（第179図）

中世の包含層からは、古墳時代の須恵器を始めとして瓦器に至るまで幅広く出土し、僅かではあるが瓦塊類も出土している。特に丸瓦のなかにへら書きの文字が記されたものがある。文字は「大」に続く下の字が読めず、全体で三字の可能性もある。その場合「大自」



第177図 B 2 ~ 4 地区 II - III直上出土遺物



第178図 B 2 ~ 4 地区III層（上層）出土遺物

となる。何れにしても旧郡名である「大島」と読める可能性はなさそうである。

B-2・3・4地区包含層（第176・177・178図 図版133・157・179）

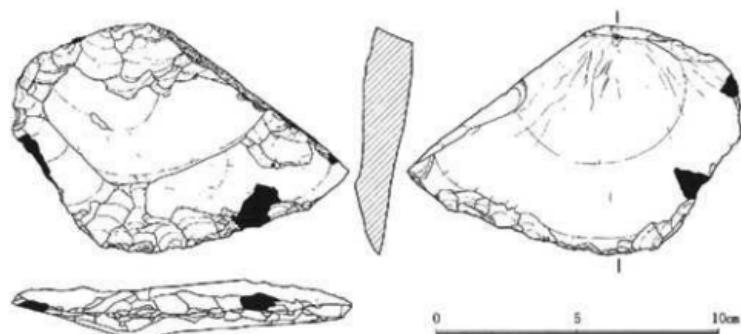
B2～3層・B4層直上面では、弥生サヌカイト、古墳時代須恵器（坏・高坏・甕・壺類）、奈良時代須恵器（壺・坏類）・土師器（坏・高坏・壺類）、奈良～平安時代にかけての瓦（平瓦・丸瓦類）、中世瓦器（椀・皿類）・土師器（皿類）・須恵器（甕類）を含包していた。

B2層は、若干の近世陶磁器を含む水田層、B3層は中世の包含層となる。特にB3層の上記の遺物の出土量が多い。B4層直上としたものは、B3層の最下層の包含遺物である。

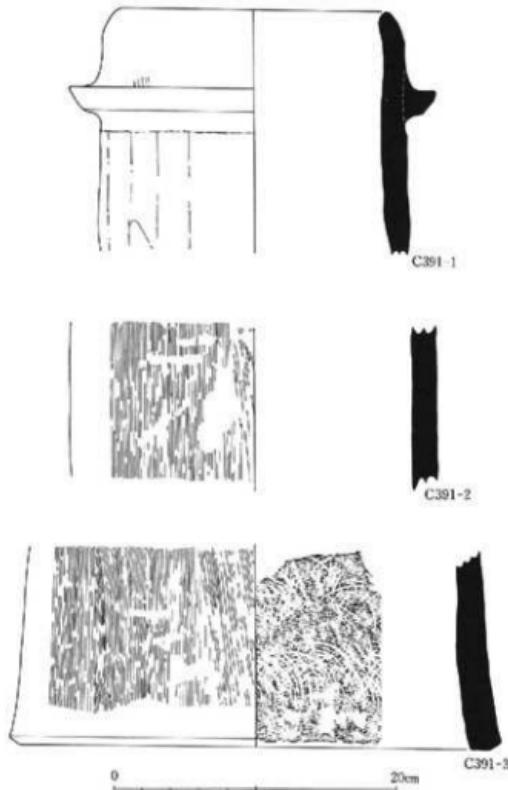
奈良時代・中世の遺構面は、古墳時代河川の埋土上ないし、遺構面にも当たっているが、それぞれ、中世遺構や奈良時代遺構との関連を考える上において、重要なと思われる。



第179図 B地区軒丸瓦・文字瓦（内面）



第180図 C地区包含層出土物石器（C185）

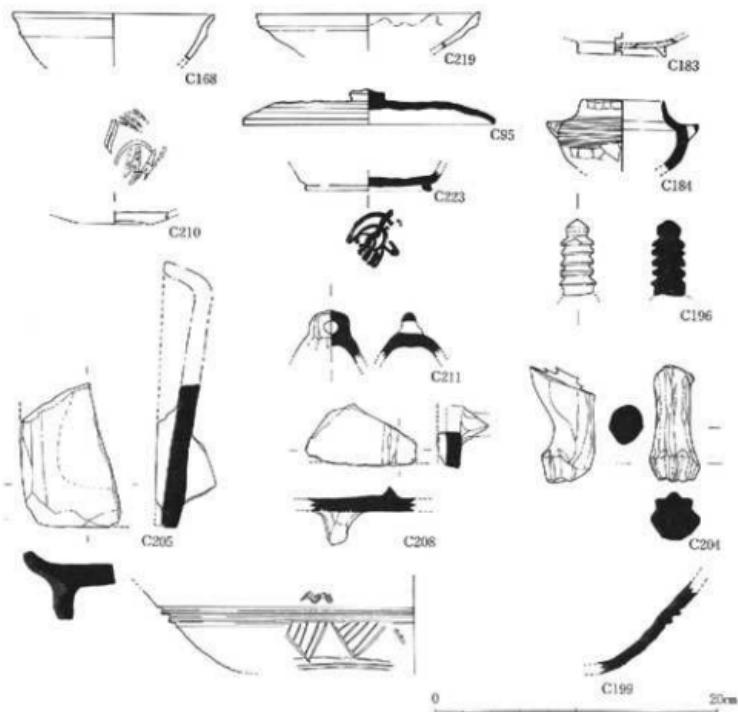


第181図 C地区中世包含層出土遺物

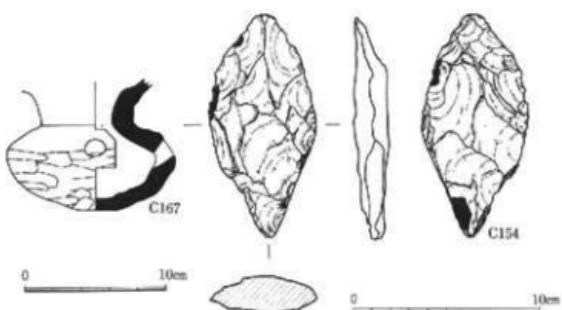
第176～178図に代表的なものを提示しておくが、個々の遺物の詳細は観察表（第3表）に譲る。

B-4層直上出土の瓦器（図版85）

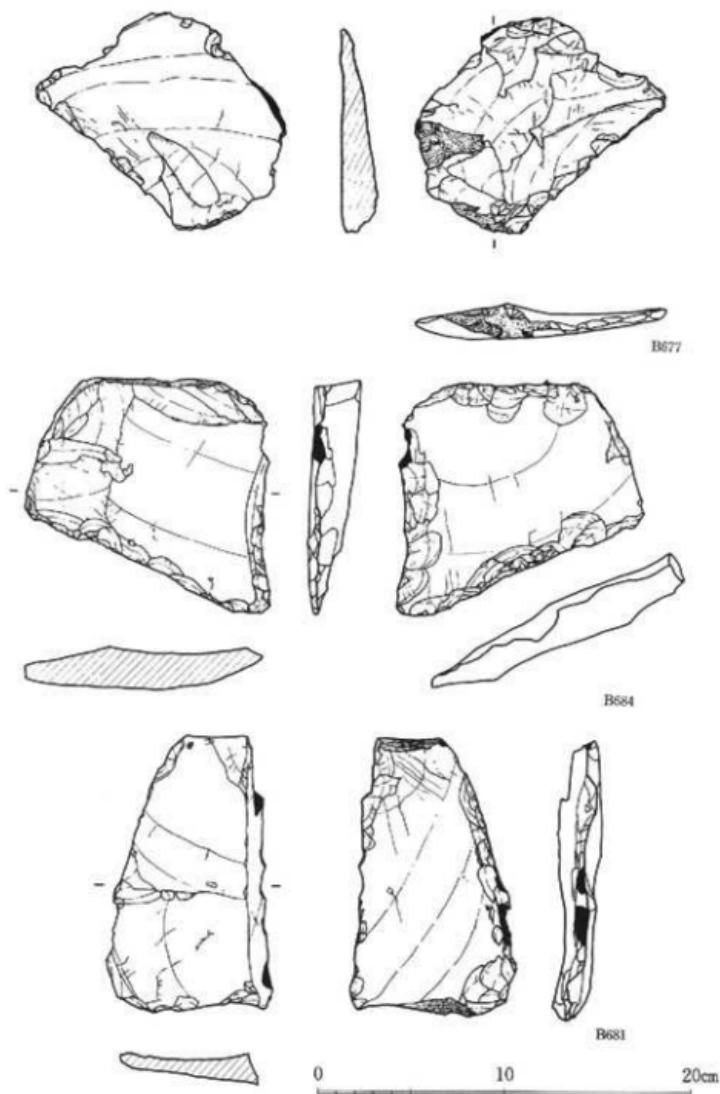
B-3区K14KKの遺構検出面で瓦器塊が単独で検出された。建物B144-O Bと接した地点での検出であり、建物の時期を決定するのに重要である。瓦器は、块部を上にして正位置の格好で押しつぶされた状態で出土した。風化が進んで細片化していたが、一個体を成す。内面の暗文は観察できないが、高台は退化傾向にあり、尾上編年III-2に比定され



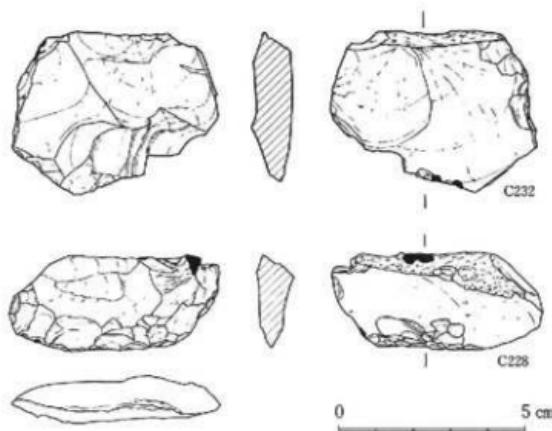
第182図 C地区包含層出土遺物



第183図 C地区近世暗渠（C152-O S）出土遺物



第184図 B地区第I・II層出土石器



第185図 C地区近世包含層出土石器

るものである。

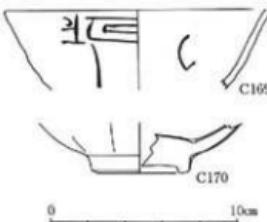
C地区、中世包含層（第180～182図 図版132・158）

中世包含層からの出土遺物は、青磁（碗/C168・219、皿/C210）、土師器（C183）、須恵器（杯蓋/C95、杯B/C223・底部に墨書、短頸壺/C184、飯蛸壺/C211、風字硯/C205・208、宝塔形土製品/C196、獸足/C204、器台/C199、陶棺/C391）、瓦器、瓦、石器（C185）などがある。陶棺（第181図 図版132）

形態は円筒形、口縁径約21cmでややすぼり気味、口縁より約6cm下に凸帯が回り、底部付近では幾分開き、底部径は約34cmと推定している。全長は、破片が不足しているため正確にはいえないが、1m前後と考えている。須恵質ではあるが、やや生焼けである。出土例は管見によれば以下の数例である。

1. 堺市陶器千塚29号墳出土円筒棺 埋葬施設内 7世紀前半？

「堺市文化財調査報告 第25集」1986・3 堺市教育委員会



第186図 C地区近世包含層出土陶磁器

2. 堺市小阪遺跡出土土管状土製品 河川（奈良～室町以前）内
「小阪遺跡その7、7-2」1988・3 大阪文化財センター
 3. 堺市陶邑古窯址群総地区原山4号古墳出土須恵器有蓋土釜状土器 主体部内
「陶邑II 大阪文化財調査報告書 第29輯」 大阪府教育委員会
 4. 兵庫県西紀町沢の浦古墳群2号墳出土陶棺 石室内 7世紀前半～中頃
「沢の浦古墳群 近畿自動車道舞鶴線関係埋蔵文化財調査報告書VII」
兵庫県文化財調査報告書第48冊 1987・3 兵庫県教育委員会
 5. 渋賀県守山市立人寺古墳出土陶質円筒形土器 墳丘内
「考古学雑誌」第7巻第11号「近江国野洲郡守山町字立人古墳調査報告」梅原末治 大正13年2月5日
- 上記の例のうち、3～5は丸底の底部を持つ物である。

石器

(C185) はサヌカイト製スクレーバーで、長さ76mm・幅118mm・厚さ16.5mm・重量163.85gの大きさである。打点付近に自然面が残り、数箇所新しい欠損がある。

第6項 江戸時代

あC地区近世～近代包含層（第183・185・186図 図版180～194）

近世包含層からの出土遺物は、須恵器、土師器、瓦器、陶磁器、青磁（碗/C169・170）、白磁、石器（C232・228）などがある。

C地区近世（第183図；図版180～194）

現代耕作直下の暗渠（C152-O S）から陶磁器（C401～583）、ミニチュアの皿（C167）と石鏡（C154）が出土している。暗渠内には、木材、竹、瓦、須恵器片、礫などが埋めてあり、水はけを良くしていた。

尚、C152-O S出土近世陶磁器より出土した近世陶磁器（図版182～195）は、波佐見焼、信楽焼、唐津系陶器、堺焼鉢・丹波焼鉢、刷毛唐津、娘野焼が見受けられ、当時としては、比較的安価のものが入手されている。従って、高級な伊万里焼は、染付117固体の内で一点も出土していない。この暗渠の築造された時期は、出土した波佐見焼の編年観から考え19世紀前半に比定出来る。出土した遺物は、コンテナ6杯にも達しており図版に掲載した遺物の他にも下記の遺物が出土している。それを列挙してみた。瓦質羽釜、須恵器甕、杯蓋、信楽鉄釉焼鉢、信楽鉄釉德利、平瓦、瓦質鉄鉢、鬼瓦、土師質風炉、軒平瓦、

土師質甕、瓦質壺鉢、丸瓦、大谷焼甕、瀬戸染付碗、須恵器壺、波佐見焼草花文広東碗、丸文碗、点文碗、草花文碗、界線文碗、杯、格子目文、瀬戸杯釉梅瓶、信楽燈明皿、行平、香炉、波佐見焼染付メンコ（碗をカットして二次的使用）網目文碗、花文湯呑・盤・鉢・青磁徳利、唐津系総釉碗、徳利、碗、上野銅釉碗、片口鉢、大鉢、土師質鍋、土師質・瓦質羽釜、土師質炮烙、巴文軒丸瓦、唐草文軒平瓦、美濃・瀬戸系鉄釉碗、須恵質線鉢、スラッグ、等々であった。

第V章 まとめ

第1節 繩文・弥生時代

今回の調査では、縄文時代の明確な遺構は検出していない。しかし、A地区からB地区にかけて検出した旧河川の肩部付近においては、明黄褐色粘質シルト層から晩期の長原式土器が出土している。遺物は浅い落ち込みから出土している場合が多いが、この落ち込みは人為的なものというより、流水堆積の過程で形成されたものという可能性が考えられる。この層には植物の根による酸化鉄の沈着もみられる。これと同じ様相を呈する層は、本遺跡より約4km北に位置する小阪遺跡においても確認されている。^⑨また、旧河川内の砂礫層からも、晩期に属すると考えられる土器片やサヌカイト製の不定形石器などが出土している。この砂礫層には、大量の自然木が根こそぎ倒された状態で遺存しており、この時期に激しい氾濫が起こったことが読みとれる。出土した縄文土器のはほとんどは生駒西麓産とみられ、これは河内地方との交流を示すものといえよう。

弥生時代に入ると、A・C区において遺物包含層をみうける。出土遺物の絶対数は多くないが、前期から後期にわたる土器を確認している。当遺跡において弥生時代の遺構がみられるのは中期からである。A区では中期の溝を、B区では後期の住居址を検出している。また、B・C56—ORでも、その下層において中期の土器およびサヌカイト製石器が出土しており、旧河道の自然堤防上に集落が存在した可能性が考えられる。

註

- (1) 『小阪遺跡（その6、6-2）－調査の概要－』大阪府教育委員会・(財)大阪文化財センター
1988年

第2節 古墳時代

桙丘陵の東側縁辺部に沿って流れる川幅60m余の石津川旧河道を検出し、その両岸からも井戸、溝、須恵器の集積地（？）を検出したことは調査の成果で触れたとおりである。調査地点はその地形から見る限りでは石津川の氾濫原で当時の生活跡にかかる遺構はあまり期待できないのではないかと考えていたが、しかし予想に反し重要な事実がわかつってきた。この地点は弥生中期にはすでに遺構があり、後期の段階では堅穴住居跡も存在しており部分的には安定していたことを示している。統く古墳時代は住居跡はみつかっていないが前期の包含層や井戸を始めとする生活跡の一部が見つかっており、今後発見が予想さ

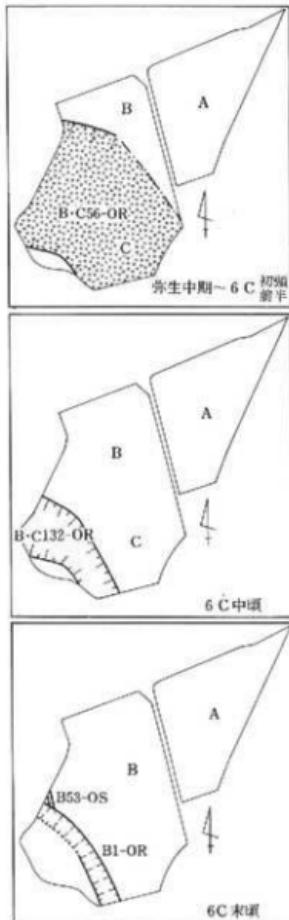


第187図 旧河道（網部）推定復原図（昭17年航空写真より）

れる。

今回の調査で特筆すべきは石津川旧河道と須恵器の土器溜まり（土器群）の発見であろう。旧河道下層から出土した須恵器は中村編年Ⅰ型式1段階～Ⅱ型式5段階まであり多岐にわたり多くはⅠ型式のものである。中でも鋸歯文に代表されるような文様構成をもつ須恵器はこれまでTK73型式を始めとする最古形式の窯跡が存在する伏尾丘陵では未確認であり梅丘陵においてわずかに3例が確認されているだけであった。しかし今回大庭寺遺跡の調査の結果、出土須恵器のなかに窯体が接着するものや焼き歪み、焼成不良といったものが含まれ近隣に窯跡が存在することを示唆している。事実、隣接する濃登ノ池周辺からは初期須恵器が出土することが知られており可能性は高い。これまで須恵器生産は陶邑窯から始まり一元的に供給されたと考えられていたが最近の動向として各地で異なる須恵器や窯跡が発見されこの考え方方に修正がなされつつある。陶邑内及びその周辺地域を見た場合満り池窯、あるいは一須賀2号窯などのように、これまでの最古形態といわれるTK73・85・87号窯の範囲には取まらない一群が明らかになりつつある。梅丘陵に位置する大庭寺遺跡の一群の須恵器も同様に捉えることができる。これまで梅丘陵においては当該時期の窯跡は未発見であったが、各丘陵ごとに系譜の異なる窯の存在が予測される。事実隣接する濃登ノ池周辺からは初期須恵器が検出されておりその蓋然性が高い。

次に須恵器の土器溜まりの発見は解釈の間



第188図 弥生～古墳時代河道変遷図

題はあるものの当遺跡の性格を考えるうえで石津川旧河道と共に重要な意味を持っている。陶邑・深田遺跡とは水系を同じくし、陶邑・深田遺跡が伏尾丘陵における生産物の集荷、選別、出荷地として考えられていることから大庭寺遺跡も同じことが想定できるのではないか。そうした場合大庭寺遺跡は梅丘陵における同じ性格をもつ遺跡の1つと考えても差しつかえないであろう。陶邑地域における須恵器の流通を考察するうえで今後看過できない資料を提供したといえよう。

当遺跡の評価については今後更に周辺地域の調査が進展した段階で今一度考えることとしたい。

参考文献

- (1) 中村浩「和泉陶邑窯出土遺物の時期編年」『陶邑III』大阪府文化財調査報告第30輯 大阪府教育委員会 1979年
- (2) 堀江門也 中村浩「一須賀古窯跡出土遺物について」『陶邑III』大阪府文化財調査報告第30輯 大阪府教育委員会 1979年
- (3) 田代克己「遺跡」『陶邑III』大阪府文化財調査報告第30輯 大阪府教育委員会 1979年
- (4) 森村健一「大庭寺遺跡発掘調査報告」『堺市文化財調査報告』22集 堺市教育委員会 1985年
- (5) 中村浩他『陶邑・深田』大阪府文化財調査抄報2 大阪府教育委員会 1973年

第3節 奈良時代

奈良時代の遺構は、今回の調査区では、B地区とC地区の東側に分布する。遺構の内訳は、掘立柱建物12棟、溝5本、櫛2列、井戸1基、井戸関連遺構1である。個々の遺構については、調査成果の中で既述した。そこで、ここでは各遺構の関係等を検討したい。

各掘立柱建物はその規模が様々で、最大規模の建物はC200-O B（面積37.1m²）、最小はC270-O B（推定面積10.2m²）である。縦柱建物も2棟あり、C533-O B（面積13.3m²）、C749-O B（面積18.0m²）は倉庫と考えられ、性格の異なる建物が集合している。また、各建物のうち、各2棟づつ計8棟に重複関係がある。このうち直接柱穴同士が切り合っているのはB601-O BとC749-O BとC354-O Bである。その結果、C749-O B→B601-O B、C326-O B→C354-O Bという変遷が追える。一方B105-O BとB150-O B、C200-O BとC203-O Bは重複するが、前後関係は不明である。次に、建物群の軸方向についてを検討する。この建物群は、各建物の向きにより3グループに分けられる（各グループ内で棟方向がほぼ90°振るものについては、同一グループを形成すると考える。）。

I : B105-O B・C354-O B・C203-O B・C326-O B

II : B90-O B・B150-O B・B601-O B・C200-O B・C533-O B・C749-O B

第2表 奈良時代掘建柱建物一覧表

No.	建物	規模(間)	幅行(m)	梁行(m)	棟方向	備考
1.	B90	2×2	4.1	3.9	N-17°-W	
2.	B105	3×2	5.3	4.2	N-85°-E	
3.	B150	2×2	3.8	3.5	N-20°-W	
4.	B601	3?×3?	5.5	4.7	?	
5.	C200	5×2	8.5	4.4	N-13°-W	
6.	C203	3×2	5.4	3.5	N-7°-W	
7.	C270	2?×2	1.6?	3.2	N-23°-W	
8.	C310	3×2	5.0	3.5	N-24°-W	
9.	C326	4×2	7.3	3.8	N-82°-E	
10.	C354	4×2	6.7	4.0	N-2°-W	
11.	C533	3×2	3.8	3.5	N-13°-W	縦柱
12.	C749	3×2	4.4	4.1	N-76°-E	縦柱

第189図 奈良時代遺構模式平面図

III ; C270-O B・C310-O B

各グループ内には先に述べたように、切り合い関係などから建てられた前後関係がある。Iの場合C326-O BはC354-O Bの後に建てられ、C203-O Bは前者とセットになると考える。IIの場合C200-O B、C533-O B、C749-O Bはほぼ同じ時期と考えられるが、C533-O BはC749-O Bよりも柱根の遺存状態が著しくよいため、C749-O Bの建て替えと考えるが、両者は双蔵と考えられるとする意見もある。

以上の様に3つのグループの内IからIIへの変遷は推定できるが、IIIとI、IIとの時間的変遷については不明である。B・C261-O Sは、C310-O Bがこの溝を切っていることと、建物群の軸方向と合致しないことから、建物群に伴わない可能性が高い。むしろコンタライン方向と平行な位置関係で北西に延びることや、埋土に粗砂層があり水が流れていたと考えられることから水利関係の溝と考える。

C823-O XとC356-O Sは共にC667-O Wに付随する道溝であろう。C356-O SはC326-O Bを切り、C200-O Bの軸方向にはば平行なことから、IIと同時期に存在したと考える。

出土遺物のうち、大半が、平城宮III～IVのもので、建物群の時期もこの頃と考える。円面鏡、風字鏡の陶鏡の出土や、井戸から出土の墨書き土器などは、この建物群に住んでいた人々が、日常的に文字を使っていたことを示している。また「清水」、「水」の文字や、土馬の一部と思われる土製品の出土は、この井戸で水関係の祭祀が行われたとも考えられ、当時の生活の一端も知れる。さらに、井戸底の北東端に須恵器壺2個体と共に土師器杯が重なって出土したこと、その意味するところは不明だが興味深い。それと共に、「上」と墨書きされた文字は、上神谷郷の古代氏族上神（にわ）氏に関係する可能性も指摘しておきたい。他の出土遺物としては、瓦が奈良時代から平安時代後期のものが出土しており、付近に寺院などの建物があったと考える。その中にはB1地区包含層より文字瓦（「大自口」）も出土している。付近に行基に関連する古代寺院「大庭院」推定地があり、それとの関係も注目される。

今回の調査において奈良時代の遺構・遺物は、調査区の南東に集中する傾向があり、この時代の遺構はさらに東、南方向に広がっていると推定でき、今後の調査を期待したい。

第4節 鎌倉時代

今回の調査で、鎌倉時代の集落様相がかなり明らかとなった。検出した遺構群は、建物などの重複関係がないことや配置が整然としていることから考えて、集落は「中世環濠屋敷」イコール「居館」の様相を呈すると思われる。ここではこの事についてまとめておく。

遺構は、A・B・C地区にわたって検出された。主要な遺構は、「コ」の字に曲がると考えられる環濠と掘立柱建物8棟・建物に伴う溝・柵5列・井戸4基・土塙8基・溝15条・落込み7などの他多数の小溝群である。個々の遺構については、前章の調査成果の中に記述したとおりである。ここでは、各遺構の性格などの面から列挙しておきたい。

建物の規模・構成については、担当者間で問題意識としての差があるものの、最大規模の建物B・C614-O Bは9間×4間、建物面積約143m²、カマドを持つB144-O Bは7間×5間・建物面積約112m²、最小の建物B 2-O Bの約25.7m²などと、屋敷は性格の異なる建物から成っていたものと考えられる。

3・4棟を配した居住空間としての建物は、A地区南東・B～C地区にかけて・B地区北西の3ヶ所で認められ、屋敷の中心となる主屋建物は、溝（A47-O S）を「コ」の字形に回している建物A133・A157・A245-O Bで、主殿的建物空間をとっている。この建物と軸角をそろえて、建物A161・A169-O B・建物B144-O Bが付随し、主要建物群を構成していたと考えられる。建物は、1間=7尺を基準とし、柱間は6.9尺・7.1尺などの奇数を採用しているようである。この内、建物B144-O Bは東辺には「かまど」施設（B329-O X）が付隨しており、土間を持つ構造で文献に記載された釜屋に比定できる。

井戸は、居住空間の北、建物B144-O Bの北東隅にB333-O Wと、建物B614-O Bの北東隅にB250-O Wが位置している。

閑所と考えられる深い土塙（B149-O O）は建物B144-O Bの北西隅に設けられている。

さらに、建物B144-O BとA161・169-O Bとの間に畠地がある。畠地は、環濠の外、南及び西にもひろがり、約2.5m間隔を基本とした素掘りの畦溝群を検出している。C地区南東では約1.5m間隔を基本とした溝が整然と並ぶ。すなわち環濠の外は畠地が広がっていたものと考えられ、また、さらに西の段丘崖下にも地形に合わせる格好で畠地がある。

環濠と考えられる「コ」の字に曲がる大溝（A02-O S・B・C133-O S）は、幅2

m・深さ1.5~1mを測る。溝内には粘土が堆積しており、流水した状態は認められず、よどんだ状態の「藻」であったと思われる。また、C地区の「L」に曲がる南西コーナーに小規模な溝（C235-O S）が取り付いており、その用途として防御用の他に畠などの灌漑用にも使用されていたと思われる。認められる条里が、溝の西辺の方向とほぼ一致し、区画の方向が現在の畦畔とも一致しているなど、条里の施行時期を考える上でも重要と言える。環濠屋敷の多くは、調査面積の関係上、一部が検出されたにとどまり、新旧の重複が著しいので分離しての検討は課題も多かった。

今回の大庭寺遺跡の調査では、周辺の地形を考慮にいれ復原すると、東西約108m×南北100m以上の、一町以上の面積を誇る広大な屋敷地の全容が明らかとなった。屋敷地は、面積約10000m²=10段の周囲を濠で囲んでいることになり、まさに「居館」の様相を呈する。

この様に、調査した屋敷地全体を眺めてみると、建物・井戸・土塙・畠地をセットとした空間、すなわち「居住空間」と、遺構が認められない空間、すなわち「広場」とが存在している。橋・渡り等の施設は調査区内では認められていないが、正面入口は、主殿建物正面と同じ南方向の可能性がある。

また、屋敷地内に生焼瓦器・未製品廃棄土壌（B33-O O）や焼土壌（B35-O O）などが存在することや、居住集団としての後の被官農民の小家である4間×2間の小規模建物（B2-O B）が井戸を伴った建物配置を示すことなどから、屋敷地内に瓦器制作の職掌集団も抱えていたことを伺うことができる。

⁽⁹⁾ 出土遺物は、尾上編年II-2型式からIII-2型式の瓦器が遺構内・遺構上を覆う3層である耕作土から出土した。

その他に『行基年譜』に登場して付近にあったと考えられている、「大庭院」の瓦垣類が整地土と共に建設用材として持ち込まれており、築造に当たっては大規模に造成をおこなったのであろう。その頃には大庭院（寺）は荒廃していたのだろう。

井戸B250・333-O Wの掘方・B108・A129・A130-O Pなどの柱穴内の土器、大溝B・C133-O S・溝A47-O Sなどから判断して、鎌倉時代の環濠屋敷の中心の時期は、13世紀前半から中葉にかけてのようであり、建て替えの後、13世紀後半まで生活面として連続しているようである。その後、14世紀前半以降水田化したものと思われる。

遺構・包含層からは、12世紀末から13世紀の遺物が出土しており、1町四方屋敷地の成立は13世紀前半と考えられる。これを今まで断片的に確認してきた近畿各地のものと比較すると、屋敷地の成立期を考える上で好例になると思われる。

和泉では、13世紀から14世紀にかけての溝や環濠を伴った、いわゆる「環濠屋敷跡」「堀之内屋敷跡」が、和氣遺跡・福瀬遺跡（以上和泉市）をはじめ平井遺跡・豊田遺跡・菱木下遺跡・（以上岸和田市）西大路遺跡・山直中遺跡（以上岸和田市）で検出され、これらの時期の大小の集落構造が明らかになってきた。

今回の調査により石津川流域における環濠屋敷（館）跡の実体の一端も解明でき、和泉における「居館」を考える上で好資料となった。

今回調査した屋敷は、防御的色彩を持ち、建物の規模・構造から考えて、若干の階層差のある小集団が1町の同一区画内に居住していたと考えられる。彼らは莊園制の崩壊と共に莊園領主から自立した有力名主層、或いは「悪党」と呼ばれる、地域内部から成長し後に土豪の一翼をになって内部に組み込まれていく「初期武装集団」とでもいう領主層の成立過程の集団と見ることができるかもしれない。

大庭寺遺跡の所在する上神谷地域では、泉ヶ丘丘陵西側に小谷城・東山城、梅丘丘陵東側に西山城、檜尾丘丘陵東側に美木多城が築造されており、これらの組織に組み込まれていったか、あるいは成長したかと考えられる。惣の紐帯が強化・観念が確立され、発展する初期の姿であるようであり、まさに莊園制が崩壊し、郷村制が出現していく時期にあたる。即ち、防御的屋敷地「領主垣内屋敷」と考えることができる。その面積は、「若櫻莊土帳」などの文献に記載された名主屋敷の「一段」と比較すると広大であり、今後の検討課題でもある。

また、今回検出した大庭寺遺跡の屋敷地の構造は、「一遍上人聖絵」や「粉河寺縁起」などの絵巻物に登場する構造物や屋敷地の構造に似たものと考えられることからも、大庭寺屋敷跡は居館の内容を端的に示していると言える。^①

今回の調査は、和泉地域での遺構・遺物の一資料だけにとどまらず、中世社会を考える種々の問題点をも提供した。

註

- (1) 東寺百合文書サ函399の「新見莊谷内屋敷指図」 寛文4年などに櫻・母屋・開所・雜舎・門・並屋などの施設が見える。
- (2) 尾上実 「南河内の瓦器碗」『古文化論叢』藤澤一夫先生古稀記念論集 1983年7月 同「大阪南部の中世土器—和泉型瓦器焼—」『中近世土器の基礎研究』日本中世土器研究会 1985年10月
- (3) 今回大庭寺遺跡で検出された鎌倉時代の遺構群の性格については、担当者の中には「環濠屋敷（居館）」について否定的な意見と建物構造についての認識のちがいがある。
遺構は、さらに周辺部に広がっており、今後の周辺部の調査が期待できる。これらとの検証で、当遺構群の性格について事実関係を再検討・検証した上で改めて論述したい。

第5節 江戸時代

石津川流域における中世から近世への変遷過程を「開発」という視点から考古資料を素材として考えてみたい。一般には中世=「開発の時代」との認識がある。開発が「ひらく」「ひらきおこす」ことであるとするならば、中世から近世にかけての開発の歴史を概観することは、人間が自然に能動的に働きかけるという意識を基本認識として、内的・外的要因を分析する。開発することによって生じる諸矛盾がどのように止揚されるのか等を解明することであるが、それらとは別に開発によって生じる景観の変遷・推移を把握する作業も重要である。中近世においては、方法論が違うとはいえ、文献史学がもつ圧倒的な蓄積と成果が存在する。論の展開も鋭く、記述された文章は生き生きと過去を物語る。考古資料を分析・検討することを通じて「堺市」の歴史的景観を形成した中近世の時代をみる。大庭寺遺跡では、12世紀後半から13世紀前半段階の条里の該当する溝・坪界を検出し、条里溝の内は、掘立柱建物の屋敷が存在する。この屋敷は8棟あり、各建物は更に小溝で区画されている。前代に系譜を引く集落ではなく、後世へと継続していく集落はない。条里溝と建物は12世紀から13世紀前半代のごく限られた時間のみ、大庭寺の地に成立・展開したのである。大庭寺遺跡は13世紀前半段階を最終期として集落は廃絶され、現在にいたるまで水田としてその景観を存続させる。12世紀後半から13世紀前半にかけての時期は、石津川流域の遺跡は小角田遺跡・豊田遺跡・辻之遺跡・平井遺跡・菱木下遺跡が上げられる。各遺跡共に大庭寺遺跡と同様の13世紀を前後する時期に盛期をもつ遺跡である。当該期の集落の意義については既に多くの考古学の分野からの論の展開がみられる。

12世紀から13世紀にかけての中世集落が廃絶されて以降は集落の立地地点は、発掘調査成果からしても、現在の集落と重複するようである。生産地と居住地が区分されたのは、14世紀以降の時期と想定される。堺市内に存在する「昔」からの集落の土塙の中には、往々に15~16世紀代の土器が混入しているが、大胆に推論すれば、この時期前後より散村として存在していた「村」が、生産地と居住地が区分された段階以降、現在の集村化された「村」へと転換したのではなかろうか。ここにひとつの歴史的景観の形成がある。

開発はまた地形の改編をうみ、保たれていた自然のバランスを崩壊させる要因ともなる。環濠都市堺の調査例からもこの事実は推定されている。中世における環濠都市内の最下層の堆積層は、出土遺物から13世紀代に形成された層であり、堆積状況からは明確に洪水を主要因としている。周辺の地形をみると洪水による堆積は、洪積段丘から流れ込み

によったと想定される。洪積段丘中位面の開発は、同時に旧地形の破壊をもたらす結果ともなった。その開発された時期が12世紀末～13世紀前半である。

その後、水田開発を想起させる遺構は大庭寺遺跡では、C152-O Sを上げることができる。この溝は暗渠としてつくられており、陶磁器等の出土遺物は、17世紀後半から18世紀初頭の時期である。この事実は、大庭寺周辺においては、水田の再編成がこの時期にあつたことを示している。17世紀後半から18世紀初頭の時期は、堺市では文献でも明確なよう新田開発に該当する時期である。考古資料をみても「開発」が百舌鳥古墳群の立地する洪積段丘中位面にまで及ぶ。中世における開発の時期である13世紀前半の瓦器碗が出土したのは百舌鳥古墳群中では、舞台塚・ニサンザイ古墳1・2重掘・御廟表塚1重掘・反正二重掘などが上げられるが、17世紀後半から18世紀初頭の時期の出土遺物も各古墳からでている。既存の大規模な古墳の周濠を溉漑用の溜め池として利用し、新田開発を行ったものである。当該期の新田開発に伴い形成された多くの水田・溜め池・水利等の施設をのどかな風景としてもつ堺の歴史的景観は、この時期に形づくられたものである。

以上のように、堺市における「開発」に伴う歴史的景観の形成は、12世紀後半から13世紀初頭の時期、17世紀後半から18世紀初頭の時期と大きく分けて2回の画期があり、これは「開発」に伴い出現する集落と密接な関係があるといえる。泉北丘陵を横断する全長約10kmにも及ぶ近畿自動車道和歌山線・松原泉大津線建設に伴い実施された「堺」の各遺跡群の調査は、文化財担当技師においてすら徐々に蓄積される考古資料というイメージをはるかに超える。「開発」によって手に入れる「現在の便利さ」の裏には、大きく破壊されていく歴史的景観があることを肝に銘じ、埋蔵文化財の記録保存の意義を改めて見なおしたい。

表3 土器観察表

種類	遺物番号	法 番 (cm)	出 土 地 点	技 法	胎 土	焼 成 色 調	備考		
縄文土器	A15 國研96 第18回	残存高 5.2cm	A地区 K09V R 第6面	粘土錐つみ上げ	やや密 1~3mmの長 石・金素母を 含む	良 好 外側 断面 内面	明褐色2.5Y R 3/3 黒褐色10Y R 3/3 黄褐色2.5Y S 3	明黄色褐色質 上・1mm程度 の石英を少量 含むD0.5~1 mm程度の角閃 石を含む	
縄文土器	A16 國研97 第16回	残存高 3.2cm	A地区 K14A M 第6面	粘土錐つみ上げ	やや密	外側 断面 内面	褐色7.5Y R 4/4 灰褐色5.5Y R 4/4 に近い黄褐色 10Y R 4/4		
縄文土器	A17 國研96 第18回	残存高 8.3cm	A地区 K09V R 第6面	粘土錐つみ上げ 外面口縁部 深目	やや密 0.5~4mmの 長石皮D0.5 ~3mm	普 通	外側 断面 内面	褐色7.5Y R 3/1 黑褐色5.5Y S 3/1 に近い黄褐色 10Y R 3/4	明黄色褐色質 上・内側石・ 金素母を含む (生糞西端部)
縄文土器 深鉢	A18 國研97 第16回	残存高 7.4cm	A地区 K09V R 第6面	粘土錐つみ上げ 外面口縁部 刻目らしきもの	やや密	普 通	外側 断面 内面	に近い黄褐色 10Y R 4/4 灰褐色5.5Y R 4/4 に近い黄褐色 10Y R 4/4	褐黃褐色 褐色質上層
縄文土器	A19 國研97 第16回	残存高 4.8cm	A地区 K09V R 第6面	粘土錐つみ上げ	やや密 1~ 4mmの長石 0.5~1mm の角閃石 金素母を含む	普 通	外側 断面 内面	に近い黄褐色 10Y R 4/4 断面 に近い黄褐色 10Y R 5/3 内面 に近い黄褐色 10Y R 4/4	町黃褐色 點斑土層 0.5~3mmの 石英を含む (生糞西端部)
縄文土器	A20 國研97 第16回	残存高 5.2cm	A地区 K09V R 第6面	粘土錐つみ上げ	やや密 1~ 3mmの長 石及び 1mmの角閃石	普 通	外側 断面 内面	に近い黄褐色 10Y R 4/4 灰褐色10Y R 6/2 に近い黄褐色 10Y R 5/3	町黃褐色 點斑土層 金素母少 量合石 (生糞 西端部)
瓦器皿	A21 国研 161 第 124回	口径 8.9cm 底高 2.0cm	A地区 K14C Q A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側の底部、擦おさえ 内面に附着	重	普 通	外側 断面 内面	灰白色N 8/0 淡褐色2.5Y T 3/3 灰白色N 7/0	
土師器 小皿	A22 国研 159 第 127回	口径 8.7cm 底高 1.5cm	A地区 K14C S A13C-O-B	口縁部 ヨコナ 外側の底部、擦おさえ 内面の附着の為不明	重 1~2mm の白・黒 色砂粒を含む	普 通	外側 断面 内面	灰褐色 7.5Y R 6/6, 8/3 灰褐色~灰白色 7.5Y R 6/6, 8/1	
瓦器皿	A24 国研 161 第 124回	口径 8.9cm 底高 2.35cm	A地区 K14-Q A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 内面 ミガキ	重 2.0mm以 下の白・黒 色砂粒を含む	良 好	外側 断面 内面	灰白色~灰色 N 8/0~1/0 灰白色10Y R 3/3 灰白色~灰白色 N 4.0~7/0	
土師器皿	A25 第 124回	口径 8.9cm 底高 1.50cm	A地区 K14-Q P A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 内面 斜面	重 2mm以下 の白・黒 色砂粒を含む	良 好	外側 断面 内面	明褐色5.5Y R 5/6 黒褐色7.5Y R 3/1 灰褐色5.5Y R 3/2 灰褐色7.5Y R 6/2 灰褐色5.5Y R 6/6 灰褐色7.5Y R 4/1	
瓦器皿	A26 国研 100 第 125回	口径 14.7cm 底高 4.9cm 底径 4.25cm	A地区 K14C Q A47-O-S	外側口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 5mm以下 の白・黒 色砂粒を含む	普 通	外側 断面 内面	に近い黄褐色 10Y R 7/3 灰褐色N 5/0 灰褐色 7.5Y R 8/6	
土師器 小皿	A27 国研 161 第 124回	口径 9.2cm 底高 1.5cm	A地区 K14C P A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 内面 刻離の為不明	重 1~2mm の白・黒 色砂粒を含む	普 通	外側 断面 内面	灰白色5.5Y R 8/1 灰白色2.5Y R 8/2 灰褐色7.5Y R 5/6	
瓦器皿	A28 国研 161 第 124回	口径 8.0cm 底高 1.5cm	A地区 K14C P A47-O-S 厚2	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 内面	重 2~5.0mm の白・黒 色砂粒を含む	不 良	外側 断面 内面	灰褐色10Y R 8/6 灰褐色5.5Y R 7/3 灰褐色10Y R 8/3	
瓦器皿	A29 国研 160 第 123回	口径 14.9cm 底高 4.15cm 底径 4.5cm	A地区 K14C P 土器一部⑤	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 3mm以 下の白・黒 色砂粒を含む	普 通	外側 断面 内面	褐色5.5Y R 7/6 灰褐色3.5Y R 6/1 灰白色10Y R 8/2 褐褐色10Y R 4/1	
瓦器皿	A30 国研 160 第 123回	口径 15.2cm 底高 4.7cm 底径 4.1cm	A地区 K14G P A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 1~5mmの白 色砂粒を含む	普 通	外側 断面 内面	灰白色N 8/0 灰褐色N 5/0 灰褐色N 8/0 灰褐色N 5/0	
瓦器皿	A31 国研 160 第 123回	口径 14.9cm 底高 5.55cm 底径 3.9cm	A地区 K14-Q A47-O-S	口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 3.5mm以 下の白・黒 色砂粒を含む	良 好	外側 断面 内面	灰白色10Y R 7/1 に近い黄褐色 10Y R 7/3 灰白色10Y R 8/1 灰褐色10Y R 8/1	
瓦器皿	A32 国研 160 第 123回	口径 15.0cm 底高 4.8cm 底径 5.0cm	A地区 K14G P A47-O-S 厚2	外側口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 1程度の白 色砂粒含む	普 通	外側 断面 内面	灰白色10Y R 8/1 灰白色5.5Y R 8/1 灰白色10Y R 8/1	
瓦器皿	A33 第 123回	口径 15.0cm 底高 4.8cm 底径 5.0cm	A地区 K14G P A47-O-S	外側口縁部 ヨコナ 外側底部 擦おさえ 高台 粘り付け	重 1程度の白 色砂粒含む	普 通	外側 断面 内面	灰白色10Y R 8/1 灰褐色N 5/0 灰褐色N 8/0 灰褐色N 5/0	

種類	遺物番号	法 異 (cm)	山 土 地 点	特 性 法	地 士	地 成	色 調	備 考	
瓦器鉢	A36 図版 160 第 123回	口径 14.8cm 底高 4.7cm	A地区 K14HQ A47-O-S 第 6	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 高台 貼り付け	密 2mm以下の黒 色砂粒含む	良 好	外面 内面	灰白色 5Y R 8/2 灰白色 10Y R 8/1 暗灰色 N 4/0	見込みに重ね 焼を痕あり φ 5.0cm
瓦器鉢	A38 図版 160 第 123回	口径 14.6cm 底高 4.75cm 底径 4.45cm	A地区 K14EP A47-O-S 第 7	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 高台 貼り付け	密 3mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	灰白色 5.5Y R 6/1 灰白色 5Y R 8/1 内面 灰白色 N 7/1	
瓦器小皿	A40 図版 161 第 124回	口径 8.9cm 底高 2.7cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ	密 3mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	褐色 2.5Y R 6/6 褐色 10Y R 6/1 内面 褐色 5.5Y R 5/1	
瓦器小皿	A41 図版 161 第 124回	口径 8.9cm 底高 2.0cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ	密 1mm以下の白 色砂粒含む	良 好	外面 内面	灰白色 7.5Y R 7/1 灰白色 5.5Y T 7/1 内面 灰色 N 4/0	
瓦器小皿	A43 図版 161 第 124回	口径 9.0cm 底高 2.2cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 底面の底に略彫	密 2mm以下の白 色砂粒含む	良 好	外面 内面	灰色 N 4/0 底灰色 N 7/0 内面 灰色 N 5/0	
瓦器鉢	A45 図版 161 第 124回	口径 9.2cm 底高 2.1cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 高台 貼り付け	密 1mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	灰色 N 4/0 底灰色 N 7/0 内面 灰色 N 4/0	
瓦器皿	A47 図版 161 第 124回	口径 9.2cm 底高 2.1cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ	密 1mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	灰白色 N 8/0 灰白色 10Y R 7/1 内面 灰白色 N 8/0	
瓦器鉢	A48 図版 160 第 125回	口径 14.8cm 底高 5.0cm 底径 4.6cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 高台 貼り付け	密 1mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	灰白色 N 8/0 灰白色 10Y R 7/1 内面 灰白色 N 8/0	
瓦器鉢	A49 図版 161 第 125回	口径 14.6cm 底高 5.5cm 底径 5.0cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 高台 貼り付け	密 2mm程度 の白色砂粒多 量に含む	普 通	外面 内面	灰白色 N 8/0 灰白色 N 8/0 内面 灰色 N 5/0	
瓦器鉢	A52 図版 160 第 125回	口径 14.7cm 底高 4.75cm 底径 4.35cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 内面に不整な外輪 部に部分的に	密 5mm以下の白 色砂粒含む	普 通	外面 内面	灰色 N 4/0 灰白色 N 8/0 内面 灰色 N 4/0	
土器器皿 羽茎	A53 図版 159 第 124回	口径 (復元) 27.0cm (底) 11.6cm	A地区 K14EP A47-O-S	内面→外輪口縁部、ヨコナダ リットル、裏おさえとナヘヘ タケリ	密 1~2mm 程度の白・黑 色砂粒を含む	良 好	外面 内面	褐色 5 Y R 2/6 灰白色 2.5 Y R 8/2 内面 褐色 5 Y R 7/6	
瓦器小皿	A56 図版 161 第 124回	口径 8.8cm 底高 1.6cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 内面に略文	密 1~2mm 程度の白・黑 色砂粒を含む	良 好	外面 内面	暗青灰色 B 4/1 灰绿色 5.5 B 6/1	焼け面大
土器器皿	A57 図版 161 第 124回	口径 8.5cm 底高 1.6cm	A地区 K14FP A47-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 内面剥離の為不明	密 1~2mm 程度の白・黑 色砂粒を含む	普 通	外面 内面	褐褐色 5 Y R 8/4 灰白色 7.5 Y R 8/1 内面 褐褐色 5 Y R 8/4	
瓦器皿	A58 図版 159 第 127回	口径 8.1cm 底高 1.4cm	A地区 K14CS A130-O-S	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 内面剥離の為不明	密 2mm以下の 黒色、 5mm以下の白 色砂粒を含む	不 好	外面 内面	灰白色 10Y R 8/2 灰白色 10Y R 8/2 に2点 暗褐色 5 Y R 7/4	一部に焼け面 みあり
瓦器鉢	A59 第 140回	口径 (復元) 14.8cm 底高 4.2cm 底径 3.9cm	A地区 K14ER A330-O-P	口縁部 薄いケズリ 内面 塗装 外輪一部 裏おさえ	密 2mm以下の 白・黑色 砂粒を散見	不 好	外面 内面	暗褐色 2.5 Y R 7/3 暗褐色 10Y R 4/3 に3点 黄褐色 10Y R 3/1	
瓦器鉢	A60 第 140回	口径 (復元) 15.4cm 底高 5.4cm 底径 5.0cm	A地区 K14ER A330-UP	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ 内面 ナゲ	密 3mm以内 の白色砂粒を 多く含む	良 好	外面 内面	灰白色 10Y R 1/1 灰白色 2.5 Y R 8/1 ナゲ→黑色 10Y R 3/1	
瓦器鉢	A61 図版 139 第 140回	口径 15.4cm 底高 5.5cm 底径 5.1cm	A地区 K14ER A330-OP	外側底部 裏おさえ	密 1mm以内 の白色砂粒を 多く含む	不 好	外面 内面	暗褐色 10Y R 4/1 暗褐色 2.5 Y R 8/1 内面 暗褐色 7.5 Y R 6/6	
土器器皿	A62 図版 159 第 140回	口径 7.8cm 底高 1.1cm	A地区 K14ER A330-OP	口縁部 ヨコナダ 外側底部及び内面 ナゲ ナゲ 錐錐 裏おさえ	密 1mm以下の 白色砂粒を 多量に含む	不 好	外面 内面	灰白色 2.5 Y R 8/2 (2点) 黄褐色 10Y R 6/4 暗褐色 2.5 Y R 8/3	
土器器皿	A63 第 140回	口径 8.4cm 底高 1.1cm	A地区 K14ER A330-OP	口縁部 ヨコナダ 内面 塗装	密 2mm以内 の白色砂粒を 多量含む	普 通	外面 内面	褐褐色 5 Y R 8/3 褐褐色 5 Y R 6/6 内面 褐褐色 7.5 Y R 6/6	
土器器皿	A64 図版 159 第 140回	口径 8.9cm 底高 1.6cm	A地区 K14ER A330-OP	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ ナゲ	密 1mm以下の 白色砂粒を 多量に含む	普 通	外面 内面	灰褐色 5 Y T 7/1 灰褐色 2.5 Y R 7/4 内面 褐褐色 7.5G Y 8/1	
瓦器皿	A65 図版 159 第 140回	口径 8.9cm 底高 1.7cm	A地区 K14ER A330-OP	口縁部 ヨコナダ 外側底部、裏おさえ ナゲ	密 0.5mm 程度の白色砂粒 少々含む	良 好	外面 内面	暗褐色 N 3/0 灰褐色 10Y R 7/1 内面 灰褐色 N 4/0	
土器器皿	A66 図版 159 第 140回	口径 8.9cm 底高 1.15cm	A地区 K14ER A330-OP	口縁部 ヨコナダ 他はナゲ	密 1~2mm の白色砂粒を 少量含む	不 好	外面 内面	浅青褐色 10Y R 8/3 浅青褐色 7.5 Y R 6/3 内面 灰白色 10Y R 8/2	

種類	遺物番号	法量(cm)	生土地点	技術法	射土	集成	色調	備考
上部器 小豆	A66 第161 第124回	口径 9.0cm 高さ 1.6cm	A地区 K14E O A47-O S	外縁部、指おさえ 内面はナデ	帯 4mm以下 の白色砂粒及 びクリア感を 含む	良 通	外面 淡黄色2.5Y6/3 淡褐色2.5Y R6/6 内面 淡褐色2.5Y R6/3	
土師器皿	A69 第161 第124回	口径 8.5cm 高さ 1.35cm	A地区 K14E O A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 黒褐色、 剥離の為不明	帯 3mm以下 の白色砂粒を含む	良 通	外面 暗褐色5.5Y R6/8 灰白色10Y R6/2 内面 淡褐色2.5Y R6/6	
瓦器小豆	A70 第159 第137回	口径 9.0cm 高さ 1.5cm	A地区 K14C S A129-O B	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 同心円ミガキ	良	良 通	外面 暗褐色N3/0 灰白色3.5G Y8/1 内面 暗褐色N3/0	
瓦器 片蓋	A72 第79回	口径 12.5cm 高さ 4.2cm	A地区 K14K M 第V1層	外縁天井部 ヘラケツリ 内面 口縁ナデ、一定 方向のナデ	帯 3mm以下 の白色砂粒を含む	不良	外面 2.5Y-4 10Y R7/4 内面 淡褐色2.5Y R7/6 明褐色2.5Y R5/6	
瓦器 片蓋	A73 第79回	口径 14.5cm 高さ 4.75cm	A地区 K14K M 第V1層	外縁天井部 ヘラケツリ 内面 天井部、三回転ナデ、一定 方向ナデ ロクロ右方傾	帯 4mm以下 の白色砂粒を 多量に含む	不良	外面 淡褐色10Y R6/2 灰白色10Y R6/2 内面 淡褐色10Y R6/2 5.5Y R6/4	
瓦器陶	A75 第160 第125回	口径 15.35cm 高さ 4.8cm 底径 4.15cm	A地区 K14H Q A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 高台 着り付け	帯 1mm以下 の白色砂粒を含む	良 好	外断面 淡褐色N6/0 灰褐色5.5Y R7/6 10Y R7/6 内面 淡白色10Y8/1 淡褐色N6/0	
瓦質皿	A76 第161 第126回	口径 8.9cm 高さ 1.95cm	A地区 K14F D A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 破片	良 1mm以下 の白色砂粒を含む	良 好	外面 淡褐色N4/-6/ 内面 淡褐色N4/-6/ 灰白色10Y8/1	
瓦器陶	A77 第160 第126回	口径 15.0cm 高さ 4.2cm	A地区 K14E O A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 高台 着り付け	帯 3mm以下 の白色砂粒及び 1mm以下 の白色砂粒を含む	良 好	外面 淡褐色N4/-6/ 内面 淡褐色5.5Y7/1 灰褐色N4/-6/	
瓦器陶	A85 第160 第125回	口径 15.0cm 高さ 4.75cm 底径 4.4cm	A地区 K14H Q A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 高台 着り付け	帯 2mm以下 の白色砂粒を 多量に含む	良 好	外面 淡褐色N2/0 灰白色5.5Y7/1 内面 淡褐色5.5Y7/2 暗褐色N3/0	
白陶器	A86 第178 第124回	器高(西) 1.85cm 底径 1.65cm	A地区 K14H Q A47-O S	外面 ナデ、カンナケツリ 内面 滑れ	良	内外輪周 淡白色 内面 2.5Y8/2 底 10Y R7/1		
瓦器陶	A87 第123回	口径 15.1cm 高さ 5.0cm	A地区 K14G P A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 脱着力あり	帯 1mm以下 の白色砂粒を含む	良 好	外断面 黑褐色2.5Y3/1 内面 淡白色5.5Y8/2 内面 黑褐色2.5Y3/1	
瓦器陶	A87 第124回	口径 9.2cm 高さ 1.7cm	A地区 K14G Q A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 脱着力あり	帯 1~2mm の白色砂粒 物理的	普通	外断面 淡褐色N4/0 内面 淡白色5.5Y7/1 内面 淡褐色N4/0	
瓦器陶	A90 第123回	口径 15.3cm 高さ 3.1cm	A地区 K14H R A47-O S 等級5	口縁部 ナデ 外縁部、指おさえ 高台 着り付け	帯 2mm以下 の褐色 砂粒を含む	良 好	外断面 10Y R7/2 内面 淡褐色5.5Y7/1 内面 淡褐色2.5Y7/2	
瓦器小豆	A91 第124回	口径(復元) 8.7cm 底高 1.9cm	A地区 K14C P A47-O S	口縁部 ヨコナデ 外縁部、指おさえ 内面 破片	帯 1~3mm の白色砂 粒を含む	普通	外断面 淡褐色N5/0 内面 淡褐色10Y7/1 内面 淡褐色N5/0	
縄文土器 片蓋	A92 第186回	残存高 6.6cm	A地区 K09V R	口縁部 刻目 0.2~0.3mmの角質石を含む 金突起をわずかに含む	中や粗 0.5~1mmの 長石、1mm の石英、0.2~ 1mmの閃開 石を含む 金突起を含む	良 好	外面 10Y R5/3~4/3 灰褐色10Y R6/2 内面 10Y R5/3~4/3 黄褐色10Y R6/2	
縄文土器 深鉢	A93 第186回	残存高 6.1cm	A地区 K09V P		中や粗 0.5~1mmの 長石、1mm の石英、0.5~ 1mmの閃開 石、金突起を わずかに含む	良 好	外断面 淡白色 10Y R6/2~6/4 底 10Y R6/2	
縄文土器 片蓋	A94 第18回	残存高 6.0cm	A地区 K09V P		中や粗 0.5~1mmの 長石、1mm の石英、0.5~ 1mmの閃開 石、金突起を わずかに含む	良 好	外断面 淡白色 10Y R6/2~7/6 底 10Y R6/2	
瓦質羽皿	A95 第124回	器高(西) 4.6cm	A地区 K14F M A47-O S	全体的にヨコナデ	帯 2mm以下 の黒、白色砂 粒を含む	良 好	外面 淡褐色2.5Y4/1 内面 黑褐色N8/0 黑色10Y R1.7/1	

種類	遺物番号	法 異 (cm)	出土 地点	技 術 法	熟 土	焼 成	色 調	圖 号
瓦器類	A98 回版 159 第 120回	口径 (復元) 15.1cm 底高 5.05cm 底径 (復元) 4.7cm	A地区 K14H R A47 - O S 高台跡	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ 高台 貼り付け	密 1mm以下 の白色 砂粒を含む	良 好	外面 暗褐色~灰色、灰白色 N3/2、4/7~6、8/ 灰褐色 N4/1 内面 暗褐色~灰色 N3/0 4/6、5/9	
直筒器 小瓶	A99 回版 159 第 120回	口径 (復元) 4.5cm 底高 3.7cm	A地区 K14H R A47 - O S	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえとナ ド 内面体部	密 1mm以下 の白色 砂粒を含む	良 好	内外面 灰色 N4/1、6/ 灰褐色~灰白色 10Y 8/1、9/ 明オーラープ灰白色 2.5G Y 7/1	
土師器皿	A100 第 126回	口径 (復元) 8.4cm 底高 1.5cm	A地区 K14F P + K14E S A47 - O S 高台跡下附	外表面部 塗おさえ 前部ヨコナダ	密 2mm以下 の白色 砂粒を含む	普 通	外面 褐色 5Y R 7/6 灰白色 10Y R 8/2 内面 褐色 7.5Y R 6/6	
土師器皿	A101 第 126回	口径 (復元) 8.2cm 底高 3.4cm	A地区 K14F P A47 - O S	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ 内面 剥離の為不明	密 2mm以下 の白 色砂粒を含む	普 通	外面 灰白色 5Y B 2/ に赤い斑點色 7.5Y R 7/3 内面 灰白色 7.5Y R 8/2	
土師器皿	A102 第 126回	口径 (復元) 8.8cm 底高 1.55cm	A地区 K14F P	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ 内面 剥離の為不明	密 4mm以下 の 黑色砂粒や 2mm以下 の 白色砂粒を含む ヨコナダ	良 好	外面 に赤い 褐色 5Y R 7/4 灰褐色 7.5Y R 6/6 内面 褐色 5Y R 7/6	
瓦器類 三足釜	A103 回版 159 第 124回	長さ (復元) 19.8cm 底高 2.3cm	A地区 K14F P A47 - O S	外表面 ナダ	密 3mm以下 の白 色砂粒を含む	普 通	外面 灰白色 N6/6 灰白色 N8/0 内面 灰白色 N8/0	脚部
瓦器類	A104 回版 160 第 125回	口径 (復元) 15.1cm 底高 5.25cm	A地区 K14R O A47 - O S	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ 高台 貼り付け	密 1mm以下 の白 色砂粒を含む	普 通	外面 灰白色 10Y 8/1 灰白色 10Y 8/1 内面 灰白色 N8/0	
純文土器類	A105 回版 96 第 18回	残存高 4.8cm	A地区 K09 Y P 第9回次面		中空體 1~ 3mmの石子、 0.5~1mmの 角閃石、金剛 石を含む	良 好	外面 灰褐色~褐色 7.5Y R 4/2~4/4 褐色 10Y R 5/1 内面 に赤い斑點色 10Y R 7/3~8/3	
乳生土器類	A107 回版 100 第 20回	器高 (復元) 9.0cm 底径 (復元) 6.4cm	A地区 K09 X R 第9回 C帶	外表面 ナダ 内面 剥離の為不明	密 3mm以下 の白 色砂粒を含む	良 好	外面 黒褐色 10Y R 3/1 灰白色 2.5Y R 1/ 内面 灰白色 2.5Y R 2	
純文土器類	A108 回版 96 第 18回	残存高 9.3cm	A地区 K09 Y P 第9回次面		やや粗 1~ 2mmの石子、 1mmの 角閃石、 1mmの 四行石を含む	良 好	外表面 褐褐色 10Y R 4/1 内面 褐褐色 10Y R 5/1	
純文土器類	A109 回版 97 第 18回	残存高 2.7cm 底径 (復元) 4.2cm	A地区 K09 A K 第9回次面		粗に近い 1~3mmの 黄褐色 1mmの 角閃石、 金剛石を含む	良 好	外面 明赤褐色 5Y R 5/1~5/8 内面 褐色 5Y R 3/1 褐灰色 5Y R 4/1	
乳生土器類	A110 回版 100 第 20回	残存高 25.15cm	A地区 K09 A K A102 - O S		粗 2mm以下 の白 色砂粒を含む	良 好	外面 灰白色 7.5Y R 8/2 内面 灰白色 7.5Y R 7/1 内面 灰白色 7.5Y R 8/2	
純文土器類	A111 回版 97 第 18回	残存高 2.8cm 底径 (復元) 5.2cm	A地区 K09 Y L 第9回次面		粗に近い 3mmの 黄褐色 1mmの 角閃石、 金剛石を含む	良 好	外 面 明赤褐色 2.5Y R 5/1 内面 1.5~2mmの 褐色 7.5Y R 3/3	
乳生土器類	A112 回版 100 第 20回	残存高 18.5cm 底径 5.9cm	A地区 K09 X R 第9回 C帶		粗 3mm以下 の 砂粒を含む	良 好	外面 灰白色 5Y R 2/ 内面 灰白色 5Y R 2/ 内面 灰白色 7.5Y R 1	
直筒器 二片鉢	A113 回版 158 第 134回	口径 (復元) 29.0cm 底高 11.0cm	A地区 K14 E P A47 - O S 上塗付	マキアゲ+ミズビキ 上縁部 自然剥 離の為切削調整	粗 4mm以内 白色砂粒 黒褐色 植物物 を含む	良 好	外面 灰白色 N7/0 内面 明青灰色 5P B 7/1	
瓦器類	A114 回版 175 第 121回	口径 14.75cm 底高 4.4cm 底径 11.5cm 高台部 3.5cm	A地区 K09 U S A8 - O S	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ	粗 2mm以下 の 灰褐色砂粒を 多量に含む	良 好	外面 灰白色 10Y 8/1 内面 灰白色 10Y 8/1 内面 灰白色 10Y 7/1	
瓦器類	A115 回版 159 第 180回	口径 (復元) 13.4cm 底高 5.1cm 底径 (復元) 4.9cm 高台部 0.5cm	A地区 K14 D R A135 - O P 直上	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ	粗 3mm以下 の灰 色砂粒を含む	良 好	内外断面 褐色 10Y 4/1 灰白色 10Y 8/1	
瓦器類	A116 第 138回	口径 (復元) 15.4cm 底高 5.6cm 底径 (復元) 5.0cm 高台部 0.4cm	A地区 K14 D R A132 - O P 直上	口縁部 ヨコナダ 外表面部 塗おさえ	粗	外 面 オリーブ黒色 7.5Y 3/1 内面 灰褐色 10Y 8/1 内面 褐色 10Y 4/1		

種類	遺物番号	量 (cm)	出土地点	技術	胎土	焼成	色調	備考
陶土土器 蓋	A117 第18回	残存高 1.5cm 底径 (復元) 10.2cm	A地区 鶴見川道 GL-4.0m		やや粗 1~2mmの長石、 1mmの大石英	良 好	外 面 深色5 Y4/1 断面面 深色7.5Y5/1	
陶器 杯盤	B-2 第150回	口径 13.1cm 盤高 4.7cm	B地区 K14LA B56-OR	天井部外面 印輪+ラケツリ2/3 泡は細目ナメ ロクロ左方向	砂 φ0.5~2mm 白色砂粒	良 好	外・断・内 灰白色N7/0	一部口縁に亞 み
陶器 杯身	B-8 第41回	(推) 口径 底径 70.0cm 残存高 6.0cm	B地区 K12F Y B56-OR	底盤外表面 手拂ひらきテグス 1/4 (1/4) どちらか片手拂 2本とも1本 / 1本の 状況文 底盤外表面に2条 (6本・ 3本) の横拵文	砂 φ1mm以下の 白色砂粒	良 好	外・断・内 灰白色N7/0	
瓦屋根 把手	B12 第40回	口径 12.2cm 底径 6.55cm 4.6cm	B地区 K14J A B56-OR 砂輪削	底盤外表面 ハラキリ 底盤外表面 ラケツリ2/3 底盤中央付近1条の底条文 (8本・1cm)	黒色粘土物	良 好	外 面 深色7.5Y5/1 内 面 淡色10Y6/1	歪み大 内面に自然釉
陶器 杯盤	B-13 第36回	口径 13.3cm 盤高 4.1cm	B地区 K12F Y 31-OR上 層 (砂輪削)	天井部外表面 印輪+ラケツリ2/3 天井部内面中央部一定方向の ナメ ロクロ右方向	砂 φ3mm以下の 白色砂粒が多い	良 好	外 面 深色2.5Y8/3 オリーブ灰色 2.5G Y3/1 内 面 黄白10Y7/1	
陶器 盤	B-15 第53回	残存高 9.1cm	B地区 K14A B56-OR	底盤外底 1本の底条文 (6本・1cm)	砂 φ1mm以 上の白色砂粒 を少量	良 好	外・断・内 灰白色N7/0	ヘラ記号 + + + + + + + + + + 外底周辺、内 面黒化、体盤 の一帯自然釉
陶器 杯盤	B-16 第50回	口径 13.3cm 盤高 4.6cm	B地区 K14J C B56-OR	天井部外表面 印輪+ラケツリ2/3 天井部内面中央部一定方向の ナメ ロクロ左方向	φ0.5~1.5 mmの白色砂粒	硬	外 面 灰褐色5 B6/1 内 面 灰褐色5 P B5/1	天井部の一部 に亞み
陶器 要素 (方舟)	B-18 第54回	(推) 口径 13.6cm 残存高 7.0cm	B地区 K14C B56-OR	口縁部内面裏 底盤外表面 方舟の様子 底盤内面裏底盤外 底盤内面裏底盤外	砂	不良	外・断・内 灰褐色7.5Y R8/2	底盤外面 ヘラ跡等 「舟」
陶器 典蓋周环	B-26 第42回	(推) 口径 13.0cm 底径 10.0cm (推) 底径 9.8cm	B地区 K14 不詳 砂輪削	底盤外周2/3 回転+ハラキリ アズミ 容器内面中央先一定方 向のナメ ロクロ左方向、三方向の 孔通し	黑色粘土物 砂粒と少量 灰化現象 見	良 好	外・内 灰白色N7/0 断 灰オリーブ灰色 2.5G Y7/1	わずかに亞み る部分脚部 生成
陶器 杯身	B-34 第46回	口径 13.1cm 盤高 3.9cm	B地区 K14L B B56-OR	天井部外表面 印輪+ラケツリ2/3 天井部内面 一定方向のナメ ロクロ左方向	砂 φ3mmの 白色砂粒少量 φ1~2mmの白 色砂粒少量	良 好	外 面 黄褐色5 P B6/1 中盤 灰褐色5 R P4/1 内 面 灰褐色5 B5/1	外表面全体 自然釉
陶器 杯身	B-35 第51回	口径 11.65cm 盤高 3.25cm	B地区 K14J B B56-OR	底盤外表面 印輪+ラケツリ2/3 内面中央 一定方向のナメ ロクロ右方向	砂 φ1mm以下 の白色砂粒 φ1~2.5mm の大粒白色砂粒 少量	良 好	外 面 灰白色N7/0 内 面 黄褐色Q7/0 内 面 灰白色N7/0	
陶器 杯身	B-41 第36回	口径 11.5cm 盤高 3.9cm	B地区 K130 U H1-OR 砂輪削内	底盤外表面 印輪+ラケツリ2/3 底盤内面中央先 一定方向のナメ ロクロ左方向	砂 φ1mm以下 の白色砂粒 φ1~5mm の灰 色小石 黑色粘土物	良 好	外 面 灰褐色N6/0 内 面 灰褐色N8/0 内 面 灰白色N7/0	歪み大
陶器 杯身	B-42 第36回	口径 10.45cm 盤高 4.1cm	B地区 K130 U H1-OR 砂輪削内	底盤外表面 印輪+ラケツリ2/3 底盤内面中央先 一定方向のナメ ロクロ右方向	砂 φ1mm以下 の白色砂粒 少量	良 好	外 オリーブ灰色 2.5G Y5/1 内 灰褐色N4/0 内 面 灰白色N7/0	口縁に亞み 内面とも自然 釉
陶器 杯身	B-44 第50回	口径 11.9cm 盤高 4.9cm	B地区 K14I B B56-OR	マキアグ + ミズビキ 天井部外表面 印輪+ハラキリ1/3 ロクロ右方向	砂 φ3mm以 上の白色砂粒 多量 黑色粘土物	良	外・断・内 暗青褐色5 B7/1	外面上に自然 釉外間に藍ね続 きの焼成斑 (後7.4cm)
陶器 杯身	B-47 第40回	口径 12.1cm 盤高 4.0cm	B地区 K13L Y B56-OR	マキアグ + ミズビキ 天井部外表面 印輪+ハラキリ 2/3 ロクロ右方向	砂 φ1~2mmの 白色砂粒少 量	良	外 面 灰褐色5 B6/3 中盤 灰褐色5 R G6/1 内 面 灰褐色Q7/0	外表面全体 自然釉
陶器 蓋台 (脚)	B-49 第43回	(推) 直径 20.7cm 残存高 10.8cm	B地区 B56-OR	*、直角階段1段の被状 文 (6本 / 1cm) 、脚下方外壁カラム (6本 / 1cm) 、7.7cm段の方形邊形	砂 φ3mm以下 の白色砂粒 少量	硬	外 面 深色2.5Y6/1 内 面 黄白10Y4/1 内 面 灰褐色N8/0	脚下半自然釉
陶器 蓋	B-51 第44回	(推) 口径 21.7cm 盤高 14.6cm	B地区 K14K B56-OR	口縁部外表面斜タタキ 4.5cm (6本 / 1cm) 、側面コナギ 底盤外表面手彫りタタキ (4.5cm / 1cm) 、底盤内面不定方向のナメ	砂 φ1mm以 上の白色砂粒 少量	良 好	外 面 灰褐色7.5Y7/1 内 面 黄白7.5Y8/1 内 面 灰褐色N6/0	上部の形状 を模倣
陶器 蓋	B-56 第46回	残存高 5.5cm (推) 土径 23.7cm 盤高 13.7cm	B地区 K13 J Y B56-OR	マルアグ + ミズビキ 底部外表面底盤近、脚部+ハラ ケツリ 蓋部の穿孔 (2本 / cm) 底盤外表面手彫りハラケ ツリ 蓋部外表面クロロ台板 (ゲタ)	砂 φ1mm以 上の白色砂粒 少量 黑色粘土物	普通	外 オリーブ灰色 2.5G Y7/1 内 面 灰褐色10Y8/1 内 面 灰褐色N7/0	ヘラ記号 左+右 順序は下→上 蓋部
骨式 土平底鉢	B-57 第59回	(推) 口径 15.9cm 盤高 11.9cm	B地区 K13 J Y B56-OR (綠 色砂 質土表 面)	骨部外表面斜基子叩き (2本 / cm) 底盤外表面ハラケ ツリ 蓋部の穿孔 (2本 / cm) 底盤外表面クロロ台板 (ゲタ)	やや密 φ1mm以 上の白色砂粒 少量 黑色粘土物	軟 異	外・断・内 灰白色10Y RT/1	底盤内面スス 付着

種類	遺物番号	法量 (cm)	出土地点	性 法	胎 土	焼 成	色 調	備考
須恵器 杯身	B59 回版 114 第51回	口径 9.45cm 高さ 4.4cm	B地区 K14NA B56-OR	底部外側 凹部へラケメリ1/2 底部上部充填か? クロロ左方向	φ 1mm以下の 白・白色砂粒 φ 1~2mm大の 白色砂粒	硬	外 灰N6/0 内 断・内 N5/0	ヘラ記号 ※ 底部外 面に丸ダスク 、受熱自然釉
須恵器 壺	B74 回版 118 第54回	残存高17.7cm	B地区 大字寺山試掘 野+舟101 トレンチ6	全体表面 全体平行スカリ (3 本/1cm) 他は回転ナ 三方斜面通し	φ 0.5~1mm 白色砂粒 φ 3mm大の白 色砂粒	良 好	外 暗青灰10.5 G4/1 暗青灰10.5 R7/1 内 暗灰色G6/1	底部外側、底 部内側自然釉 底部外側土器 片付骨
須恵器 有蓋高杯	B78 回版 116 第52回	口径 10.9cm 高さ 8.9cm 底径 8.75cm	B地区 K14KC B56-OR 砂層	底部外側 周囲へラケメリ1/2 他は回転ナ 三方斜面通し	φ 2mm以下の 白色砂粒多量	善 通	外 精緻灰10.5 G 4/1 内 断・内 灰白色10R5/2	斜面外側 「善」
須恵器 壺	B79 回版 116 第54回	(残) 口径 18.3cm 残存高10.1cm	B地区 K14TA B56-OR	口端部外側 クレーン工具によ る削開部外側平行スカリ (3本/1cm) 他は回転ナ 三方斜面通し	φ 6mm以下の 白色砂粒	良 好	外 断・内 灰白色N6/0	
須恵器 有蓋高杯	B80 第52回	(残) 口径 10.5cm 高さ 6.0cm 底径 8.9cm	B地区 K14JC B56-OR II	底部外 凹部へラケメリ1/2 底部内側中央 一定方向のナ ドロコ左方向	普通 φ 1~2mm白 色砂粒少量	中 中軟	外 断・内 灰白色N6/0	底部生焼
須恵器 有蓋高杯	B82 第52回		B地区 K13LX B56-OR	底部外側 凹部へラケメリ1/2 底部内側中央 一定方向のナ ドロコ左方向	φ 0.5~2mm 白・灰色 砂粒多量、φ 4mm大の白色 砂粒少量	良 好	外 断・内 灰白色N7/0	底部外側へラ 記号「四」
須恵器 壺	B85 第45回	(残) 口径 20.5cm 残存高 6.9cm	B地区 K13LX B56-OR	マキアゲ・ミズキ 削開部 ハケ状工具によ る削開部外側 周囲ナ ドロコ左方向	φ 1~5mm 白の白色砂 粒多量	善 通	外 灰N6/0 内 断・内 灰白色10Y7/1	
須恵器 壺	B95 回版 113 第50回	口径 12.15cm 高さ 5.1cm	B地区 K141B B56-OR 青灰色粘土層	天井部外側 凹部へラケメリ1/2 天井部内側中央 一定方向のナ ドロコ右方向	善 φ 2mm以下の 白色砂粒	良 好	外 断・内 灰白色N7/0 内 暗白色10Y8/1	つまみ付茎を 除く外側全体 白化、受熱 トトボのため 口縁部強度 一層欠け、天 井部外側へラ 記号「四」
須恵器 杯底	B97 第56回	(残) 口径 12.25cm 高さ 4.6cm	B地区 K141A B56-OR	天井部外側 凹部へラケメリ1/3 他は回転ナ、クロロ右方向	φ 0.5~2.5 mmの白・茶褐 色砂粒多量 ナラリテ	中 中	外 暗黃褐色10YR6/2 暗褐色2.5YR6/6 後青褐色7.5YR8/4 後青褐色7.5YR8/2 内 暗褐色10YR6/1 後青褐色10YR8/2	やや生焼け
須恵器 壺	B122 第42回	残存高 10.05cm	B地区 K13KX B56-OR 砂層	底部上外側 回転ナ用し たハケ状工具によ る削開部外側 周囲ナ ドロコ左方向	善 φ 1mm以 上の白色砂粒 黑色粘土粒	良 好	外 残褐色10Y6/1 暗褐色5R6/1 内 暗褐色10Y7/1	壺内面・肩 部自然釉 大ダスク
須恵器 壺	B123 回版 117 第53回	残存高 10.2cm	B地区 K14KC B56-OR 砂層	口端部外側凸 部、下面下1/3 の吹抜孔 (10mm) 内側吹抜孔 1個 底状 (10mm) 底部内側 指爪痕後ア	φ 4mm以下の 白・灰褐色 砂粒多量	硬	外 硬灰10G5/1 内 暗灰5R5/2 暗褐色10G4/1	壺部外側 大ダスク
須恵器 足	H194 第42回	残存高 8.9cm	B地区 K13KX B56-OR 砂層	底部外側 ヨコナガ 底部内側 内面 底状	善 φ 2~3 mmの大白色砂 粒	良 好	外 内 N6/0 内 暗褐色5R6/1 暗褐色5R6/1	壺内面・一 体化自然釉 受熱時に体 部割れている
須恵器 高杯	B129 回版 117 第50回	口径 15.9cm 高さ 11.4cm 底径 10.35cm	B地区 K14KB B56-OR	口端部外側 2 本の凸線 凸線 (14本/φ) 底部外側平行スカリ1/2 クロロ左方向 台形 1段落 マスキ	中や善 φ 1mm以下 の白色砂粒多量	良 好	外 内 灰褐色N4/6 内 暗褐色N4/6	内外面と右 側
須恵器 壺	B145 第41回	残存高 13.6cm	B地区 K13LX B56-OR 砂層	底部下子口面切削を利用した ヘラマキアナ、底部外側 跡跡へラケメリナ ドロコ左方向	中や中 φ 4mm以下 の白色砂粒多量 黑色粘土粒	良 好	外 硬灰色10G4/0 内 暗褐色5R6/1 内 青褐色5R6/1	壺内面～体 部自然釉
須恵器 壺	B156 第80回	残存高 10.5cm	B地区 K14RB B261OS	底部外側斜文 (5本/φ) 内側斜文に凹凸文 (2.5φ/φ) 列点文をはさんで 2 本の斜文	善 φ 1mm以 上の白色砂粒 黑色粘土粒	良 好	外 内 灰褐色N6/0 内 暗白色10Y7/1	壺内面自然 釉、内面 底部上半 部、底部内面 自然釉
須恵器 壺	D158 回版 117 第53回	口径 10.4cm 高さ 11.0cm	B地区 K14MA B56-OR	底部外側凸 部、口端部外側斜 文 (3.5φ/φ)、丸丸付 近外側斜文 (2.5φ/φ)	善 φ 1mm以 下的白色砂粒	良 好	外 灰褐色N6/0 内 暗白色10Y7/1 内 暗白色N7/0	口端部凸 部、内面 底部上半 部、底部外側 自然釉
須恵器 高杯	H179 回版 117 第53回	口径 17.3cm 高さ 15.7cm 底径 10.15cm	B地区 K141A B56-OR	底部外側凸 部、口端部外側斜 文 (3本/φ)、丸丸付 近外側斜文 (3本/φ)	やや粗い φ 3mm以下 の白色砂粒・黑 色粘土粒多量	良 好	外 精緻灰10G5/1 明ガリープ灰白 2.5G Y7/1 内 オリーブ灰 2.5G Y6/1	全体自然釉 大ダスク

種類	通号	出土地点	技 法	胎 土	焼 成	色 調	備考	
良知器 杯盤	B199 第64回	口径 高さ 底径	13.5cm 4.35cm 36.0mm	B地区 K12R.U B1-O.R	天井部外側回転ヘラケツリ/1 2.、天井部内面中央先端一定方 向のナデ クロロ方向	やや青 下の白、灰色 砂粒 黒色粘物質	外、底 断・内 底白色N7/0	口縁部外側、 内面全体自然 輪
良知器 杯身	B199 第64回	口径 高さ 底径	10.5cm 3.3cm -	B地区 K14U.B B37-O.R	底体部外側 回転ヘラケツリ/1 2.、内面中央 同心円約後一一定方向のナデ クロロ方向	やや青 下の白色 砂粒多量 含む、黑色粘物 質を認める	外・裏面 底白色N8/0 断面 底白色5C Y8/1	口縁部に張み
良知器 阿蘇台 (舞)	B197 第64回	残存高	6.4cm	B地区 K13N.X 自然底	凸部間に「朱」の波状文(8 cm/1cm)と重ねた斜面 内面底部ナデの後不定方向 のナデ	古 約5.0mm以下 の白色粘物質	底 外 底白色10Y5/1 底白色10Y4/1 底白色10Y4/1	内外面とも自 然輪
良知器 台付口 盤	B198 第64回	口径 高さ 底径	7.1cm 2.0cm 10.55cm	B地区 K14E B34-O.S 自然底	底体部外側回転ヘラケツリ/1 2.、底体部外側2条の吹抜 吹抜間に斜面のへらけつ文 (2本/1cm)	約5.0mm以下 の白色粘多量	底 外 底灰オーブ色 5G Y7/1 底灰5P B6/1	全体に自然輪
良知器 臺	B202 第65回	口径 高さ 第65回	20.95cm 37.3cm -	B地区 K13N.Y B36-O.R	底体部外側平面吹抜(5本/1 cm)後吹抜(3本/1cm) 底体部外側平面吹抜(3本/1 cm)、底体部外側平面吹抜(2 本/1cm)、底体部内面同心 円吹抜(3本/1cm)	約5.0mm以下 の白色粘多量	底 外 褐色青灰色10B G4/1 内 青灰色10B G3/1	底体部外壁火大 ダメキ、周囲内 面及底吹きの 黒皮斑、口縁 部内面、脚部 自然輪
良知器 臺	B203 第65回	口径 高さ 第65回	19.4cm 37.3cm 31.1cm	B地区 K13T.Y	底体部上半部分吹抜タテ(3, 5.5cm/1cm)、底体部内面吹抜タ テ、底体部外側平面吹抜(2本/ 1cm)、底体部外側平面吹抜(2 本/1cm)後吹抜(2本/1cm)し たナデ、底体部外側平面吹抜 (3.5cm/1cm)	約5.0mm以下 の白、灰色粘	底 外 青灰色5P B5/1 内 褐青灰5B G7/1	底面わずかに 剥落
良知器 有蓋高杯	B205 第65回	(被) 口径 底径 高さ 底径	11.4cm 5.6cm 7.4cm	B地区 K14.I.B B36-O.R	底体部外側回転ヘラケツリ/3 底体部外側平面吹抜定方向の ナデ、クロロ右方向	約 2mm以下 の白色粘少量	底 外 底色7.5Y5/1 底色2.5Y R5/3 内に赤い赤褐色5Y R5/3	底良知器ヘラ 記号「+」
良知器 把手手筒	B207 第66回	(被) 口径 底径 高さ 底径	9.5cm 5.3cm 7.5cm 7.4cm	B地区 K13W 自然底	底体下半クランク工具によ る回転ナデ、底体部土台を複数回 旋削、底座、底座の底不正方 向の静止ヘラケツリ	底 約2mm以下白 灰色粘粒	底 外・内 底白色N7/0	内全面薄い 自然輪
良知器 有蓋高杯	B210 第177回	(被) 口径 底径 高さ 底径	10.4cm 6.0cm 6.0cm 6.0cm	B地区 K14.I.E 試掘、古墳 時代用鉄筋 壁6.0cm-O.R 上層	底体部外側 回転ヘラケツリ/2 内 中央一定方向のナデ クロロ右方向	底 約4.0mm以下 の白、灰色粘	底 外 褐灰色5Y R6/1 底色2.5Y7/1 底色2.5Y R3/1 底色2.5Y8/1 内 赤褐色2.5Y R5/1	底良知器ヘラ 記号「+」 やや剥離
良知器 杯身	B214 第36回	(被) 口径 底径 高さ 底径	12.45cm 4.7cm 5.5cm 5.5cm	B地区 K13V B36-O.R 上層	底体部外側 回転ヘラケツリ/3 底体部内面 回転ヘラケツリ/2 内 中央一定方向のナデ クロロ右方向	底 約2~4. 5cm以下 の浅色小 粒状より 以下約2mm の白色粘少 量及黒色粘	底 外・内 底白色N5/0	底良知器ヘラ 記号「+」 やや剥離
良知器 杯身	B216 第35回	口径 底径 高さ 底径	11.2cm 5.1cm 5.1cm 5.1cm	B地区 K14.I.C B36-O.R 砂継繩	マキアグ・ミズビキ 底体部外側 回転ヘラケツリ/2 クロロ左方向	底 約2~3 mm以下 の白色粘 少量、黑色 粘物質	底 外 底色2.5Y8/1 内 底白色10Y R8/1	生焼け
良知器 杯身	B222 第36回	(被) 口径 底径 高さ 底径	13.75cm 4.7cm 4.7cm 4.7cm	B地区 K13S.V B1-O.R	マキアグ・ミズビキ 底体部外側 回転ヘラケツリ/1 クロロ左方向	底 約2~3 mm以下 の白色粘 少量、黑色 粘物質	底 外 底色6.0 底色N7/0 内 底色N7/0	面 内面自然輪
良知器 杯身	B223 第50回	口径 底径 高さ 底径	13.35cm 5.7cm 5.7cm 5.7cm	B地区 K14T.I B36-O.R	マキアグ・ミズビキ 底体部外側 回転ヘラケツリ/2 内 底色粘少 量セラレキ	底 約2~3 mm以下 の白色粘 少量及 黑色粘物 質	底 外 底色5.5/1 内 底色10Y R7/4 底色5Y R8/2	生焼け
良知器 皿	B224 第53回	基盤径 側面径 高さ 底径	5.1cm 5.1cm 7.2cm 5.1cm	B地区 K13T.Y B36-O.R	底体部半に剥離文 体溝に回転ナデ調整	底 黑色粘物質 含む	底 外 底色N5/0 底色N7/0 内 暗褐色N3/0	外側全體自然 輪、内面土器 片付着
良知器 杯身	B226 第49回	(被) 口径 底径 高さ 底径	11.4cm 5.8cm 3.85cm 3.85cm	B地区 K14I.B B36-O.R 青褐色粘物質	天井部外側回転ヘラケツリ/1 2.、複数の下方クランク工具によ るコロナデ クロロ左方向	底 約2~3 mm以下 の白色粘 少量及 黑色粘物質	底 外 底色N6/0 底色N7/0 内 底色5.5Y7/1	外側全體自然 輪、内面土器 片付着
良知器 杯身	B226 第49回	口径 底径 高さ 底径	11.4cm 4.25cm 4.25cm 4.25cm	B地区 K14I.A B36-O.R 砂継繩	天井部外側回転ヘラケツリ/1 2.、天井部内面中央先端ハッカ工 具による上上げナデ クロロ右方向	底 約2~3 mm以下 の白、灰色 砂粒、黑色 粘物質突出	底 外 底白色N7/0 内 明褐色6P B7/1	外側全體自然 輪、外側火大 ダメキ
良知器 杯身	B229 第51回	口径 底径 高さ 底径	11.6cm 5.8cm 5.8cm 5.8cm	B地区 K14J.C B36-O.R	底体部外側回転ヘラケツリ/2 4.、底体部内面中央先端一定方 向のナデ。クロロ左方向	底 約2~3 mm以下 の灰黑、白 色粘少 量及黒色 粘物質	底 外 底色10Y6/1 内 底白色5Y7/1	やや剥離 ヘラ記号
良知器 杯身	B231 第51回	口径 底径 高さ 底径	10.6cm 4.9cm 4.9cm 4.9cm	B地区 K14I.A B36-O.R	マキアグ・ミズビキ 底体部外側 回転ヘラケツリ/2 クロロ左方向	底 約2~3 mm以下 の白色粘 少量及 黑色粘物質	底 外 底色N6/0 内 底白色N7/0	面 内面土器 片付着、底体部 外側、自然輪

種類	遺物番号	法量(㎤)	出土地点	技 法	動 土	焼 成	色 調	備考
須恵器 杯盤	B232 回叢 111 第50回	口径 盤高 12.8cm 4.4cm	B地区 K144-C B56-O-R	天井部外側 回転ヘラケツリ 1/2、天井部内側 中央部同 心円印付ナメ ロクロ左方向	やや密 φ 3 mm以下の白色 砂多量	硬	外：成色N5.0 オリーブ灰色Y4/2 新 内：成色N6.0 オリーブ灰色Y4/2	口縁部外側～ 内面全体自然 釉 強み
須恵器 杯身	B233 回叢 115 第52回	口径 盤高 10.4cm 4.7cm	B地区 K141-C B56-O-R	底部外側 回転ヘラケツリ 2/3、底体部内側 中央部ヘ ラク工芸による仕上げナメ ロクロ右方向	密 φ 2 mm以下の 白色砂 黑色藝術物	堅	外：成色N6.0 青灰色10B G6/1	古み 底体部外側薄 く自然釉、並 底部外側土器 片付着
須恵器 杯盤	B234 回叢 116 第50回	口径 盤高 13.75cm 5.4cm	B地区 K141-A B56-O-R	天井部外側回転ヘラケツリ/ 4、天井部内側中央部同 心印ナメナメ ロクロ左方向	やや密 φ 2 mm以下の白色 砂多量 黑色藝術物	不 真	外：灰白色7.5Y7/1 新 内：灰白色5 Y2/1	古み大 やや生焼け
須恵器 杯盤	B235 回叢 117 第50回	口径 盤高 13.85cm 5.45cm	B地区 K141-A B56-O-R	天井部外側回転ヘラケツリ/ 3、天井部内側中央部一定方 向のナメ ロクロ左方向	密 φ 2 mm以下 の白色砂 黑色藝術物	真	外：青灰色5 B7/1 青灰色5 P B5/1 新 内：青灰色5 P B7/1	古み
須恵器 杯身	B236 回叢 114 第51回	口径 盤高 9.95cm 5.35cm	B地区 K131-Y B56-O-R	底体部外側 回転ヘラケツリ2/3 底体部内側 天井一定方向のナメ ロクロ左方向	やや密 φ 2 mm以下 の白色砂 黑色藝術物	やや 不真	外：灰色10Y6/1	
土師器 壺	B237 回叢 104 第36回	口径 盤高 12.6cm 15.6cm	B地区 K133-Y B56-O-R	口縁部外側 ヨコナギ、係 部底～底外側 縦方向のナゲ 1/6本(ノ)、係 部底内側 上手板状によるナゲ	やや密 φ 3 mm以下の白・ 灰色砂 黑色藝術物	良 好	外：浅黄色2.5Y6/3 灰褐色2.5Y7/2 新 内：浅黄色2.5Y7/3	外面全体糊付 着可し
瓦質 片口鉢	B238 回叢 117 第17回	口径 盤高 不明 3.4cm	B地区 K144-C B56-O-R	口縁部外側面 ヨコナギ、係 部底～底外側 縦方向の平行タタキ (3本/ノ)、係 部底内側 長工具によるヨコナギ	やや密 φ 1 mm以下 の白色砂 含む	良 好	外：内面 成色N6.0 新 内：成色N7.0	胎土にφ 1 mm 以上の角錐多 い
須恵器 杯身	B245 回叢 116 第52回	(縦) 口径 11.75cm 盤高 5.4cm	B地区 K141-B B56-O-R	底体部外側 回転ヘラケツリ 2/3、底体部内側 中央一定 方向のナメ ロクロ右方向	密 φ 2 mm以下 の白色砂	不 真	外：新 内： 灰白色10Y 8/1	生焼け ヘラ記号
須恵器 杯身	B246 回叢 106 第44回	口径 盤高 9.4cm 5.1cm	B地区 K141-C B56-O-R	底体部外側 回転ヘラケツリ 2/3、底体部内側 中央一定 方向のナメ ロクロ右方向	密 φ 1 ~ 3 mm の白色砂 黑色藝術物	硬	外：成色N6.0 新 内：成色7.5 R5/1	口縁部の古み 大
須恵器 壺	B247 回叢 108 第44回	(縦) 口径 14.6cm 盤高 21.05cm	B地区 K141-A B56-O-R 砂摩擦	2重の表文(日本 / 1本) 体部上半外側 平行タタキ (4本 / 1本) 係 部底半外側 係カネ目 係部下半外側 平行タタキ (4本 / 1本) 係 部底内側 平行タタキ (4本 / 1本) 係 部底内側 下手 平行タタキ (3本 / 1本) 係 レメリ酒しササゲ	密 φ 5 mmの大 きな白色砂 および φ 3 mm以下の 白色砂少量	良 好	外：成色10G Y5/1 青灰色5 P B4/1 新 内：青灰色10B G6/1	腹部や生焼 け
須恵器 壺	B248 回叢 109 第44回	口径 18.8cm 盤高 34.85cm	B地区 K141-A B56-O-R 砂摩擦	口縁部 内側間に1本 の表文(日本 / 1本) 底体部外側 平行タタキ (4本 / 1本) 係 部底半外側 係カネ目 係部下半外側 平行タタキ (4本 / 1本) 係 部底内側 下手 平行タタキ (4本 / 1本) 係 レメリ酒しササゲ	やや密 φ 3 mm以下の 白色砂 多量	硬	外：成色N5.0 新 内：成色2.5Y8/1 明オリーブ灰色 5 G Y7/1	口縁部の古み 大、表面自然 釉、並葉火打 スキ
須恵器 杯身	B250 回叢 111 第51回	口径 10.05cm 盤高 4.4cm	B地区 K141-B B56-O-R 砂摩擦	底体部外側 回転ヘラケツリ 1/2、底体部内側 中央一定 方向のナメ ロクロ左方向	密 φ 2 mm以下 の白色砂	堅	外：青灰色5 P B5/1 灰白色N8/1 新 内：青灰色5 P B7/1	底体部外側 丸ダスク
須恵器 杯身	B255 回叢 115 第51回	口径 10.75cm 盤高 4.7cm	B地区 K141-C B56-O-R 砂摩擦	底体部外側 回転ヘラケツリ 2/3、底体部内側 中央一定 方向のナメ ロクロ右方向	やや密 φ 2 mm以下 の白色砂多量	良 好	外：青灰色5 P B5/1 明オリーブ灰色 2.5 Y7/1	口縁部に古み へら記号 受部の自然釉
須恵器 杯身	B256 回叢 116 第52回	口径 10.4cm 盤高 5.06cm	B地区 K133-X B56-O-R 砂摩擦	底体部外側 回転ヘラケツリ 1/2、底体部内側 中央一定 方向のナメ ロクロ左方向	やや密 φ 5 mmの大 きな白色砂 φ 3 mm以 上の白色 砂少量 黑色藝術物	良 好	外：明黄色5 P T/1 明黄色5 R PT/1 新 内：明黄色5 P B7/1	口縁部に古み
須恵器 杯身	B257 回叢 117 第52回	(縦) 口径 11.2cm 盤高 5.5cm	B地区 K141-C B56-O-R	マキアゲ・ミズビキ 底体部外側回転ヘラケツリ 2/3、ロクロ右方向	密 φ 2 ~ 5 mm の白色砂 黑色藝術物	良 好	外：内 成色N6.0 青灰色10B G5/1	受部～底体部 自然釉
須恵器 杯身	B258 回叢 114 第51回	口径 9.9cm 盤高 4.45cm	B地区 K132-FV B56-O-R	マキアゲ・ミズビキ 底体部外側回転ヘラケツリ 2/3、底体部内側一定方 向のナメ	密 φ 2 mm以下 の白色砂少量	良 好	外：成色2.5G Y8/1 灰白色N8/0 オリーブ灰色 2.5G Y6/1	口縁部に古み 底体部外側自 然釉
須恵器 杯身	B259 回叢 109 第40回	(縦) 口径 10.65cm 盤高 5.0cm	B地区 K144-A B56-O-R	マキアゲ・ミズビキ 底体部外側回転ヘラケツリ 2/3、ロクロ左方向	密 φ 3 mm以下 の白色砂 黑色藝術物少 量	硬	外：暗青灰色5 B4/1 青灰色5 P T/1 新 内：青灰色5 P B7/1	
須恵器 杯身	B260 回叢 110 第51回	口径 10.75cm 盤高 5.7cm	B地区 K141-D B56-O-R	底体部外側に回転ヘラケツリ 1/2、底体外側 カギ目洗 の調査(5本 / 1本)、底体 部内側 中央一定方向のナ メ ロクロ左方向	密 φ 3 mm以下 の白色砂 黑色藝術物	堅	外：内 青灰色10B G5/1 新 オリーブ灰色 5 G Y5/1	底体部に施成 底体部外側 丸ダスク

種類	遺物番号	法長(cm)	出土地點	性 質	胎 土	形 成	色 調	備考
須恵器 杯身	B301 國版 114 第51回	口径 11.05cm 高さ 4.6cm	B地区 K13L-B B56-OR	底部外周輪郭ハケズリ/3 4、底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ左方向	やや 中空 中空 中空	不 良 硬 良	外・断 内・灰白色10YR8/1 内・褐色N6/0	
須恵器 杯身	B302 國版 115 第52回	口径 10.75cm 高さ 4.55cm	B地区 K14-L-B B56-OR	マキアツ・ミズビキ 底体外周輪郭ハケズリ1/2 クロロ左方向	中空 中空 中空	硬 良	外・暗褐色3B4/1 内・暗灰褐色3P8/1 内・暗青灰3PB4/1	ヘラ足等 一 受部に直口 縦彫部有
須恵器 杯身	B263 國版 114 第40回	口径 10.75cm 高さ 4.55cm	B地区 K14K-A B56-OR	底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ左方向	やや 中空 中空	良 好	外・内 内・灰白色N7/0	柔み 受部・底体部 薄い自然輪
須恵器 杯身	B264 國版 115 第51回	口径 10.4cm 高さ 4.7cm	B地区 K14K-C B56-OR 砂輪削	底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ左方向	中 空 中空	良 好	外・青灰色3B5/1 内・暗褐色5KP8/1	
須恵器 杯身	B265 國版 114 第51回	(推) 口径 10.65cm 高さ 4.6cm	B地区 K14K-C B56-OR	底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ右方向	やや 中空 中空	良 好	外・灰褐色N4/0 内・暗褐色N6/0	受部・底体部 薄い自然輪
須恵器 杯身	B266 國版 115 第51回	口径 10.8cm 高さ 5.3cm	B地区 K14K-C B56-OR	底体部外周 輪郭ハケズリ2/3 底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ左方向	やや 中空 中空	良 好	外・青褐色3B6/1 内・青褐色3H5/1 内・青灰色3PB6/1	焼成時の亀裂 ヘラ足等 「×」
須恵器 杯身	B269 國版 115 第51回	(推) 口径 11.45cm 高さ 5.0cm	B地区 K14L-B B56-OR	マキアツ・ミズビキ 底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、クロロ左方向	中 空 中空	不 良	外・白褐色5YR8/1 内・白褐色5YR7/4 内・浅褐色10YR8/3	生焼けのため 磨き等 ヘラ足等 「×」
須恵器 高杯	B270 國版 115 第52回	口径 9.7cm 高さ 7.4cm 底径 8.1cm	B地区 K14J-D B56-OR	マキアツ・ミズビキ 底体部外周輪郭ハケズリ1/3 クロロ左方向	中 空 中空	不 良	外・褐褐色5YR8/1 内・白褐色5YR6/4 内・白褐色5YR7/4 内・白褐色5YR8/3	生焼け
須恵器 高杯	B272 國版 115 第52回	口径 11.5cm 高さ 7.1cm 底径 11.4cm	B地区 K14J-D B56-OR	底体部外周輪郭ハケズリ1/3 底体内部中央一定方向のナデ クロロ左方向	中 空 中空	硬	外・内 内・灰褐色N6/0 内・灰白色N7/0	脚部に直口 縦彫部有 底体部自然輪
須恵器 把手附	B273 國版 114 第41回	(推) 口径 9.2cm 高さ 9.2cm	B地区 K13L-Y B56-OR	底体部外周輪郭ハケズリ1/3 底体内部中央一定方向のナデ 手附等・内面削除ハケズリ	中 空 中空	硬	外・内 内・灰白色N4/0 内・灰褐色N7/0	
須恵器 杯身	B276 國版 115 第50回	(推) 口径 11.6cm 高さ 4.8cm	B地区 K14J-A + K A B56-OR	天井部外周 輪郭ハケズリ2/3 底体内部中央一定方向のナデ クロロ左方向	中 空 中空	硬	外・内 内・灰褐色N4/0 内・灰褐色5H4/2 内・灰褐色N6/0	天井部外周 つまみ自然輪
須恵器 杯身	B279 國版 113 第50回	口径 11.6cm 高さ 5.5cm	B地区 K14J-E B56-OR 砂輪削	マキアツ・ミズビキ 天井部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向のナデ クロロ左方向	中 空 中空	硬	外・内 内・灰褐色N5/0 内・灰白色N7/0	墨み大 内外輪とも自然輪
須恵器 杯身	B281 國版 114 第51回	口径 10.45cm 高さ 4.8cm	B地区 K13G-W B56-OR	底体部外周 輪郭ハケズリ2/3 底体内部中央一定方向のナデ クロロ左方向	中 空 中空	硬	外・白褐色2.5YB/1 内・灰白色5Y8/1	墨み大
須恵器 無蓋高杯	B282 國版 117 第53回	(推) 口径 16.8cm 高さ 7.6cm	B地区 K13M-W 自然底	底体部外周輪郭ハケズリ(6.5 本/1m) 底体内部中央一定方向のナデ ハラマリ1/3段カタ目(7 本/1m)、クロロ左方向	中 空 中空	硬	外・内 内・灰褐色7.5Y5/1 内・灰褐色7.5Y4/1	内面自然輪
須恵器 杯身	B285 國版 119 第36回	口径 13.1cm 高さ 4.7cm	B地区 K14Q-V 砂輪削	底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ右方向	中 空 中空	良 好	外・内 内・灰褐色N6/0	底体部外周 自然輪
須恵器 有蓋高杯	B291 國版 113 第52回	口径 10.0cm 高さ 9.2cm (推) 底径 10.55cm	B地区 K13H-X B56-OR	マキアツ・ミズビキ 底体部外周輪郭ハケズリ2/ 3、底体内部中央一定方向 のナデ、底部回転ナデ、台脚 (1.1段) 3方ガシナ。クロロ 右方向	中 空 中空	中 空 不良	外・褐褐色5YR5/1 内・白褐色5YR7/4 内・白褐色5YR7/2 内・白褐色5YR7/3 内・白褐色10YR7/2 内・白褐色2.5YR6/6	
須恵器 無蓋高杯	B294 國版 116 第50回	(推) 口径 10.5cm 高さ 9.2cm (推) 底径 10.55cm	B地区 K14K-C B56-OR	底体部外周 輪郭ハケズリ2/3 底体内部中央一定方向 のナデ、クロロ左方向、台脚 3方ガシナ	中 空 中空	良 好	外・断 内・灰褐色N5/0 内・青褐色3PB6/1	脚部自然輪
須恵器 無蓋高杯	B296 國版 117 第53回	口径 14.5cm 高さ 10.7cm 底径 9.0cm	B地区 K14L-B B56-OR	外裏1条の被状文(8本/1 m)、クロロ左方向、台脚四 方ガシナ	中 空 中空	硬	外・網ナフード灰 2.5色Y7/1 内・灰褐色10YR8/1 内・暗褐色5BG4/1	全体的に自然 輪部有 底部墨染の痕 底底

種類	遺物番号	出土量 (cm)	出土地点	技 法	胎 土	焼 成	色 調	備考
須恵器 無蓋高杯	B299 第43回	口径 14.95cm 残存高 9.6cm	B地区 K15K Y B56-O R	底部外表面回転ヘラケツリ/2、 底部裏面1条の微波文 (1本/1cm)、内面微波文 後一定方向のナデ、ロクロ 左方向	やや密、φ 5 以下の中白色 砂粒少、黑色 鉱物粒	硬	外・断 暗青灰色 5 BG4/1 青青灰色 5 BG7/1 内 明青灰色 5 BB7/1	底部外表面 自然釉
須恵器 杯身	B307 第52回	口径 10.8cm 残高 4.95cm	B地区 K141 A B56-O R 砂輪	底部外表面回転ヘラケツリ/2、 底部裏面中央一定方向 のナデ、ロクロ右方向	やや密、φ 5 以下の中白色 砂粒少、黑色 鉱物粒	好	外・断 青灰色 5 BG6/1 青青灰色 5 BS5/1	底部外表面 ヘラ記号 火炎跡
須恵器 甕	B306 第54回	(底) 口径 14.9cm 残存高 13.1cm	B地区 K15 L B B56-O R	口縁部外表面回転ナデ、ロ クロ右方向、底部外表面ツリ 年 (1本/1cm)、底部裏面回 転ナデ(2本/1cm)、底部内面 円周凹(2本/1cm)後 火炎跡のナデ	中 φ 2 cm以 下の白色 砂粒多	不 良	外・断 淡青色 2.5 Y8/3 内 淡黄色 2.5 Y8/4	直火 生焼け
須恵器 甕	B307 回数 108 第43回	残存高 10.7cm	B地区 K15 X 自然釉 砂輪内	底部外表面野口ヘラケツリ ナ 底部裏面回転ヘラケツリ 底部内面工具で押された模様	中 φ 2 cm以 下の白色 砂粒少	硬	外 暗青灰色 10 BG4/1 青青灰色 5 TB6/1 内 青灰色 5 BS5/1	底部外表面 自然釉 ヘラ記号
須恵器 甕	B309 第36回	口径 12.45cm 残高 4.8cm	B地区 K148 T B51-O R	天井部外表面 静止ヘラケツリ 中央一定方向のナデ ロクロ右方向	やや密、φ 3 以下の中白色 砂粒多量 黑色鉱物粒少	好	外 灰色 10 Y6/1 内 灰色 N7/0	ヘラ記号?
須恵器 甕	B311 第50回	口径 12.7cm 残高 5.7cm	B地区 K141 A B56-O R	天井部外表面回転ヘラケツリ/1 2、天井部裏面回 転ナデ一定方向のナ デ、ロクロ右方向	中や密、φ 3 以下の中白色 砂粒少	硬	外 淡白色 N8/0 灰又リーブ色 T.5 Y5/3 内 灰白色 N7/0	外表面自然釉
須恵器 甕	B312 第50回	口径 11.8cm 残高 5.0cm	B地区 K148 C B56-O R	天井部外表面回転ヘラケツリ/1 2、天井部裏面回 転ナデ一定方向のナ デ、ロクロ左方向	中 φ 3 cm以 下の白色砂粒	硬	外・断 内 淡白色 N7/0	天井部外表面 自然釉、天井部 裏面燒成窓
須恵器 甕	B313 第50回	口径 11.8cm 残高 5.6cm	B地区 K148 C B56-O R	天井部外表面回転ヘラケツリ/2 3、天井部裏面回 転ナデ一定方向のナ デ、ロクロ右方向	中 黑色鉱物粒	硬	外 超灰色 5 G6/1 内 淡青色 10 BG7/1 明青灰色 10 BG7/1	直火 口縁部外表面 自然釉
須恵器 瓶	B314 回数 106 第41回	口径 9.4cm 残高 14.0cm	B地区 K144 A B56-O R 砂輪	体表面回転ヘラケツリ/2、2条の沈 没痕開口部波文(3.5cm × 0.5cm)、底部裏面2条の波文 (上12本/1cm、下10本/ 1cm)、底部裏面凹痕	中や密、φ 3 以下の中白色 砂粒多量	硬	外 白色 N5/0 淡青色 10 G Y6/1 内 灰色 N5/0	口縁部内面 自然釉、瓶 内面自然釉
須恵器 瓶	B315 回数 106 第43回	(底) 口径 11.0cm 高さ 16.6cm	B地区 K149 Y B56-O R	マキアグ・ミズビキ 口部裏面2条の凸凹痕、底部 裏面凹痕(4.5cm/1cm) 、底部裏面凹痕	中 φ 1 cm以 下の白色砂粒 少	好	外・断・内 青灰色 5 P B6/1	底部外 裏ね焼き板
須恵器 把手付杯	B316 回数 105 第41回	(底) 口径 16.0cm 高さ 8.7cm	B地区 K138 Y B56-O R	マキアグ・ミズビキ 底部裏面凹痕後コナダ、 その後複数回波の波紋	中 φ 1 cm以 下の白色 砂粒少	硬	外 暗青灰色 5 BT1/1 内 灰又リーブ色 5 G Y7/1	粘土ひも痕
須恵器 把手付杯	B317 回数 105 第41回	口径 7.05cm 高さ 4.05cm	B地区 K133MW	マキアグ・ミズビキ 体表面1条の波紋文(9本/ 1cm)、底部裏面静止ヘラケツリ	中や密、φ 3 以下の中白色 砂粒多量	硬	外 暗青灰色 10 BG4/1 暗青灰色 10 BG3/1	火打子 口縁部内面 自然釉
須恵器 甕	B318 第64回	口径 15.45cm 高さ 5.25cm	B地区 B57-O	マキアグ・ミズビキ 底部外表面ヘラケツリ/3 、ロクロ右方向	中や密、φ 4 以下の中白色 砂粒	好	外 灰色 N6/0 内 白色 10 R5/3 内 灰色 N5/0	
須恵器 杯身	B319 回数 112 第46回	口径 10.7cm 残高 7.75cm	B地区 K131 Y B56-O R	体表面下半部手揉ヘラケツリ 2/3、天井部裏面中央一定 方向のナデ、ロクロ右方向	中 φ 1 cm以 下の白色	硬	外 暗青灰色 10 BG3/1 内 灰白色 N6/0	直火焼成 口縁外表面 自然釉
須恵器 把手付杯	B320 回数 110 第49回	口径 12.7cm 高さ 4.55cm	B地区 K144 H B56-O R	天井部外表面回転ヘラケツリ 2/3、天井部裏面中央一定 方向のナデ、ロクロ右方向	中や密、φ 2 以下の中白色 砂粒少	好	外 灰白色 N7/1 内 灰白色 N8/0	外表面自然釉
須恵器 把手付杯	B321 回数 105 第40回	(底) 口径 8.95cm 高さ 5.1cm 底径 5.95cm	B地区 K144 A B56-O R	マキアグ・ミズビキ 体表面2条の波紋文(10本/ 1cm)、底部外表面回転ヘラケツリ	中 φ 1 cm以 下の白色砂粒 少	好	外・断・内 灰白色 N6/0	底部焼成 中火不良
須恵器 把手付杯	B322 回数 105 第40回	口径 9.8cm 高さ 5.7cm	B地区 K133 NW	マキアグ・ミズビキ 体表面2条の波紋文(10本/ 1cm)、底部外表面回転ヘラケツリ	中や密、φ 2 以下の中白色 砂粒少	硬	外 白色 N5/0	口縁部外表面 内面自然釉
須恵器 把手付杯	B324 回数 105 第40回	口径 10.8cm 高さ 4.55cm 底径 6.0cm	B地区 K131 L X	マキアグ・ミズビキ 体表面下半部静止ヘラケツリ 2/3、底部外表面回転後ナデ	中や密、φ 2 以下の中白色 砂粒多量	硬	外 灰白色 N7/0 内 灰色 N6/0	直火焼成 火打子
須恵器 甕	B325 回数 111 第51回	口径 9.55cm 高さ 4.8cm	B地区 不規 B56-O R	マキアグ・ミズビキ 底部裏面回転ヘラケツリ 2/3、ロクロ左方向	中や密、φ 5 以下の中白色 砂粒多量	好	外 暗青灰色 10 BG3/1 内 灰色 N6/0	底部外表面 自然釉

種類	遺物番号	法量 (cm)	出土 地点	性 能	胎 土	発 展	色 調	備考
須恵器 舟身	B326 昭和 119 第36回	口径 12.15cm 基高 4.45cm	B地区 K13Q V	マキアゲ・ミズビキ 底全体外面輪郭へラケケリ 2/3、ロクロ左方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒多量 黒色鉱物粒	やや 不良	外 内 褐色10Y7/1 褐色5Y7/3	ヘラ記号 「-」
須恵器 舟身	B327 昭和 119 第36回	口径 12.6cm 基高 4.55cm	B地区 K13Q V	底全体外面輪郭へラケケリ 1/2、底全体内面中央一定 方向のナグ、ロクロ右方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒多量	硬	外 内 褐色N6/0 褐色N7/0	赤み大 底全体外面 自然釉
須恵器 舟身	B329 昭和 118 第36回	口径 10.45cm 基高 4.45cm	B地区 K14T L B56-O R	底全体外面輪郭へラケケリ 2/3、底全体内面中央一定 方向のナグ、ロクロ右方向	青 白 中 の白色 砂粒	良 好	外 内 青褐色5B6/1 青褐色5B5/1	底全体外面自然 物、舟身、 蓋等付着
須恵器 舟身	B330 昭和 114 第36回	口径 10.25cm 基高 4.45cm	B地区 K13K X	マキアゲ・ミズビキ 底全体外面輪郭へラケケリ 2/3、ロクロ左方向	青 白 中 の白色 砂粒	硬	外 内 褐色N5/0	赤み 口縁外面へ 内面自然釉
須恵器 舟身	B332 昭和 109 第35回	(推) 口径 31.6cm 残存高 8.6cm	B地区 K13Q V 自然端面	マキアゲ・ミズビキ 口縁部外側に舟形輪郭ナグ 外腹面有	青 白 中 の白色砂粒少 量	良 好	外 内 褐色N6/0	口縁部外側 自然釉
土師器 甕	B333 昭和 103 第35回	口径 13.8cm 残存高 21.7cm	B地区 K14T Y B76-O R	口縁部内面ラコ方向のハケ 部、底全体外面輪郭へラケ 2/3、ハケ4箇方のハ ケ目部に施す	中粗 中以下 の白色 砂粒多量	良 好	外 断 内 灰白色5Y7/1 灰白色5Y8/2	表面全体 煤付着
土師器 甕	B334 昭和 103 第35回	(推) 口径 30.9cm 残存高 14.0cm	B地区 B33-OO	口縁部内外部要部ヨコナグ 外腹面へ外側へも倒縮のため調 整不規	青 白 中 の白色 砂粒明 顯極めて多量	良 好	外 内 青黄色2.5Y7/3 褐色2.5Y6/6 青褐色2.5Y7/3	体部外側 付着
須恵器 裏裏	B335 昭和 106 第44回	口径 14.3cm 基高 19.0cm	B地区 K14T A B56-O R	口縁部外側 2/3 の底状文 (上 6cm、下 1cm) T1火ノ1 底全体上半部細粒砂粒子母粒 (2 本/1cm) 後半シガ工具によ る切出ナグ、底部下半部細粒 砂粒子母粒 (2本/1cm)	青 白 中 の白色砂粒少 量	良 好	外 内 褐色N5/0 褐色5P6/1	
須恵器 舟底	B336 昭和 113 第50回	口径 13.25cm 基高 6.45cm	B地区 K14K B B56-O R	マキアゲ・ミズビキ 外腹面輪郭へラケケリ2/3、天 井部外側 2/3 砂粒判定文 (2. 1cm)、ロクロ右方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒多量	硬	外 内 褐色7.5R6/1 青褐色7.5R5/3	天井部外側 自然釉、底2/3 焼きの焼成度
須恵器 舟底	B344 昭和 119 第36回	口径 13.5cm 基高 4.0cm	B地区 K13T Y B1-I-OR 上 縁 (蓋内)	マキアゲ・ミズビキ 天井部外側 輪郭へラケケリ2/3 ロクロ右方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒、黑色 鉱物粒	良 好	外 内 褐色N7/0	
須恵器 舟身	B347 昭和 112 第40回	口径 9.45cm 基高 5.3cm	B地区 K13H Y 自然端面	マキアゲ・ミズビキ 底全体外面輪郭へラケケリ 2/4、ロクロ右方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒多量	良 好	外 内 褐色5B5/1 褐色5Y7/1 褐色5P6/1	
須恵器 甕子・手箱	B348 昭和 109 第36回	(推) 口径 17.1cm 残存高 16.6cm	B地区 K14K B B56-O R	体部舟面 1/2 3/4 の浅縞 模様、輪郭へラケケリ 底全体外側平行等高 (3本/1cm)	中粗 中以下 の白色 砂粒多量 黑色鉱物粒	良 好	外 内 褐色10G5/1 褐色5Y6/4 褐色10G Y4/1	ヘラ記号
須恵器 博多型	B349 昭和 106 第42回	(推) 口径 9.4cm 基高 10.5cm	B地区 K13E Y B56-O R	底全体マキアゲ・ミズビキ 底全体被覆、内丸をはさん て舟形側に 2 本/2 台所、底 全体舟面に舟形側に 4 箇の波状文	青 白 中 の白色砂粒 少量	良 好	外 内 褐色N4/0	口縁部に波み 底全体 自然釉の一方 に自然釉
須恵器 舟底	B350 昭和 110 第40回	口径 12.75cm 基高 3.75cm	B地区 K14A Z B56-O R	天井部外側輪郭へラケケリ 2/3、舟形部内面中央一定 方向のナグ、ロクロ左方向	青 白 中 の白色砂粒 黑色鉱物粒	良 好	外 内 褐色N6/0 褐色N7/0	
須恵器 舟身	B351 昭和 112 第40回	口径 11.85cm 基高 5.1cm	B地区 K13S X B56-O R	天井部外側輪郭へラケケリ 2/3、舟形部内面列点文 (2本/1cm)、舟形部内面 輪郭	青 白 中 の白色砂粒 黑色鉱物粒	硬	外 内 褐色N4/9 明オーラー灰 2.5G Y7/1	内面全体に自 然釉、天井部 外側輪郭焼き の焼成度
須恵器 舟身	B352 昭和 112 第40回	口径 9.0cm 基高 4.1cm	B地区 K13G X B56-O R	底全体外側 輪郭へラケケリ 1/2 ロクロ右方向	青 白 中 の白色砂粒 少量	良 好	外 内 明青褐色5BG7/1 明青褐色5BT7/1	
須恵器 舟身	B353 昭和 112 第40回	口径 9.5cm 基高 3.5cm	B地区 K14M A B56-O R 砂礫層	マキアゲ・ミズビキ 底全体外側 輪郭へラケケリ 2/3 ロクロ右方向	青 白 中 の白色砂粒 少量	良 好	外 内 褐色N6/0	
須恵器 甕	B356 昭和 109 第44回	(推) 口径 35.6cm 基高 22.8cm	B地区 K14T A B56-O R 青灰地土層	体部舟面 平行テクニ (3 本/1cm) 砂粒ナグ、体部 内裏上半部心円凹 (3本/ 1cm) 後スリット有、底 部内面下半工具をいた印跡	やや粗 中以下 の白色 砂粒 黑色鉱物粒	硬	外 内 暗緑褐色5BG4/1 褐色10BG7/1 褐色10BG6/1	口縁部内面 青灰地土層 自然釉
須恵器 無蓋高杯	B357 昭和 107 第43回	(推) 口径 19.45cm 高さ 14.6cm 或底径 12.65cm	B地区 K14T A B56-O R 青灰地土層	体部外側波状文 (5本/ 1cm)、脚部外側 3 本の波状文 (9本/1cm)、舟形 2 段四方 スカシ。ロクロ右方向	やや粗 中以下 の白色 砂粒多量 黑色鉱物粒	硬	外 内 暗緑褐色5GS/1 褐色7.5R6/1 青褐色10BG5/1	内面・外 面自然釉

種類	遺物番号	法 畳 (m)	出 土 地 点	法 法	胎 土	成 成	色 調	備 考
須恵器 碗	B338 國版 106 第4258	口径 8.35cm 底高 11.45cm	B地区 K14J B B56-O R	体部外側中心凹部を利かずへ ラケツリ、体部外側下部斜 ヘラケツリ1/4、クロロ右方	やや粗 やうすい 白色 砂粒多量	良 好	外 暗褐色10B5/1 暗青褐色10B6/1 内 青灰色5B6/1	口縁部内面 質地自然 無
須恵器 有蓋高杯	B369 國版 115 第5222	口径 6.4cm 底高 7.85cm	B地区 K111 B B56-O R	底外部外側面斜へラケツリ1/ 3、底底部内面中央一定方向 のナブ、クロロ左方内	底 やうすい 下の白色 砂粒 黑色粘土物粒	良 好	外 内 灰色N6/0	外面全体自然 無
須恵器 杯蓋	B361 國版 113 第5040	口径 10.15cm 底高 4.65cm	B地区 K14K C B56-O R	天津部外側面斜へラケツリ1/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ左方内	底 やうすい 下の白色砂粒 黑色粘土物粒	良 好	外 断 内 浅灰色N5/0 灰白色N7/0	外面全体自然 無
須恵器 杯蓋	B362 國版 113 第5050	口径 13.85cm 底高 5.65cm	B地区 K14J Y B56-O R 砂粹體	天津部外側面斜へラケツリ1/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ左方内	底 やうすい 下の白色砂粒 黑色粘土物粒	不 良	外 断 内 赤褐色10R5/6 にい・褐色7Y7R7/4 明褐色5Y7R7/1	生産付
須恵器 杯蓋	B363 國版 113 第5058	(重) 口径 12.45cm 器高 5.3cm	B地区 B56-O R	天津部外側面斜へラケツリ1/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ右方内	やや粗 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物粒	良 好	外 内 浅灰色10Y6/1 褐色10Y7R5/1 灰白色N7/0	外面全体 自然無 重量換算の 従成規
須恵器 杯蓋	B365 國版 110 第4949	口径 11.85cm 底高 4.3cm	B地区 K11L X B56-O R	天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、内面ナブ、クロロ右方内	やや粗 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物粒	不 良	外 内 灰白色7.5Y7/1 淡黃褐色10Y8R4/4	生産付
須恵器 杯蓋	B366 國版 110 第4950	口径 12.2cm 底高 4.0cm	B地区 K14 C B56-O R	マキアグ・ミズビキ 天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、クロロ右方	やや粗 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物粒	良 好	外 内 青灰色5P8E/1 青灰色5S6/1 墨褐色5I5/1	
須恵器 杯蓋	B367 國版 110 第4952	(重) 口径 12.55cm 底高 4.3cm	B地区 K11N B 古墳時代虎足 砂粹體	天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ左方内	やや粗 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物粒	良 好	外 内 浅灰色N7/0 褐色5G6/1 灰白色N6/0	外面自然無
須恵器 有蓋高杯	B368 國版 117 第5346	口径 10.2cm 底高 11.6cm	B地区 K14 B B56-O R	マキアグ・ミズビキ 天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、内面ナブ、クロロ左方内	白 白色砂 黑色粘土物	良 好	外 内 褐色3G4/1 灰白色N8/0	重み大 杯蓋外側 自然無
須恵器 杯蓋	B370 國版 111 第5040	口径 11.1cm 底高 4.7cm	B地区 K14L B B56-O R	天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ右方内	やや粗 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物粒	中 中 不 良	外 内 浅灰色N6/0 灰白色N7/0	
須恵器 壺	B371 國版 111 第5438	(重) 口径 19.0cm 底高 7.4cm	B地区 K11X K B56-O R	白模をはさんで2条の後模文 (1上本/ヨコ下本/ヨコ 下部外側面斜タキ(3.5cm/ cm)、体部内面同心円タ キ2.2cm/3cm)後スリケシ状 ナブ	以下の白色砂 粒	良 好	外 内 灰白色N4/0 青灰色5R5/1 灰白色N6/0	口縁部内外面 自然無
須恵器 杯蓋	B372 國版 113 第5092	(重) 口径 11.2cm 器高 5.55cm	B地区 自然虎足	天津部外側面斜へラケツリ2/ 3、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ右方内	白 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物	良 好	外 内 灰白色N5/0 褐色5R5P6/1 灰白色N7/0	外面全体自然 無、外側重ね 成規の従成規
須恵器 杯蓋	B373 國版 113 第5020	口径 12.05cm 底高 6.2cm	B地区 野牛乍 10AT	天津部外側面斜へラケツリ1/ 2、天津部内面中央一定方向 のナブ、クロロ左方内	白 やうすい 白色 砂粒 黑色粘土物	良 好	外 内 灰白色N5/0	重み 口縁外側 自然無
須恵器 壺	B375 國版 113 第4125	口径 11.7cm 底高 16.6cm	B地区 K14D Y B56-O R 砂粹體	マキアグ・ミズビキ 天津部外側面斜(12本/1cm) 、体部外側丸孔と波紋狀 (11本/1cm)水はさんで	中 やうすい 白色 砂粒 白色 砂粒	不 良	外 内 にい・褐色5YR6/3 にい・褐色5YR6/3	生産付 非常に大きい
須恵器 肥子付罐	B376 國版 113 第4126	(重) 口径 14.1cm 底高 12.6cm (重) 底径 9.5cm	B地区 K14 D B56-O R 砂粹體	マキアグ・ミズビキ 底部十字縫合付けか? 把手手づき後接縫頭とナブ	白 やうすい 白色 砂粒 少量 黑色粘土物	良 好	外 内 青灰色5B6/1	
須恵器 膏形罐	B377 國版 106 第4226	(重) 口径 7.4cm 底高 15.3cm	B地区 K13Q Y B56-O R	体部外側丸孔に中に3本の 後模文と8条の横状文(12本/ cm)、体部内側斜面と体部の 結合部、内側ナブ	白 やうすい 白色 砂粒 少量 黑色粘土物	良 好	外 内 灰白色N6/0 灰白色N7/0	口縁部内外面 直壁、膏形罐 の一方に自然 無
須恵器 有蓋高杯	B379 國版 107 第4255	口径 13.0cm 底高 9.05cm (重) 底径 8.15cm	B地区 K14L B B56-O R	マキアグ・ミズビキ 天津部外側面斜へラケツリ1/ 3、底底部内面中央一定方向 のナブ	白 やうすい 白色 砂粒 少量 黑色粘土物	良 好	外 内 青灰色5B6/1 青灰色5I5B5/1	杯蓋外側 自然無 重み
須恵器 杯蓋	B380 國版 112 第4049	口径 12.65cm 底高 6.6cm	B地区 K14 N A 自然虎足	マキアグ・ミズビキ 天津部外側面斜へラケツリ1/ 2、クロロ左方内	白 やうすい 白色 砂粒 少量 黑色粘土物	不 良	外 内 灰白色10Y8/1 灰白色N5/0 断 内 灰白色10Y7T/1 灰白色10Y8/1	天津部外側 火ダメキ やうすい焼
須恵器 有蓋高杯	B390 國版 116 第5028	口径 10.5cm 底高 9.3cm 底径 8.8cm	B地区 K11 I B B56-O R 青灰色粘土層	底外部外側面斜へラケツリ1/ 3、底底部内面中央一定方向 のナブ、台形(1段)三方 カシ、クロロ左方内	白 やうすい 白色 砂粒 少量 黑色粘土物	中 中 不 良	外 内 灰白色N7/0 灰白色7.5T8/1	杯蓋やうすい 焼

種類	遺物番号	重量(g)	出土地点	技術	胎土	焼成	色調	備考
瓦器類	B-424 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 4.9cm 4.9cm 5.4cm	B地区 K14H A B32-O X	口縁部外面ヨコナダ、側面部 面削除後表面ハラミガキ ハリツケ高台。高台部ヨコナ ダ	密 下 2 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗青色N3/0 淡青色2.5Y7/2 淡白色10Y8/1	重ね焼きによ りカーポンの 付着している 部分アリ。被 文の先行焼不 明
瓦器類	B-425 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 15.4cm 4.9cm 5.4cm	B地区 K14H A B32-O X	体部外面削除後ナダ といひ削除物のない部は被文 体部内面も便なら線状彫文	密 下 1 mm 以 下の灰・白色 砂粒	良 好	外 暗色7.5Y4/1 淡白色5 Y8/1 暗色N4/0 淡白色N8/0	太い被文 見込みの被文 体部内面の被 文に先行
瓦器類	B-427 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 15.2cm 4.9cm 4.8cm	B地区 K14H B B32-O P	口縁部外壁 2 階のヨコナダ 体部外面削除後 見込み 9.4mm の平行彫文	密 下 2 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外 暗色N4/0 淡青色N8/0 淡白色Y8/1 暗色N4/0 淡白色10Y8/1	背面重ね焼き のためカーポ ンの付着する いきなり被文 体部内面の被 文に先行
瓦器類	B-428 四版 171 第 147回	(無) 口径 基高 底径 14.7cm 5.0cm 4.4cm	B地区 K14H B B32-O P	口縁部外壁 + デ 体部外面削除痕	密 下 2 mm 以 下の灰・淡白 色砂粒	良 好	外 暗色N3/0 淡白色10Y8/1 暗青色N3/0 淡青色2.5Y6/1	被文大き不明 し、被文先行 焼成、内 部焼付
瓦器類	B-429 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 14.1cm 4.9cm 4.4cm	B地区 K14L C B32-O P	口縁部外壁ヨコナダ深いい ガリキ、体部外壁削除後ナダ ハリツケ高台	密 下 2 mm 以 下の白色砂粒 多	良 好	外 暗色N4/0 淡青色2.5Y7/1 内 暗色N4/0	重ね焼き し、被文先行 焼成、内 部焼付
瓦器類	B-430 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 14.0cm 4.4cm 3.9cm	B地区 K14L C B32-O P	口縁部外壁ヨコナダ深いい ガリキ、体部外壁削除後ナダ 見込み日本の平行彫文	密 下 2 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外 暗青色5 B5/1 淡青色5 N5/0 内 暗色N5/0 淡白色10Y8/1	太い被文 見込みの被文 体部内面の被 文に先行
瓦器 皿	B-431 四版 163 第 147回	口径 基高 底径 5.4cm 2.0cm 2.0cm	B地区 K13I Y B32-O P	口縁部外壁ヨコナダ 体部外壁削除後ナダ 内面全塗装ヨコナダ	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗青灰色5 B3/1	
直底盤 器台	B-475 第43回	残存高 18.0cm	B地区 K13K Y B36-O R 砂輪磨	削除 2 方向 4 斜の三角スカシ ス、内面削除下より 1 段、 2 段、1 段、2 段の被文 (8 本/cm)	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外 暗色N4/0 淡青色5 B5/1 内 暗色N6/0	背面自然焼
直底盤 器台	B-481 四版 106 第43回	残存高 8.5cm (他) 基高 6.4cm	B地区 砂輪磨	マキアグ・ミズビキ 体部外壁削除後ヘラケツリ 部に削除アリ	やや粗 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗色N5/0 淡白色10Y7/1	体部外面、被 文、底盤内面 自然焼
土師器 小平底盤 器	B-518 第37回	(無) 口径 10.2cm 基高 9.0cm	B地区 K B36-O R	体部内面へタケツリ 部は磨耗のため不詳	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	中 不良	外 暗色7.5Y6/1 暗色7.5Y4/1 内 暗色7.5Y7/4	二次焼成?
土師器 高杯	B-524 第38回	(無) 口径 14.75cm 残存高 9.9cm	B地区 K13K W B36-O R	口縁部外壁ヨコナダ後継 内 のヘラミガリ、脚部 - 砂輪部 外側ハケ日 (10本/cm)	密 下 2 mm 以 下の白・灰 色砂粒、 少	良 好	外・内 灰白色2.5Y8/2	
土師器 片手鉢	B-527 第37回	残存高 3.1cm (他) 基高 14.1cm	B地区 K13K Y B36-O R	円孔は 4箇所 磨耗のため調整不詳	密 下 2 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外 内 にじむ・褐色 7.5Y R7/4	
土師器 壺	B-528 第37回	(無) 口径 8.0cm 基高 8.7cm	B地区 K14J R B36-O R	口縁部外壁ヨコナダ 体部外壁削除 (6本/1 cm) 、体部内面削除ナダ	古 無砂粒少	良 好	外 にじむ・褐色 7.5Y7/3 暗色7.5Y7/6 暗色7.5Y6/6	体部外壁焼
直底盤 器	B-534 第53回	(無) 口径 7.7cm 基高 7.3cm	B地区 K13M Y B36-O R	頭部被文被文 (12本/1 cm) 、体部外壁被文 (12本/1 cm)、 クラン工具によるヨ コナダ	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 淡白色10Y7/1 淡白色N7/0	質部・直底 器内面、底盤内 面自然焼、ヘ リカット
直底盤 器	B-539 四版 106 第41回	残存高 13.4cm	B地区 K14K B B36-O R 砂輪磨	マキアグ・ミズビキ 体部外壁削除、沈緑開 面被文 (10本/cm)、体部 下部 - 底盤アリ	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗色N5/0 暗青色5 P6/1	質部・直底 器内面、底盤内 面自然焼
直底盤 器身	B-540 第51回	口径 6.0cm	B地区 K14H A B36-O R	直底盤外壁削除ヘタケツリ/2 3、底盤内面中央一定方向 のナダ、ロフ右方向 のナダ、内面磨耗	中や粗 下 3 mm 大の白 色砂粒多	良 好	外 赤色10R6/1 暗色7.5R4/6 暗青色5 H4/1	ヘラ型等 底盤外壁 自然焼
直底盤 器身	B-541 四版 112 第40回	口径 4.0cm	青背景土器 B地区 K13M X B36-O R 砂輪磨	マキアグ・ミズビキ 体部外壁削除ヘタケツリ 内面磨耗	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗青色5 P7/1 にじむ・褐色5 P6/3	
直底盤 器	B-545 四版 106 第40回	口径 10.2cm 基高 10.7cm	B地区 K13K Y B36-O R	頭部外壁被文 (10本/1 cm) 、沈緑開面被文 (10本/1 cm)、 体部外壁削除 (10本/1 cm)	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外・内 暗色N4/0 淡白色10Y8/1	口縁部内面・ 頭部外壁自然 焼
直底盤 把手付陶	B-557 四版 106 第40回	(無) 口径 8.45cm 基高 4.95cm	B地区 K14K B B36-O R 砂輪磨	マルアグ・ミズビキ 体部外壁被文 (10本/1 cm) 、底盤内面削除ヘタケツリ アリ	密 下 1 mm 以 下の白色砂粒 少	良 好	外 暗色N4/0 暗色N6/0 内 暗白色10Y8/1 暗色N6/0	内面・口縁部 外壁自然焼 並み集めて

種類	遺物番号	出量 (cm)	出土地点	性　　法	胎　　土	燒成	色　　調	備　　考
須恵器 杯盤	B560 第40回	口径 底高 9.2cm 6.8cm	B地区 K14L B B56-O R	天井部外周輪軸へラケツリ/ 3、天井部へ口縁部の端面内 面へラケメリ、ロクロ左方向	やや粗 ～2ミリ大的 白、灰色砂粒 多量、クサリ シテ	不 良	外・断 灰褐色7.5Y6/1 内 灰白色7.5Y7/1	生焼け ねじねきの焼 成度
須恵器 把子付椀	B562 第41回	(底) 口径 底高 9.2cm 7.1cm	B地区 B56-O R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 全体部・底部内面輪軸へラケツ リ/3、底部内面停止へフナ ズリ	密 白色微砂粒少 量	良 好	外・内 灰白色N7/0 断 赤褐色10R6/1	口縁部外周～ 内面自然釉
瓦器 瓶	B571 回版 163 第 147回	口径 底高 9.5cm 4.8cm	B地区 K14H A B32-O X	口縁部内外面ヨコナブ、口縁 部外周ヨコナブで我引ハラミ ガタ、内面全体ヘラミガタ	直 約1.6cm の白色粒	良 好	外・内 反色N4/0 断 灰白色10Y8/1	
瓦器 皿	B573 回版 163 第 147回	口径 底高 8.4cm 1.6cm	B地区 K13E Y B39-O P	内面輪軸のため調動不安 口縁部外周ヨコナブ 底部内面輪軸横位置ナダ	直 約2.5cm 以下の白色砂粒 多量	良 好	外 暗灰色N3/0 断 灰白色2.5G7Y8/1 内 灰白色N4/0	
須恵器 高杯	B603 回版 106 第42回	口径 底高 12.6cm 5.8cm	B地区 K13N X B56-O R 砂礫層	底全体外周輪軸へラケツリ/ 3、天井部内面輪軸へラケツ リ/3、ロクロ右方向	密 白色微砂粒少 量	良 好	外・断 青灰色5 B6/1 内 青灰色5 B6/1	
須恵器 高杯	B605 回版 116 第52回	口径 底高 10.3cm 7.8cm	B地区 K14K A B56-O R	底全体外周輪軸へラケツリ/ 3、天井部内面輪軸へラケツ リ/3、台形1段 三方カタシ。ロクロ右方向	直 約2.5cm 以下の白色砂粒 黑色粘物粒	良 好	外・内・断 灰色N6/0	脚部自然釉
須恵器 高杯	B607 回版 116 第52回	口径 底高 10.3cm 8.9cm	B地区 K13H Y B56-O R 砂礫層	底全体外周 開口へラケツリ/3 台形1段ニカシ ロクロ左方向	直 約1.5cm 以下の白色砂粒 黑色粘物粒	良 好	外 灰色N6/0 断 灰白色N7/0 内 灰白色2.5G7Y8/1	脚部自然釉
須恵器 高杯	B609 回版 115 第50回	口径 底高 11.2cm 6.8cm	B地区 K13H X B56-O R	底全体外周輪軸へラケツリ/ 3、底全体内面中央一定方向 のナブ、ロクロ左方向	直 約2.5cm 以下の白色砂粒 多量	やや 不良	外 灰白色2.5Y7/1 内 黄灰色2.5Y6/1	ヘラ記号
須恵器 杯身	B610 回版 114 第51回	口径 底高 10.9cm 5.2cm	B地区 K14 I C B56-O R 砂礫層	底全体外周輪軸へラケツリ/ 3、底全体内面輪軸クシ工具 によるナブコナブ(6本/φ) ロクロ左方向	密 白色砂粒少 量	中 不良	外 灰色10Y6/1 内 灰褐色5 R5/1 7.5Y8/1/4	ヘラ記号
須恵器 杯身	B612 回版 111 第49回	口径 底高 12.3cm 4.4cm	B地区 K14 H B B56-O R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周 開口へラケツリ/3	直 約1.5cm 以下の白色砂粒 多量	良 好	外 暗灰色5 G5/1 断 灰褐色5 R6/2 内 灰白色N7/0	外周全体 自然釉 土器片付着
須恵器 杯身	B617 回版 111 第49回	口径 底高 12.15cm 4.15cm	B地区 K13 G Y B56-O R 砂礫層	天井部外周 開口へラケツリ/3 天井部内面一定方向のナブ ロクロ左方向	直 約2.5cm 以下の白色砂粒	良 好	外 暗灰色5 G5Y5/1 断 灰褐色5 Y5R5/2	口縁部外周～ 内面全体自然 釉
須恵器 杯身	B625 回版 111 第49回	口径 底高 12.75cm 4.5cm	B地区 K13 L X B56-O R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周輪軸へラケツリ/ 3、ロクロ左方向	直 約1.5cm の白色粒	良 好	外 赤褐色5 R6/1 内 赤褐色5 R6/1 断 暗褐色5 R5/1	天井部外周 自然釉
須恵器 杯身	B626 回版 113 第50回	口径 底高 12.75cm 5.4cm	B地区 K13 H X B56-O R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周輪軸へラケツリ/ 3、ロクロ左方向	密 白色砂粒少 量 黑色粘物粒	良 好	外 灰色N5/0 断 灰褐色5 Y5R5/2 内 灰白色N7/0	外周全体 自然釉 やや黒み
須恵器 杯身	B628 回版 113 第50回	口径 底高 12.75cm 6.0cm	B地区 自然泥窓	天井部外周 開口へラケツリ/3 天井部内面一定方向のナブ ロクロ左方向	直 約1.5cm の白色粒	良 好	外 灰白色N7/0 内 灰褐色N4/0	外周全体 自然釉
須恵器 杯身	B634 回版 110 第49回	口径 底高 12.8cm 4.6cm	B地区 K13 G Y B56-O R 砂礫層	天井部外周輪軸へラケツリ/ 3、天井部内面中央一定方向 のナブ、ロクロ左方向	やや粗 ～4ミリ大的白 色砂粒多量	難 可	外 灰褐色7.5R6/2 内 灰褐色5 R5/3 7.5R5/3	直み
須恵器 杯身	B638 回版 111 第50回	口径 底高 13.1cm 5.35cm	B地区 K13 H Y B56-O R	天井部外周 開口へラケツリ/3 天井部内面 中央一定方向のナブ ロクロ左方向	やや粗 0.4 以下の白色 砂粒多量 黑色粘物粒	良 好	外・断 内 灰白色N7/0	外周全体 自然釉
須恵器 高杯	B639 第53回	(底) 口径 底高 15.7cm 11.1cm (底) 底高 11.5cm	B地区 K14 K B B56-O R 砂礫層	底全体外周 開口へラケツリ/3 全体部内面 片方のみ)と波 紋状文(5本/φ) ロクロ左方向	やや粗 0.2 以下の大白 色砂粒多量	良 好	外・断・内 青灰色5 B6/1	杯部内外面 自然釉
須恵器 高杯	B643 第53回	(底) 口径 底高 11.0cm 4.7cm	B地区 K14 K B B56-O R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 全体部外周 開口へラケツリ/3 台形1段カシカシ ロクロ左方向	やや粗 0.1 以下の大白 色砂粒少 量	良 好	外 青灰色5 B6/1 内 青灰色5 P B5/1	受器に自然釉
須恵器 高杯	B651 第52回	(底) 口径 底高 10.7cm 9.25cm 底高 9.3cm	B地区 K13 G Y B56-O R	底全体外周 開口へラケツリ/2 台形1段カシカシ ロクロ左方向	やや粗 0.1 ～2.5cmの大白 色砂粒多量	良 好	外 灰色N4/0 断 赤褐色2.5Y R5/1 内 灰褐色N5/0	脚部自然釉 ヘラ記号～退 化のため切不 用

種類	遺物番号	法量 (cc)	出土地点	性 状	胎 土	焼 成	色 調	備考
直底盤 杯型	B652 図版 110 第45回	口径 高さ 基盤 直径	12.3cm 9.75cm 8.9cm	B地区 K13H Y B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面斜へラケツリ ロクロ左方向	やや密 ~ 白色 少 黑色颗粒物	良 好	外 灰褐色N5/0 内 灰白色N7/0
直底盤 高杯	B653 図版 116 第50回	口径 高さ 基盤 直径	11.0cm 9.75cm 8.9cm	B地区 K13J X B56-O-R 砂礫層	胎体外側面 斜面へラケツリ1/2 ロクロ右方向 台形1段3方スカレ	密 約1~3 mmの白色砂 粒 黑色颗粒物	良 好	外 青灰色S5G/1 灰白色S5R/2 内 灰白色N7/0
直底盤 杯型	B654 図版 111 第51回	口径 高さ 基盤 直径	10.2cm 9.75cm 8.9cm	B地区 K14K B B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 斜面へラケツリ2/3 ロクロ左方向	密 約1~2 mmの白色砂 粒	良 好	外・内 灰色N6/0 灰白色7.5R3/2
直底盤 杯型	B657 図版 125 第52回	口径 高さ 基盤 直径	12.0cm 9.75cm 3.7cm	B地区 K15B B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面斜へラケツリ2/ 3、ロクロ右方向	やや密 約1 白色	良 好	外・新 灰白色N7/0 内 灰色N6/0
直底盤 杯型	B666 図版 126 第64回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	12.5cm 9.75cm 5.2cm	B地区 K14F E B45-O-S 埴土	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 斜面へラケツリ1/2 ロクロ左方向	やや密 約3 mm以下の白 灰色を多量に 含む	不 良	外・内 灰白色10Y8/1 灰白色7.5Y8/2
直底盤 杯型	B667 図版 127 第65回	口径 高さ 基盤 直径	12.5cm 9.75cm 5.2cm	B地区 K14J C B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面斜へラケツリ1/ 2、ロクロ右方向	密 白色的少量 黑色颗粒物	不 良	外・断・内 灰白色10Y7/1
直底盤 杯型	B669 図版 111 第66回	口径 高さ 基盤 直径	11.95cm 4.1cm	B地区 K13K Y B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面斜へラケツリ2/3 ロクロ左方向	密 約5mm 以下白色砂粒 少量	良 好	外・断・内 灰白色N7/0
直底盤 杯型	B671 図版 111 第67回	口径 高さ 基盤 直径	12.2cm 9.75cm	B地区 K11J C B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 斜面へラケツリ1/2 ロクロ左方向	密 約2mm 以下白色砂粒	良 好	外 青灰色10Y R6/1 灰白色2.5Y R6/2 内 灰白色10Y R7/2 黄褐色10Y R7/2 内 灰色10Y R7/2
直底盤 高	B672 図版 109 第65回	口径 高さ 基盤 直径	19.8cm 36.1cm	B地区 K13M W B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 平行手タッキ(4本/1回) 底部内側へラケツリ後ナデ	密 約1~2 mmの白色砂粒	良 好	外・断・内 灰白色N7/0
直底盤 高	B674 図版 119 第65回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	23.7cm 36.1cm	B地区 K13RW	直底外側面手引き(3.5本 1回)、底部内側面 斜面手引き(3.5本/1回) 底部内側へ円窓(3本/1回)	密 約2mm 以下の白色砂粒 黑色颗粒物	良 好	外 灰褐色5GY8/1 灰褐色30R4/1 灰白色10Y7/1 灰褐色10R4/1 灰白色10Y7/1 内 灰色N6/0
直底盤 高	B675 図版 109 第66回	口径 高さ 基盤 直径	18.35cm 34.95cm	B地区 K13M V 第4章、シリ ト下脚土	直底外側面斜工具による タッキ(抜出手ナデ、底部半 表面平行手タッキ(4本/1回) 後クリンシングによるケル ロクロ右方向	密 約1mm 以下の白色砂粒	不 良	外・断・内 灰白色7.5Y8/1
直底盤 高	B687 図版 119 第36回	口径 高さ 基盤 直径	12.7cm 3.5cm	B地区 K13M T B1-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 斜面へラケツリ1/3 ロクロ右方向	密 約1mm 以下の白色砂粒 少量 黑色颗粒物	良 好	外 灰褐色10Y5/1 灰白色5.5Y8/1 内 灰褐色N5/0
瓦質上器 鉢	B689 図版 302回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	11.35cm 7.15cm	B地区 K14M A H56-O-R 砂礫層	瓦質外側面輪郭ナ ベ底外側面輪郭ナ 内面滑溜後回転ナ ダ	密 約2mm 以下白色砂粒 少量	良 好	外 灰褐色5Y5/1 灰褐色7.5Y8/1 内 灰褐色N6/0
直底盤 高	B690 図版 302回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	10.7cm 5.55cm	B地区 K13M W B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面 斜面へラケツリ1/3 ロクロ右方向	やや密 約4 mm以下の白 灰色 黑色颗粒物	良 好	外 灰褐色N5/0 灰褐色7.5Y8/1
直底盤 高	B691 図版 303回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	12.7cm 5.15cm	B地区 B56-O-R	マキアグ・ミズビキ 直底外側面波文(10本/ea) 包は油漬ナデ	密 約1mm 以下の白 黑色 颗粒物少量	良 好	外 灰褐色N6/0 灰褐色2.5GY8/1 内 灰褐色N5/0
直底盤 高	B693 図版 402回	残存高2.95cm	B地区 K14N A B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 天井部外側面斜(2+1 ea)、天井部外壁ナデ	密 白色 黑色 颗粒物少量	良 好	外 灰褐色N6/0 内 灰褐色7.5R3/3 内 灰褐色N8/0	
直底盤 鉢	B694 図版 41回	(複) 口径 高さ 基盤 直径	17.4cm 3.4cm	B地区 K14M A B56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 底外側面斜へラケツリ 包は油漬ナデ	密 白色 黑色 颗粒物少量	良 好	外 灰褐色N6/0 内 灰白色N7/0
韓式系 土器	B698 図版 39回		B地区 K14T A B56-O-R 砂礫層	体部外壁方向の平行手タッ キ(4本/ea)後機方向にスリ 崩し	密 木崩	良 好	外 暗灰色N3/0 断 灰白色N8/0	
韓式系 土器	B701 図版 118 第39回	口径 高さ 基盤 直径	5.5cm 7.8cm	B地区 K14P A~B H56-O-R 砂礫層	マキアグ・ミズビキ 底外側面斜面後ナデ 内面工具によるおさえ	密 約3mm 以下の白 黑色 颗粒物少量	良 好	外 灰褐色2.5Y R6/4 暗灰色2.5Y R7/3 内 明赤褐色2.5Y R7/3

種類	遺物番号	法 番 (cm)	出 土 地 点	注 法	胎 土	焼 成	色 調	備 考
韓式系 土器 甕	B705 第36回	(底) 口径 13.7cm 残存高15.0cm	B地区 K13H Y B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (3本/ cm) 後ココナデ、底面内面指 紋痕後円内面印き (3本/cm)	底 φ 1mm 以下白色砂粒 少々、クサリ レキ	やや 軟質	外・断・内 灰白色2.5YR8/2	底部外面 落付着
韓式系 土器 甕	B706 第30回	(底) 口径 37.2cm 残存高14.1cm	B地区 K13N X B30-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (3コ/ cm)、側はココナデ	底 φ 1~3mm 以下白色砂 粒	軟質 セザ	外 明黄褐色10Y R7/6 断・内 灰黄色2.5YR8/4	
陶質土器 瓶	B707 第46回	残存高19.9cm	B地区 K13K C B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (3本/ cm)、側は平行テクタ (3本/ cm) 後白軋 (2)	底 φ 3mm以 下の白色砂粒 少量	良 好	外 灰赤色7.5R4/2 断・内 灰黄色7.5R6/1	
韓式系 土器 甕	B708 第30回	(底) 口径 18.25cm 残存高 7.1cm	B地区 K13H Y B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (3.5本/ cm)、側はナダ	中粗 底 φ 1mm 以下白色砂 粒多量	良 好 やや 軟質	外 灰黄色5YR6/1 断・内 浅黄色5Y7/3 灰黄色5Y8/1	
韓式系 土器 甕	B709 第30回	残存高12.3cm	B地区 K13K X B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (2.5本/ cm) 後白軋 (2) 底面内面指紋痕	粗 底 φ 1~2mm 以下白色 砂粒多量	良 好	外・断・内 灰白色10Y R8/2	底部外面 落付着
韓式系 土器 甕	B710 第38回	(底) 口径 17.1cm 残存高 6.5cm	B地区 K13H Y B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (2.5本/ cm)、側は内面指紋痕	中粗 底 φ 1mm 以下白色砂 粒多量	軟 質	外・断・内 灰褐色10Y R6/1	
韓式系 土器 平底甕	B711 第39回	残存高 4.4cm (底) 成形 13.0cm	B地区 K13H Y + K 14H A B36-OR 砂輪窯	マキアグ・ミズビキ 底部外表面落穂子印き (2.5本/ cm) 後底面正軋止ヶスリ	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒多量	軟 質	外・断 浅黄色10Y R5/2 内 灰黄色2.5Y7/2	
瓦器 皿	B731 回版 164 第 168回	(底) 口径 9.5cm 底高 1.8cm	B地区 K13D Y	D縦部外表面ココナデ 底部外表面指痕 内面難なミガキ	やや粗 底 φ 1mm以 下の白色 砂粒含む	良 好	外・内 灰黄色N3/0	ミガキの継続 性
直腹器 台付 盤	B737 回版 164 第 168回	口径 8.5cm 底高 1.8cm	B地区 K13S T B36-OR 砂輪窯	底部外表面軋止ヶスリ (1) 口盤部内面圓 軋止ヶスリ、3万円1枚の方が過 し	底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒を少 量含む	不 良	外・内 灰白色2.5Y8/1	磨耗著しい
瓦器 皿	B738 回版 164 第 168回	(底) 口径 14.8cm 底高 5.0cm (底) 底径 4.4cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ 体部外表面指痕 見込みリ日本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒多 量。	良 好	外・内 浅黄色2.5Y8/3	見込みの繪文 体部内面の繪 文に先行、反 対的の現る極め て無い。
瓦器 皿	B739 回版 164 第 168回	口径 15.0cm 底高 5.0cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ 体部外表面指痕 見込みリ日本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白色 砂粒含む	良 好	外・内 灰黄色N4/0	見込みの繪文 体部の繪文に 先行
瓦器 皿	B740 回版 164 第 168回	口径 15.6cm 底高 4.9cm 底径 4.7cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ 体部外表面指痕 見込みリガタ (1) (破状か?)	やや粗 底 φ 2mm以 下の白・ 灰黄色砂粒を少 量含む	良 好	外・内 灰白色10Y R8/2	内面のミガキ 体部の2/3 灰度の現着な し
瓦器 皿	B741 回版 164 第 168回	口径 15.6cm 底高 5.2cm 底径 4.5cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ 体部外表面指痕 見込みリ7本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒含む	良 好	外・内 浅黄色7.5Y R8/3	内部の繊維 内部の繊維の 現れが現れな い
瓦器 皿	B742 回版 164 第 168回	口径 15.6cm 底高 5.2cm 底径 4.5cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ 体部外表面指痕 見込みリ7本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒含む	良 好	外・内 浅黄色7.5Y R8/3	繪文の先行現 れ、灰度の現 れが現れな い
瓦器 皿	B744 回版 164 第 168回	口径 15.8cm 底高 5.0cm 底径 4.7cm	B地区 B33-OO	口盤部ココナデ、体部外表面 指痕リフリフ具合、高台部 ココナデ、見込み細かいシザ ゲ状の繪文	底 φ 1mm以 下の灰 色砂粒多量含 む	良 好	外・内 浅黃褐色10Y R8/4	見込みの繪文 体部の3/4 の現れが現 れられない
瓦器 皿	B749 回版 164 第 168回	口径 15.0cm 底高 5.1cm 底径 4.6cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ、体部外 表面指痕と成形時にについた と思われる粗筋残る	底 φ 1mm以 下の白色砂 粒多量含む	良 好	外・内 暗灰色N3/0 灰白色10Y8/1	底面の付着金 物の3/4 の現れが現 れられない
瓦器 皿	B750 回版 164 第 168回	口径 15.2cm 底高 4.9cm 底径 3.7cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ、1条の 成形アリ、体部外表面指痕 見込み13本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒多 量含む	良 好	外・内 浅褐色5Y R7/4	見込みに重ね 焼き、見込み の繪文内面の 現れに先行、 灰度の現れが 無い。
瓦器 皿	B751 回版 164 第 168回	(底) 口径 14.6cm 底高 5.2cm 底径 4.3cm	B地区 B33-OO	口盤部外表面ココナデ、1条の 成形アリ、体部外表面指痕 見込み7本の平行線状の繪文	やや粗 底 φ 1mm以 下の白・ 灰黄色砂粒多 量含む	良 好	外・内 暗褐色N3/0	見込みに重ね 焼き、見込み の繪文内面の 現れに先行

種類	遺物番号	法 量 (cm)	出 土 地 点	性 法	胎 土	燒 成	色 調	備 考
土器部 品 皿	B752 第 16858	(推) 口径 9.2cm 高さ 1.8cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 底部外面指痕後ナダ 乾はナダ	直 タイプ以 下の白・黑色 砂粒含む	良 好	外・内 灰白色2.5YR8/2	
土器部 品 皿	B753 第 16859	(推) 口径 9.2cm 高さ 1.8cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 底部外面指痕後ナダ 乾はナダ	直 タイプ以 下の白・黑色 砂粒含む	良 好	外・内 灰白色2.5YR8/1 内 灰白色3.5Y8/2	
瓦器 陶	B755 第 16860 底版 163 底版 147cm	口径 15.0cm 高さ 3.8cm 底径 3.6cm	B地区 B32-OX	体表・底部外面指痕後ナ ダ、足込みは無い(範状略文、 体部内面板に縦文(二次の 焼失の跡を含む))	直 タイプ以 下の白色砂粒 少量	良 好	外・内 灰白色N4/0 灰白色10Y8/1	内面のカーボ ンの行差1/2
瓦器 陶	B756 第 147cm	(推) 口径 14.2cm 高さ 4.3cm 底径 2.8cm	B地区 K13E(X) B10-O P	口縁部外面ヨコナダ、 底部外面指痕後、ハリツケ高台 見込みの縞文はらせん状	直 タイプ以 下の白・黑色 砂粒含む	良 好	外・内 暗灰色N3/0 灰白色2.5G Y8/1	縦・横文 縦文先行崩不 明
瓦器 陶	B757 第 16861 底版 163 底版 147cm	口径 14.9cm 高さ 4.4cm 底径 3.9cm	B地区 B32-OX	口縁部外面ヨコナダ、 底部外面指痕後、ハリツケ高台 見込みは無い(範状略文、 体部内面板に縦文(二次の 焼失の跡を含む))	直 タイプ以 下の白色砂粒 少量	良 好	外・内 暗灰色N3/0 灰白色2.5Y8/1 内 灰白色2.5G Y8/1	太い縦文 縦文先行崩不 明
土器部 品 皿	B759 第 16862 底版 163 底版 177cm	口径 22.6cm (推) 高さ 6.6cm 砂裡層	B地区 K13N X B36-O	口縁部外面指痕後、 底部外面指痕後、 砂裡層	直 タイプ以 下の白色砂粒 少量に含む	良 好	外・内 浅黄褐色2.5YR8/4	二重口縫
土器部 品 台	B763 第 16863 底版 163 底版 177cm	口径 9.7cm 高さ 10.3cm 底径 11.3cm	B地区 K13D X 砂裡層	體部・底部外 面指痕後、 四方角1段の円孔通し 自然路	直 タイプ以 下の白・灰 色・タリレ 砂粒含む	良 好	外・内 灰白色10YR8/2	齊粧している
土器部 品 臺	B772 第 16864	口径 11.3cm 高さ 12.5cm	B地区 K13D(Y) B36-OR	口縁部外面ヨコナダ、 底部外面指痕後、 (本木1 cm)、 体部内面ラグレキ	直 タイプ以 下の白色砂粒 タセリキ	良 好	外 灰白色5Y8/1 断・内 灰白色5Y7/1	
燒造器 杯 杯	B775 第 16865 底版 114 底版 561民	(推) 口径 10.6cm 高さ 5.2cm	B地区 K13H X 砂裡層	底部外面 回字・カゲリ2/3 内側・外側一定方内のナ ダ後は折打ナ	直 タイプ以 下の白・黑色 砂粒含む	良 好	外 灰白色5Y7/1 内 灰色5Y6/1	底部外面 ヘア記号 「」
瓦器 陶	B776 第 16866	口径 14.9cm 高さ 5.1cm 底径 4.7cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ナダ 体部外面指痕後ナダ 見込みの縞文	直 タイプ以 下の白色砂 粒を少量	良 好	外 灰白色5Y8/1 内 灰色N4/0 内 灰白色5Y7/1 内 灰色N8/0	見込みの縦文 内面に平行 太い縦文
瓦器 陶	B777 第 16867	口径 15.1cm 高さ 4.3cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ後同じ ガタ、 体部外面指痕後、ハリ ツケ高台	直 タイプ大 の白色粒を少 量含む	良 好	外・内 灰白色10YR8/1	太い縦文、 底部内面 縦文の先行崩 小明
瓦器 陶	B778 第 16868	口径 15.0cm 高さ 4.9cm 底径 4.6cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後、 見込み7本の平行線状略文	中や底 タイ プ大の砂 粒を少量含む	良 好	外 深色2.5Y6/1 灰褐色2.5Y7/2 内 灰白色2.5Y7/2	見込みの縦文 内面に平行
瓦器 陶	B779 第 16869	口径 15.0cm 高さ 5.1cm 底径 5.0cm	B地区 B33-OO	見込み7本の平行線状略文 底部外面指痕後、 時についた沈痕状態アリ	やや盤 タイ プ大の白・灰 色粒や多い	良 好	外・断・内 灰白色5R8/1 内 5R2/1	見込みの縦文 内面に平行 底の残存
瓦器 陶	B780 第 16870	(推) 口径 15.2cm 高さ 5.0cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 底部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 高台部ヨコナダ	直 タイプ大 の白色粒を含 む	良 好	外・断 灰白色2.5Y8/2 内 灰白色2.5Y7/2	提供の底着墨 い、見込みの 縦文内面の縞文 に先行
瓦器 陶	B781 第 16871	(推) 口径 15.0cm 高さ 4.7cm 底径 4.6cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 高台部ヨコナダ	直 タイプ以 下の白・灰 色粒を少量含 む	良 好	外 灰白色2.5Y7/1 内 灰褐色N3/0	見込みの縦文 内面に先行
瓦器 陶	B782 第 16872	(推) 口径 14.8cm 高さ 4.9cm 底径 4.3cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 高台部ヨコナダ	直 タイプ以 下の白・灰 色粒を少量含 む	良 好	外・内 灰白色2.5Y8/2	見込みの縦文 体部内面の縞 文に先行
瓦器 陶	B783 第 16873	(推) 口径 14.5cm 高さ 4.8cm 底径 4.2cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 見込み4.2本の平行線状略文	直 タイプ以 下の白・灰 色粒を少量含 む	良 好	外 灰褐色N5/0 断	見込みの縦文 内面に先行
瓦器 陶	B784 第 16874	(推) 口径 14.5cm 高さ 4.8cm 底径 4.1cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 見込み4.1本の平行線状略文	直 タイプ以 下の白・灰 色粒を少量含 む	良 好	外 灰褐色N5/0 断	見込みの縦文 内面に先行
瓦器 陶	B785 第 16875	(推) 口径 15.1cm 高さ 4.8cm (推) 底径 4.1cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕後ナダ ハリツケ高台 高台部ヨコナダ	直 タイプ以 下の白・灰 色粒を少量含 む	良 好	外 繪褐色N3/0 内 灰白色N7/0 内 灰褐色N3/0	見込みの縦文 体部内面の縞 文に先行

種類	遺物番号	法量 (m)	出土地点	技法	胎土	焼成	色調	備考
瓦器 碗	B786 第168号	(底) 口径 14.6cm 基高 4.8cm 底径 4.6cm	B地区 B33-OO	口縁部外面ヨコナダ 底部外面横彫刻 高台、見出(线) 7本の平行彫刻の痕文	窯内 底 下の白色粒を含む	良 好	外 暗褐色N3/0 灰白色10Y8/1 内 暗褐色N3/0	見込み細く 底部内面太い 線文、見込み 底部内面の細 文に先行
瓦器 盤	B789 四版 108 第413号	口径 13.6cm 基高 15.6cm	B地区 K13 P U 自然成路	体上部外面平行タケ目 (3.5 本/1cm) 後回転を利用し工 具で横方にケズリ、平行 の線文と平行タケ目 (3.5 本/1cm) 後回転を利用し工 具でケズリその後さき目 (6 本/1cm)	やや粗 中粗 以下白色 粒多量 黑色颗粒物	良 好	外・断・内 青灰色10B G5/1	粘質土6.8層 略断面内
瓦器 板	B791 第64号	口径 7.25cm (底) 基高 21.05cm	B地区 K13 E Y B34-O S	体部背面を2目 (2本/1cm) 横彫刻、底部外面横彫刻 (1 本/1cm) 、体部・底部の 接合部横彫刻ナダ	窓 下 3以 上の白色粒 黑色颗粒物	良 好	外 明青褐色10B G7/1 内 明青褐色3 B G/1	火ダメキ 細部、一方の 接合部自然輪
瓦器 杯身	B795 第61号	口径 15.6cm 基高 5.6cm	B地区 K13 G D B43-O S	マキアゲ・ミヅビキ 底部外面横彫刻ヘラケズリ2/ 3、ロクロ右方向	窓 中 1~3 本の大白色粒 少量 黑色颗粒物	良 好	外・断・内 灰白色N8/0	内面全体 口縁部外面 自然輪
瓦器 板	B797 第46号	(底) 口径 22.6cm 残存高 19.2cm	B地区 K13 K B36-OR 砂輪磨	マキアゲ・ミヅビキ 口縁部・移動上半外面正格子 凹印 (2.5本/1cm) 、体部 下半外面正格子印 (2.5 本/1cm) 、長矢左方向のナダ	窓 粗砂粒少量	やや不 良變化	外・断・内 明翠リーフ灰色 3 G Y7/1	
瓦器 高足杯	B798 第55号 第422号	口径 13.95cm 基高 10.05cm 底径 9.4cm	B地区 K13 Q X B36-O R	マキアゲ・ミヅビキ 底部外面横彫刻タケ目 (4.5 本/cm) 、体部・底部の接合 部・配置部に四方スカシであるが、三方の み穿った円孔	窓 砂粒ほとんど なし	良 好	外 青褐色5 R5/1 内 暗褐色5 P6/1 明翠灰色5 P7/1	内面自然輪
土器 碗	B799 第36号	口径 14.3cm 基高 17.9cm	B地区 K13 O V B36-O R	内面裏面方角に無いハケ目 (4 本/cm) 、体部・底部の接合 部・配置部のタケ目 (5本/cm) 体部上部横彫刻方向の無い ハケ目 (4本/cm)	窓 下 2以 下的白色粒 少量含む	良 好	外・断 灰褐色7.5 R4/2 内 赤褐色10 R5/1	
土器 板	B801 第37号	口径 13.6cm 基高 14.6cm	B地区 K13 O Y B36-O R	口縁部外面ヨコナダ、体部 裏面ハケ目 (3.5本/cm) 体部内面ヘラケズリ	窓 砂粒	良 好	外 に点状 黄褐色 10 Y7/2 内 褐褐色7.5 YR5/1	二次焼成を示 けている?
瓦器 杯身	B806 第51号	口径 10.2cm 基高 4.7cm	B地区 K13 Z X B36-O R	マキアゲ・ミヅビキ 底部外面横彫刻ヘラケズリ3/ 4、ロクロ右方向	中粗 中 1~3 本の大白色粒 黑色颗粒物含む	良 好	外・断・内 灰白色N7/0	
瓦器 杯身	B814 第36号	口径 12.5cm 基高 4.1cm	B地区 K13 R U B36-OR 砂輪磨	底部外面横彫刻ヘラケズリ1/3 底部内面横彫刻ヘラケズリ (3 本/cm) 内面 中央一定方向のナダ ロクロ右方向	窓 粗砂粒を わずかに含む	良 好	外 青灰色5 B6/1	外面全体自然 輪
瓦器 杯身	B816 第36号	口径 13.6cm 基高 3.8cm	B地区 K13 R U B1-I OR 砂輪磨	マキアゲ・ミヅビキ 底部外面横彫刻ヘラケズリ2/3 内面 中央一定方向のナダ	窓 中 1~4 本の大白色粒 黑色颗粒物含む	良 好	外 灰白色N7/0 内 灰白色7.5 Y7/1	受部に重ね模 様のフタ端部 ニク音、外面 自然輪
瓦器 杯身	B817 第36号	口径 11.1cm 基高 3.8cm	B地区 K13 R V B1-I OR 砂輪磨	底部外面横彫刻ヘラケズリ1/3 内面中央一定方向のナダ ロクロ右方向	窓 下 1以 以下の白色粒 黑色颗粒物含む	不良	外・断・内 灰白色7.5 Y8/2	見込みにマキ アゲ残る
瓦器 盤	B818 第54号	口径 13.5cm 基高 20.4cm	B地区 K13 T W B36-O H	口縁部外面横彫刻ナダ底カ目 (4.5 本/cm) 、体部裏面上半部横彫 刻ナダ (4.5本/cm) 、底 部カ目 (4.5本/cm) 、 底部・底部裏面横彫刻ナダ 凹印 (2.5本/cm) 、後スリケレットナダ	窓 下 1以 以下の白色粒 黑色颗粒物含む	不良	外 灰褐色10 Y8/1 内 灰褐色N7/0	意に船用 底盤近二次 焼成
土器 碗	B819 第37号	(底) 口径 16.0cm 残存高 6.2cm	B地区 K13 I H 自然成路	口縁部外面ヨコナダ、裏面 横彫刻ナダ (4.5本/cm) 、 底ヨコナダ、裏面内面ヨ コナダ	やや粗 中 1~4 本の大白色粒 黑色颗粒物	良 好	外 淡褐色2.5 Y8/3 内 淡褐色2.5 Y R7/3 内 淡褐色2.5 Y R7/3	磨耗している
土器 碗	B820 第38号	(底) 口径 15.6cm 基高 6.0cm (底) 成形 9.3cm	B地区 自然成路	底部外面ヨコナダ 底部下半部ヨコナダ 底部外面横彫刻ナダ	中粗 中 1~2 本の大白色粒 黑色颗粒物	良 好	外・断・内 灰褐色5 Y7/1	粘土の接合部 観者
土器 碗	B821 四版 104 第37号	口径 15.6cm 器高 26.2cm	B地区 K13 P Y B36-O R	口縁部外面横彫刻ヨコナダ 底部外面一底部外面ハケ目 (4 本/cm) 、口縁部内面ハケ 目 (4本/cm)	中粗 中 1~2 本の大白色粒 黑色颗粒物	良 好	外 に点状 黄褐色10 R6/3 内 赤褐色10 R6/1	
瓦器 盤	B822 第47号	(底) 口径 47.9cm 残存高 19.1cm	B地区 K13 V B36-O R	口縁部内面横彫刻ヨコナダ 底部内面 (野) ヘラケズリ 底部内面同心円押目 (4本/cm)	窓 中 1~3 本の大白色粒 黑色颗粒物含む	良 好	外・内 青灰色5 B6/1 内 黄褐色5 R B5/1	輪郭に粘土の 輪郭線残る

種類	遺物番号	出土場所 (m)	出土地點	技 法	胎 土	施 成	色 調	備考
瓦器類	B823 同版 156 第 161回	口径 15.45cm 底高 4.7cm 底径 14.95cm 底厚 4.55cm	B地区 K14Q D B250 - OW 撲方	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕 口縁部内面緩衝する赤状工具 底	底, $\phi 1.5$ 以下 底の白色程度少 量	良 好	外・内 暗灰色 N3/0 底 底白色 N8/0	見込みの時文 体部内面の繪文に先行
瓦器	III B824 同版 167 第 164回	(底) 口径 9.4cm 底高 1.5cm (底) 7.4cm	B地区 K14C B250 - OW 進入跡井戸	口縁部内面ヨコナダ 底部外面指痕 内面ナナデ	中や密 $\phi 1$ $\phi 1$ 以下の底・ 白・黃色粒を 含む	良 好	外 底白色 2.5YR/2 底白色 5 YR/2 底 黄褐色 30Y R6/3 内 底白色 5 YR/2	摸索の報着な し
瓦器	III B825 同版 168 第 161回	口径 8.7cm 底高 1.9cm 底径 6.9cm	B地区 K14D B250 - OW 井戸内	口縁部外面ヨコナダ 底部外面指痕 内面ナナデ	中や密 $\phi 1.5$ 底の底・ 白色少	良 好	外 脚灰色 N3/0 底白色 N7/0 底白色 2.5YR/1 底白色 N5/0 底白色 N7/0	画み
瓦器類	B826 同版 166 第 161回	口径 15.05cm 底高 4.85cm 底径 4.55cm	B地区 K14C B250 - OW 井戸内	口縁部外面ヨコナダ後翫い ガキ、侈形部圓錐彫刻、ハリ ツケ高台、高台部ヨコナダ	中や密 $\phi 1$ $\phi 1$ 以下の白・ 黄色の砂粒	良 好	外 底白色 N4/0 底白色 10YR/1 底白色 N4/0 底白色 N3/0 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B828 第 170回	口径 9.05cm 底高 4.5cm 底径 5.15cm	B地区 K14F B149 - OO	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕 見込み12本の平行縞文	中や密 $\phi 1.5$ 底の白・ 灰色の砂粒	良 好	外 底白色 N3/0 底白色 N8/0 底白色 N8/0	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B829 第 157回	(底) 口径 14.3cm 底高 5.5cm (底) 4.1cm	B地区 K14G B B103 - O P	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕 見込み12本の平行縞文	中や密 $\phi 1.5$ 底の白・ 灰色の砂粒	良 好	外 底白色 N6/0 底白色 7.5YR/1 底白色 10YR/1 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B830 同版 165 第 161回	(底) 口径 15.5cm 底高 4.8cm 底径 4.2cm	B地区 K14D B250 - OW	口縁部内面ヨコナダ 底部外面指痕 ハリツケ高台 高台部ヨコナダ	中や密 $\phi 1.5$ 底の白・ 灰色	良 好	外 底白色 N4/0 底白色 7.5YR/2 底白色 10YR/1 底白色 10YR/2 底白色 N5/0	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 底部の投入 物
瓦器類	B831 同版 167 第 164回	口径 15.2cm 底高 4.7cm 底径 3.75cm	B地区 K14 B335 - OW 井戸内	口縁部外面ヨコナダ 底部外面指痕 見込み12本の平行縞文	中 $\phi 2$ 以上 底の白・ 灰色	良 好	外 底白色 N3/0 底白色 10YR/1 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器	III B832 同版 168 第 161回	口径 8.8cm 底高 1.9cm	B地区 K14Q D B250 - OW 井戸内	口縁部内面ヨコナダ 底部外面指痕 見込みらう底の繪文	中や密 $\phi 1$ $\phi 1$ 以下の白・ 灰色	良 好	外 底白色 10YR/1 底白色 N5/0 底白色 7.5YR/1	太い繩文
瓦器類	B833 同版 168 第 161回	口径 15.2cm 底高 4.8cm 底径 3.75cm	B地区 K14Q D B250 - OW 撲方	口縁部外側ヨコナダ 体部外面指痕 ハリツケ高台 高台部ヨコナダ 見込み日本の平行縞文	中や密 $\phi 1.5$ 底の白・ 灰色多	良 好	外・内 底白色 4/0 底白色 N8/0 底白色 N8/0	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B834 同版 168 第 161回	口径 14.55cm 底高 4.7cm 底径 3.75cm	B地区 K14Q D B250 - OW 撲方	体部外面指痕 ハリツケ高台 高台部ヨコナダ 見込み日本の平行縞文	中や密 $\phi 1.5$ 底の白・ 灰色多	良 好	外・内 底白色 N5/0 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B835 同版 166 第 161回	口径 14.0cm 底高 4.5cm 底径 4.8cm	B地区 K14Q D B250 - OW 撲方	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕 見込み9本の平行縞文	中 $\phi 2$ 以上 底の白・ 灰色	良 好	外・内 暗灰色 N3/0 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
瓦器類	B836 同版 166 第 174回	(底) 口径 14.9cm 底高 4.2cm (底) 4.0cm	B地区 K13H W B223 - OX	口縁部外面ヨコナダ 体部外面指痕 見込み10本(日本か?)の平 行縞文	中 $\phi 2$ 以上 底の白・ 灰色	良 好	外・内 暗灰色 N3/0 底白色 10YR/1 底白色 10YR/1	外面塗ね焼き の焼成度、見 込みの時文、 体部内面の繪文 に先行
須恵器 杯身	B837 第 802回	(底) 口径 36.0cm 底高 4.1cm (底) 11.7cm	B地区 K13M V B223 - O S	底部外面凹輪へ切後ナダ 内面一定方向のナダ 他は凹輪ナダ	中や密 $\phi 1$ 底の杯・ 白色 黑色動物粒	堅 硬	外・内 底白色 N6/0	
瓦器	III B838 同版 166 第 174回	(底) 口径 8.8cm 底高 2.1cm	B地区 K13H W B223 - O X	口縁部内面ヨコナダ 底部外面指痕 内面凹輪状の繪文	中や密 $\phi 1$ 底の白・ 灰色	良 好	外 底白色 2.5YR/1 底白色 N6/0 底白色 10YR/1	内面の背景 無地 太い繩文
土師器 裏	B839 第 804回	口径 21.5cm 底高 38.3cm	B地区 K13K R	底部外面凹輪方向のハケ目 (日本) 底部外面指痕 方向ハケ目(日本)(1枚) 口縁部内面ヨコ内面のハケ目 (日本)(1枚)	中 $\phi 2$ 以下 底の白・ 黑色砂粒	良 好	外 底白色 10YR/8/1 内 底白色 10YR/7/3	体部外面保付 裏
土師器 裏	B840 同版 100 第 837回	(底) 口径 15.9cm 底高 23.3cm	B地区 K13P Y	口縁部内面ヨコナダ 体部外面テガタ内面のハケ目 (日本)(1枚) 体部内面指痕とテグ	中や密 $\phi 1$ 底の白・ 黑色砂粒	良 好	外・内 底黄色 2.5YR/3	体部下外面 保付裏

種類	遺物番号	法 番 (cm)	出 土 地 点	技 術	地 上	地 下	色 調	備 考
土師器 甕	B842 第36回	(底) 口径 20.6cm 器高 37.6cm	B地区 K11KA B16-OX	口縁部外周ヨコ方向のハケ目 (1本/約1.5cm) ヨコナダ、体部 外周部ヨコ方向のハケ目 (1本/ 約1.5cm) 体部外周ヨコ方向の ハケ目 (1本/口)	面 φ 1~3 mm以下の白・黒 色砂粒	良 好	外・面・内 灰白色2.5Y7/2	体部外周輪 付着
土師器 甕・片輪 (片口)	B844 第46回	(底) 口径 38.5cm 残存高 25.1cm	B地区 K12MX B36-OX	マキアゲ、スピギ 体部外周部ヨコ方向に平行タタ キ (1本/約1.5cm) 体部上半円 面ハケ状工具によるヨコナダ (3本/口)	中や白 φ 2 mm以下の白色 砂粒少量	良 好	外・面・内 灰白色10Y7/1	磨成度質 体部に2本の 沈線
土師器 甕	B845 第37回	口径 17.1cm 残存高 15.1cm	B地区 K13N Y B36-OX	口縁部外周ヨコナダ 体部外周部ハケ目 (3本/ 約1.5cm) 体部外周輪	中や白 φ 1 mm以下の白・ 黑色砂粒少量	良 好	外・面・内 灰白色7.5Y7/1	体部外周 輪付着
瓦器碗	B846 第46回 第17回	口径 14.8cm 4.7cm 6.1cm	B地区 K13TW 高台 B22-OX	口縁部外周ヨコナダ 体部外周部ハケ目 (3本/ 約1.5cm) 体部外周部 削除の痕跡、ハリツケ高台 、高台ヨコナダ	中や白 φ 3 mm以下の白・ 灰色砂粒少量	良 好	外・内 灰白色N7/0	磨耗し て生存期 大と不明
瓦器碗	B847 第46回 第17回	(底) 口径 15.8cm 1.8cm 5.0cm	B地区 K13TW 高台 B22-OX	体部外周部削痕 ハリツケヨコナダ 高台ヨコナダ 落込みヨコナダの平行輪状縮文	面 φ 2~3 mm以下の白・ 灰色砂粒	良 好	外 灰白色N4/0 底白色30Y8/1 底白色N3/0	見込みの縮文 体部外周部の縮 文に平行 太い縮文
土師質 盆	B848 第 170回	(底) 口径 28.8cm 残存高 14.7cm	B地区 K14LP B19-O-O	縁部はナゴ、口縁～鋸尾端は 抜工具によるヨコナダ、体 上部外周輪向のヘラケズリ	面 φ 3~5 mm以下の白・ 灰色砂粒を含む	良 好	外・面 灰黄色2.5Y7/3 内 灰黄色2.5Y7/3 黄褐色2.5Y4/1	鉢底～体部外 周輪付着
土師質 盆	B850 第 170回	(底) 口径 20.6cm 残存高 6.4cm	B地区 K14LP B19-O-O	口縁部外周部ヨコナダ 口縁～鋸尾端は抜工具によ るヨコナダ、体ト部外周はヨ コ方向のヘラケズリ	面 φ 2~3 mm以下の白・ 灰色砂粒	良 好	外・内 灰黄色2.5Y7/3 内 灰黄色2.5Y7/2	鉢底～体部外 周輪付着
瓦器碗	B851 第 170回	口径 12.35cm 器高 4.55cm	B地区 K14LE K14LP 高台～田畠	火舟部外周部ハラケズリ/ 3・火舟部内部中央一定方向 のナゴ、ヨロコ左方向	中や白 φ 5 mm以下の灰 色・白・灰色 砂粒少量	不 良	外 灰黄色2.5Y7/2 底 7.5Y1/1 内 灰黄色2.5Y8/2 灰褐色2.5Y8/1	重ね焼きの焼 成度
瓦器碗	B853 第 170回	(底) 口径 14.4cm 器高 4.15cm	B地区 K14LP 4番	口縁部外周ヨコナダ 体部外周部削痕 ハリツケ高台 高台ヨコナダ	中や白 φ 1 mm以下の白・ 灰色砂粒少量	良 好	外 灰黄色10Y4/1 底 7.5Y1/1 内 灰黄色7.5Y5/1	磨耗のため縮 文の生存率不 明、太い縮文
瓦器碗	B854 第 129回	(底) 口径 7.4cm 3.9cm 器高 3.5cm	B地区 K15V 火舟 D233-S	口縁部外周3段のヨコナダ 体部外周部削痕複数 ハリツケ高台 高台ヨコナダ	面 φ 1mm 以下の白色砂粒少 量	良 好	外 青灰色5 BG2/1 火舟色10Y6/1 内 暗青褐色10G4/1	見込みの縮文 体部内面の縮 文に平行 中の太い縮文
瓦器 小皿	B855 第 170回	口径 8.45cm 1.5cm	B地区 K15TW 高台 B22-O-X	口縁部内外ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面に工具痕 は剥離のため不明	中や白 φ 1 mm以下の白・ 灰色砂粒少量	不 良	外・内 灰黄色2.5Y7/2 新 灰褐色5 Y6/1	底部の焼着が みられない
瓦器 小皿	B856 第 166回 第 174回	口径 8.15cm 1.5cm	B地区 K15TW 高台 B22-O-X	口縁部外周・内面ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面に工具痕	面 φ 1mm 以下の白・ 灰色砂粒少量	不 良	外 灰白色2.5Y8/1 新 灰褐色2.5Y8/1	底部の付着が みられない
瓦器 小皿	B857 第 166回 第 174回	口径 9.1cm 1.8cm	B地区 K15TW 高台 B22-O-X	口縁部外周ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面に工具痕 は剥離のため不明	面 φ 1mm 以下の白・ 灰色砂粒少量	良 好	外・内 灰褐色N4/0 灰白色N4/0	底部の付着が みられない
瓦器 小皿	B858 第 166回 第 174回	口径 8.8cm 1.8cm	B地区 K15FX B24-O-S	口縁部外周ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面ナダ ・形成時の調整痕残る	面 φ 3mm以 下の灰・白 色砂粒を含む	不 良	外 灰白色5 Y8/1 底 10YR8/2 内 灰褐色2.5Y8/1	底部の焼着が みられない、 歪みあり
瓦器 小皿	B860 第 166回 第 174回	口径 8.5cm 1.3cm	B地区 K15X B231-O-S	口縁部内外ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面ナダ	中や白 φ 1 mm以下の白・ 灰色砂粒	良 好	外 灰褐色10YR6/2 底 10YR6/2 内 灰褐色5 Y6/1	底部の焼着が みられない、 歪みあり
土師質 盆	B861 第 129回	(底) 口径 30.6cm 器高 5.7cm	B地区 K15TW 高台上 B22-O-X	口縁部外周ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面ナダ	面 φ 3mm以 下の灰・白 色砂粒多量	良 好	外・内 灰褐色10YR6/2 底 10YR6/2 内 灰褐色5 Y6/1	鉢下部～体部 外周輪付着
瓦器碗	B862 第 174回	(底) 口径 14.5cm 1.5cm 器高 6.4cm	B地区 K15TW 高台 B22-O-X	口縁部外周ヨコナダ 底部外周部削痕複数 底部内面ナダ	面 φ 3mm以 下の灰・白 色砂粒	良 好	外・内・新 灰白色5 Y7/1	見込みの縮文 体部内面の縮 文に平行、底 部の焼着がみ られない

種類	遺物番号	法量 (cm)	出土地点	技法	胎土	焼成	色調	備考
土器質 瓦器	B863 出雲 165 第 129回	(推) 口径 25.0cm 底高 5.9cm	B地区 K13F X B234-O S	口縁部内面ヨコナナ 側部ミツナナ 体上部外面へラケザリ	やや密 約2mm以下 の白・ 褐色・灰黑色 鉄多量	良 好	外 底白色 5 Y7/2 灰色 5 Y7/1 底白色 5 Y7/2 底黄色 2.5 Y6/2	脚下部→全体 外曲面擦付層
瓦器類	B864 出雲 167 第 129回	口径 13.5cm 底高 3.6cm 底径 4.7cm	B地区 K13F X B233-O S	体部外表面擦痕後輪いびき 波状の凹凸を施されてい る、見込み部内部も一體化 したやわらかな波状輪文	密 約1.5mm以 下の白・ 灰色 鉄少量	良 好	底色 N4/0 底白色 N4/0 底色 N4/0	やや太い暗文 面み
瓦 小皿	B865 出雲 166 第 174回	口径 9.4cm 底高 2.1cm	B地区 K13H W 上部擦 2 B232-O X	内面・口縁部外面ヨコナナ 底部外表面擦痕後輪いびき 見込み6本の輪めて細い平行 輪文	密 約1.5mm以 下の白・ 灰色 鉄少量	良 好	底色 10 Y4/1 底色 7.5 Y6/1 底色 N4/0	直火大 輪文擺めて開 け
陶文土器 深鉢	B866 出雲 168 第 129回	口径不明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	口縁部外面に輪み目をもつ突 起は調整不明	密 約2mm以 下の白・ 灰色 鉄多量	軟	外 底褐色 7.5 Y R5/1 内 底白色 5 Y R8/1	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B867 出雲 168 第 129回	口径不明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	外面上に輪み目をもつ突 起・外表面ヨコナナ 体部内面ナナ	密 約2mm以 下の白・ 灰色 鉄多量	軟	外 底褐色 10 Y R3/2 内 底褐色 5 Y4/2	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B868 出雲 168 第 129回	口径不明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	内外面とも磨耗のため調整不 明	密 約2mm以 下の白・ 灰褐色 鉄少	良 好	外 断 底褐色 7.5 Y R4/2 内 底褐色 10 Y R5/3	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B869 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	体部外面ヨコナナ・輪み目を もつ突起 体部内面調整不明	密 約2mm以 下の白・ 灰色 鉄少	軟	外 断 内 底褐色 2.5 Y R5/3 底褐色 10 Y R6/2	
陶文土器 深鉢	B870 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O P	口縁部外表面輪み目をもつ突 起は磨耗のため調整不明	密 約2mm以 下の白・ 灰色 鉄多量	軟	外 底褐色 10 Y R3/1 内 底褐色 5 Y R4/2	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B871 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O P	口縁部外表面輪み目をもつ突 起は調整不明	密 約1.5mm以 下の白・ 灰色 鉄多量	軟	外 底褐色 10 Y R4/2 内 底褐色 7.5 Y R2/1	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B872 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	体部外表面輪み目をもつ突 起・ヨコナナ 体部内面ナナ	密 約1.5mm以 下の白色 鉄多量	軟	外 断 内 底褐色 7.5 Y R3/2 内 底褐色 2.5 Y R5/3	
陶文土器 深鉢	B873 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	外表面輪み目をもつ突 起は調整不明	密 約2mm以 下の白色 鉄多量	軟	外 底褐色 10 Y R6/2 内 底褐色 5 Y R2/3	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B874 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O P	外表面輪み目をもたない 内面擦痕 は調整不切	密 約2mm以 下の白色 鉄多量	軟	外 断 内 底褐色 7.5 Y R2/1	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B875 出雲 168 第 129回	口径 2.5cm 底高 不 明	B地区 K14D 陶文不定埴 込み B80-O X	底部外表面輪み目をもたない 内面擦痕 は調整不切	密 約2mm以 下の白色 鉄多量	軟	外 内 底褐色 10 Y R5/3 底褐色 2.5 Y R5/3 底褐色 5 Y4/1	磨耗著しい
陶文土器 深鉢	B876 出雲 168 第 129回	(推) 口径 31.4cm 底高 7.7cm	B地区 K14D B81-O P	口縁部外表面輪み目をもつ突 起 は調整不明	密 約5.5mm以 下の灰褐色 鉄多量	軟	外 内 底褐色 7.5 Y R7/3 外 底 底褐色 7.5 Y R5/1	磨耗著しい
瓦器類	B877 第 155回	(推) 口径 14.2cm 底高 3.4cm (推) 底径 4.4cm	B地区 成人墓 K13F X B235-O X	体部外表面擦痕 ハリツケ高台 見込み波状輪文	密 約2mm以 下の白色 鉄少	良 好	外 内 底白色 N4/0 底白色 10 Y8/1	見込みの暗文 外表面の擦 れと平行 やや暗い暗文
瓦器類	B878 出雲 171 第 177回	口径 15.0cm 底高 5.1cm	B地区 K13F X 道高前面上 (推)	D縁部外表面ヨコナナ 側部外表面擦痕 ハリツケ高台	密 約1.5mm以 下の白・ 灰色 鉄少	不 良	外 底白色 8 R5/2 内 底灰褐色 N3/0	磨耗極めて著 しく表面擦痕 でない
瓦器類	B879 出雲 165 第 129回	(推) 口径 14.7cm 底高 4.0cm 底径 4.3cm	B地区 K13 あざ2 B233-O S	口縁部外表面ヨコナナ 体部外表面擦痕後輪いびきナナ ハリツケ高台 高台部ヨコナナ 見込み10本の平行輪文	中中密 約2mm以 下の灰・ 白色 鉄少	良 好	外 底褐色 5 B3/1 反色 5 S/1 底白色 10 Y8/1 内 底褐色 5 S/1 底白色 7.5 Y8/1	見込み暗文 体部外表面の暗 文に平行
瓦器類	B880 出雲 165 第 129回	口径 15.3cm 底高 3.7cm 底径 3.4cm	B地区 K13 B233-O S	体部外表面擦痕 ハリツケ高台 高台部ヨコナナ 見込み10本の平行輪文	密 約2mm以 下の白・ 灰色 鉄少	良 好	外 内 底褐色 N4/0 底 オリーブ色 5 G Y7/1	見込みの暗文 体部外表面の暗 文に平行

種類	裏物番号	生量(α)	出土地点	枝法	樹土	地質	色調	備考
須恵器 杯身	B883 第6405	既存高 2.5cm (底)底径 10.8cm	B地区 K13MV B125-O-S 上層	マキアグ・ミズビキ 内外表面とも回転ナザ クロ方向不明	直 $\varnothing 2\text{mm}$ 以下の白色粒	堅 無	灰褐色N6/0 灰白色N7/0 明褐色N7.5YR7/2 内 灰白色N7/0	
須恵器 杯身	B884 第6405	(底)口徑 11.2cm 既存高 2.05cm	B地区 B301-O-S	マキアグ・ミズビキ 回転ナザ	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白色粒 黑色粘物質合	堅 無	外・内 灰褐色N4/0 灰白色N7/0	
瓦器輪	B885 第6405 第12905	(底)口徑 15.1cm 基高 4.7cm 底径 4.8cm	B地区 あざ(3) 奥(2) B233-O-S	口唇部外側ヨコナザ 体部内面横筋 ハリック高台 高台部ヨコナザ	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白・灰色粒	良 好	外 灰褐色N4/0 灰白色10Y8/1 内 暗青灰褐色5B3/1	重ね焼きの施成 見込みの捺文部内部の捺文先行
須恵器 台灯蓋	B886 第6505	既存高 3.6cm (底)既存 17.7cm	B地区 K14HL R301-O-S 第9層	マキアグ・ミズビキ 体部外面回転ナザ 他は回転ナザ	中や粗 $\varnothing 5$ 以下の細粒 白・灰色粒 黑色粘物質合	中や 不規	外・新・内 灰白色N8/0	磨研施して居 る
須恵器 蓋	B887 第8005	(底)口徑 17.8cm 基高 4.5cm (底)既存 10.6cm	B地区 K14KB B261-O-S	マキアグ・ミズビキ 内外表面とも回転ナザ クロ方向不明	直 $\varnothing 3\text{mm}$ 以下の白・灰色粒	中や 不規	外・新・内 灰白色10Y8/1	底部外側 火炎ダメージの 施成現
須恵器 蓋	B888 第6505	(底)口徑 12.2cm 基高 3.65cm	B地区 K11HT B301-O-S 第9層	マキアグ・ミズビキ 美濃焼風 底面ハリケメリ2/3 内面中央一定方向のナザ	中や粗 $\varnothing 3$ 以下の細粒 白・灰色合	堅 無	外・新・内 灰褐色N7/0	天井部外側へ 手記号
土器器 盤	B889 第6505 第8005	(底)口徑 20.5cm 既存高 3.2cm	B地区 K11HQ B261-O-S	直縁平底・タケヅリ 内面全体外側ヨコナザ 内面調整不明	直 $\varnothing 2\text{mm}$ 以下の白・灰色 粒含む	良 好	外 灰褐色2.5Y8/3 内 灰褐色2.5Y8/3 明褐色1CYR6/6	内面着色のた めの不明
土器器 盤	B890 第6505 第8005	既存高 1.9cm (底)底径 21.2cm	B地区 K14QB B261-O-S	内外両面ともヨコナザ	直 $\varnothing 2\text{mm}$ 以下の白・灰色少 量	良 好	外 淡黄色2.5Y8/3 内 淡黄色2.5Y8/3 明褐色1CYR6/6 淡黄色2.5Y8/3	
瓦器輪	B891 第6505 第17005	(底)口徑 15.5cm 基高 4.7cm 底径 3.9cm	B地区 K14LF B149-O-O 上層	口縁部内面ヨコナザ 体部内面横筋 他は調整不明	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白色粒少 量	良 好	外 灰褐色N4/0 灰白色C4Y8/1 内 暗灰色N3/0	外側重ね焼き の施成、内 部火炎ダメージ 内面黒斑化に 先行
瓦器輪	B892 第15505	(底)口徑 15.5cm 既存高 4.2cm	B地区 K14MJ B216-O-O	口縁部内面ヨコナザ 体部内面横筋 他は調整不明	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白色粒少 量	良 好	外 暗灰色N3/0 灰白色C4Y8/1 内 暗灰色5G7/3 灰色N4/0	磨研のため暗 火炎焼でな い
磁器輪	B893 第129 第17005	既存高 2.9cm (底)底径 6.4cm	B地区 K14LK 第11b-三層	直縁低・高台部無筋 底面・高台部カンナケヅリ	直	堅 無	外 灰褐色2.5G YR1 内 灰褐色10Y8/1 (施成) 灰褐色5G7/3	
瓦器輪	B894 第15505	(底)口徑 5.3cm 基高 1.8cm	B地区 K14MK B216-O-O	口縁部内面ヨコナザ 体部内面横筋 他は調整不明	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白色粒	良 好	外 暗灰色N3/0 内 暗灰色5G7/3 5GY7/3 灰色N5/0	全く大 焼耗している
須恵器 杯身	B895 第133 第17005	既存高 2.5cm (底)底径 10.2cm	B地区 K14PH 第3層直上	マキアグ・ミズビキ 内外表面とも回転ナザ クロ方向不明	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の灰 色粒少	堅 無	外・新・内 灰褐色N8/0	
土器器 小皿	B896 第15505	(底)口徑 7.2cm 基高 1.4cm	B地区 K14MK B216-O-O	口縁部外側ヨコナザ 底部外側横筋 見込み手捺模様 (本数不明)	直 $\varnothing 2\text{mm}$ 以下の白・灰色 粒含む	良 好	外 に赤い青模様10YR7/2 内 灰白色2.5Y8/2	施成善しい 捺文先行施 成、太さ不明
瓦器輪	B897 第15505	(底)口徑 14.0cm 基高 4.8cm (底)底径 3.7cm	B地区 K12B-O-X 底部内上部	口縁部外側ヨコナザ 底部外側横筋 見込み手捺模様 (本数不明)	直 $\varnothing 2\text{mm}$ 以下の白・灰色 粒含む	中や 不規	外 オリーブ黒色 内 灰褐色5GY8/1 内 灰白色5G7/3	施成善しい 捺文先行施 成、太さ不明
須恵器 盤	B898 第133 第17705	(底)口徑 20.5cm 基高 3.8cm (底)底径 10.0cm	B地区 K14KB 第9層直上	マキアグ・ミズビキ 口縁・高台部回転ナザ 底部内面ナザ	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白色粒	堅 無	外 淡色N6/0 内 灰褐色N7/0	底部外側
須恵器 盤高杯	B899 第6505	(底)口徑 15.85cm 既存高 6.15cm	B地区 K14HM B213-O-S 第9層	斜体部内面 2 本の凸巣(縦) 底体部内面 斜板・ハリケメリ1/2 方形1段の三方スカシ	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白・黑色 粒含む	堅 無	外 灰褐色N5/0 内 灰白色N8/0	
須恵器 杯身	B900 第8005	既存高 4.2cm (底)底径 12.8cm	B地区 K14NG B213-O-S 第9層	マキアグ・ミズビキ 外側とも回転ナザ クロ方向不明	直 $\varnothing 1\text{mm}$ 以下の白・黑色 粒含む	堅 無	外 灰褐色N4/0 灰白色N7/0 内 灰褐色N6/0	

種類	遺物番号	生長（cm）	出土地点	性状	胎土	陶成	色調	備考
灰陶器 杯型	B901 國版 157 第 177回	口径 12.8cm 高さ 3.4cm	B地区 K14H F 第Ⅲ層直上	天井部外面輪郭へラケツリ/1 天井部内面中央回転ナデ 後方のナデ、クロロ左 方向	赤 径 0.1mm 以下 白色粒 黑色物粒多 量	堅 板 断 内	褐色10Y4/1 灰白色N7/0 灰白色N8/0	西み 天井部外面 重ね焼きの焼 成底
白陶器 碗	B902 國版 176 第 155回	残存高 2.5cm 底径 6.2cm	B地区 K14MK B316-〇〇	底台部無 底台部ランナケズリ 見込み縫隙 底部外周輪郭ビンホール	否	堅 板	外 堅 板 断 内	見込み縫隙中 埋蔵した小石 底アリ
灰陶器 壺	B903 國版 133 第 178回	残存高 4.2cm (他) 直径 8.4cm	B地区 K14G C 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部折曲 回転ヘラケズリ2/3 他の凹方面	赤 径 0.2mm 以下 白色粒 黑色物粒多 量	堅 板	外 褐色10Y5/1 灰白色N8/0 断 板 灰白色5R4/1 灰白色N8/0 内 灰白色N7/0	底部内面 自然焼
灰陶器 杯身	B904 第65回	(他) 口径 12.1cm 残存高 6.6cm	B地区 K11HG B203-〇S 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部外周面 回転ヘラケズリ2/3 他の凹方面	赤 径 0.2mm 以下 白色粒 黑色物粒多 量	堅 板	外 板 内 灰白色N7/0	
灰陶器 杯身	B905 第 178回	残存高 4.8cm (他) 直径 10.8cm	B地区 K14G F P.Y 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外周面ナデとケザ 他の凹方面	赤 径 0.1mm 以下 白色粒	堅 板	外 板 内 灰白色N8/0	体面～高台部 外周自然焼
灰陶器 杯型	B906 第65回	15.2cm 高さ 3.9cm	B地区 K14MG B205-〇S 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周面 回転ヘラケズリ2/3 クロロ左方向	赤 径 0.2mm 以下 白色粒 少量含む	堅 板	外 板 内 灰白色N7/0	外面に自然焼
粗等焼	B907 第 176回	(他) 口径 11.4cm 残高 4.6cm (他) 直径 3.6cm	B地区 K13 V B207-〇X 第Ⅲ層	底面内面の輪郭輪に抜き取 る 高台部に無難	否	堅 板	褐色 淡褐色2.5Y7/3 露胎面 灰白色2.5Y7/1	肥前系粗等焼
灰陶器 杯型	B909 國版 165 第 175回	(他) 口径 11.8cm 高さ 4.7cm (他) 直径 3.1cm	B地区 K13 W B202-〇X 及 時序(②)	口縁部外周面コナデ、斜部 部出張底成形ナデ、ハッカ ス柄、底部コナデ、乾 み込み平行線幾本 (本数不明)	赤 径 1mm 以下 白色粒少 量	良 好	外 内 灰白色N4/0 灰白色10Y8/1	見込み縫隙 体面内面の繪 文に先行
土陶器 羽皿	B910 國版 157 第 150回	(他) 口径 27.8cm 残存高 9.0cm	B地区 K209-〇X セマフ右側底 部	調節ヨコナデ 底部外周面ヘラケズリ 「四輪馬」形の切口 (本数不明)	やや赤 径 0.6mm 以下 灰 白色粒	良 好	外 板 内 赤褐色10Y8/3 黑5Y2/1	内面全体灰化 物計畫
瓦器陶 罐	B911 第 174回	(他) 口径 15.7cm 高さ 5.1cm (他) 直径 5.4cm	B地区 A22-〇X 及 時序(②)	口縁部外周ヨコナデ後ミガキ アゼナ、奥(?) B202-〇X 及 時序(②)	赤 径 0.1mm 以下 灰 白色粒	良 好	外 板 内 褐灰色N3/0 灰白色N6/0 断 板 内 灰白色N5/0	見込みの繪文 体面内面に先 行
灰陶器 杯型	B912 國版 133 第 176回	(他) 口径 11.2cm 高さ 3.0cm	B地区 K14I 1 第Ⅰ～Ⅱ層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周面ヘラケズリ/1 及 2、ヨリ右斜め	赤 径 0.2mm 以下 白色粒少 量	良 好	外 板 内 灰白色N7/0	外部全修焼耗
灰陶器 杯型	B913 國版 133 第 176回	残存高 1.5cm	B地区 K14N 1 第Ⅱ～Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 天井部外周面ヘラケズリ/1 及 2、ヨリ左斜め	赤 径 0.1mm 以下 灰 白色粒	中 不良	外 板 内 灰白色2.5Y8/1	
土陶質 小壺	B914 國版 157 第 176回	口径 3.6cm 高さ 1.75cm	B地区 K13 S S 第Ⅰ～Ⅱ層	外表面無 内面無痕化ナデ	やや赤 径 0.5mm 以下 白色粒多 量	良 好	外 現白色2.5Y8/2 に少々褐色 2.5YR7/4 露胎面2.5Y8/3 内 灰白色2.5Y8/2	かなり小窓の 且
灰陶器 杯身	B915 國版 153 第 176回	(他) 口径 14.2cm 高さ 4.2cm (他) 直径 9.6cm	B地区 K14D H 第Ⅰ～Ⅵ層	マキアグ・ミズビキ 内面端とも凹面ナデ クロロ左方向不規	赤 径 0.1mm 以下 白色粒	堅 板	外 板 内 灰白色N5/0 灰白色N7/0	体面外周ヘラ ケズリ(形不明)
土陶質 高杯	B916 國版 133 第 176回	残存高 5.8cm	B地区 K14Q D 第Ⅲ～Ⅴ層	脚柱部外面へラナデ その他の調査不明	やや赤 径 0.1mm 以下 白色粒 粒少量 タリレキ	良 好	外 赤褐色5Y8/3 に少々褐色 5YR7/4 内 褐黄色5Y8/3 明黄色10YR6/6	燃耗者らしい
灰陶器 高杯	B917 第65回	(他) 口径 24.4cm 残存高 5.0cm	B地区 K14Q J 第Ⅲ～〇S 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 内面端凹面ナデ 後カタツムリ(6 本/個)、底部内面同心円タ リキ(2.5mm/個)	赤 径 0.2mm 以下 灰 白色粒	堅 板	外 板 内 灰白色N8/0 灰白色N7/0	口縫部内面 剪切に自然焼
土陶質 高杯	B918 國版 133 第 176回	残存高 5.05cm	B地区 K14Q F 第Ⅲ層	脚柱部外面へラナデ その他の調査不明	やや赤 径 0.1mm 以下 灰 白色粒	良 好	外 現白色2.5Y8/2 露胎面2.5YR6/6 内 褐黄色2.5Y8/2 浅色2.5YR8/8	宿託・割離 著しい
土陶質 壺	B919 第82回	(他) 口径 19.6cm 残存高 2.8cm	B地区 K14C G B305-〇S 第Ⅲ層	内外面ともヨコナデ	赤 径 0.2～4 mm 白色粒 少量	良 好	外 板 内 浅白色10YR8/6 浅白色10YR8/1 断 板 内 明赤褐色5YR5/6	磨耗している

種類	遺物番号	法 異 (cm)	出 土 地 点	技 術 法	胎 土	焼 成	色 調	備 考
直筒器 杯身	B920 第186回	(底) 口径 12.0cm 基高 3.0cm (底) 底径 3.5cm	B地区 K14E G B90-O P	マキアゲ・ミズビキ 内面・口縁部・体部外面回転 ナダ 底部外面調整不明	胎 ± 2 mm 以下の白色粒多 量	堅 硬	外 底白色10Y7/1 底白色N7/0 内 底色N5-6 底白色N7/0	
直筒器 杯身	B921 第186回	残存高 0.7cm (底) 底径 11.0cm	B地区 K14E G B90-O P	マキアゲ・ミズビキ 底部外面回転ヘフ切削ナダ 底部外面調整ナダ後・定方 向のナダ	胎 ± 1 mm 以下の白・灰色 粒	堅 硬	外 底白色N7/0 底白色N7/0 内 底白色N7/0	
直筒器 皿	B922 第186回 第133 第83回	(底) 口径 16.0cm 基高 2.0cm 底径 12.2cm	B地区 K14F B12-O S	マキアゲ・ミズビキ 底部外面回転ヘフ切削ナダ 底部外面調整ナダ後	胎 ± 2 mm 以下の白色粒	堅 硬	外・堅・内 底白色N8/6	
瓦器 皿	B924 第151回	(底) 口径 9.0cm 基高 2.1cm	B地区 K14F B12-O P	口縁部外面コカナ 底部外面回転 底部内面ナダ	中や堅 ± 1 mm 以下の白色 粒	やや 不良	外 底白色5Y8/1 底白色5Y8/4 底白色2.5Y8/3 底白色5Y8/1	磨耗している
直筒器 杯身	B925 第176回	(底) 口径 11.0cm 残存高 1.6cm	B地区 K14H 第151回上	マキアゲ・ミズビキ 底部外面回転ヘフ切削ナダ 底部内面ナダ	胎 ± 1 mm 以下の白色粒	堅 硬	外 底白色N8/0 底白色5.5R6/1 内 底白色N7/0	外周全体自然 色
直筒器 杯身	B926 第176回	(底) 口径 18.0cm 残存高 0.6cm	B地区 K14H 第151回上	マキアゲ・ミズビキ 底部外面回転ヘフカセギ後 ・定方向のナダ 底部外面調整ナダ	胎 ± 1 mm 以下の白・灰色 粒	堅 硬	外・堅・内 底白色N8/6	
直筒器 杯身	B927 第177回 第177回	(底) 口径 10.2cm 残存高 3.7cm	B地区 K14H 第151回上	底部外面回転ヘフカセギ後 ・定方向のナダ 底部内面中央回転ナダ後 ・定方向のナダ	胎 ± 2 mm 以下の白色粒 少	堅 硬	外・堅・内 底白色N8/0	歪み人 底部外壁 自然色
直筒器 杯身	B928 第178回	残存高 2.0cm	B地区 K14N U 第151回	マキアゲ・ミズビキ 内面と毛孔ナダ クロロ方向不明	胎 ± 1 mm 以下の白色粒少 量 白色物 少	良 好	外・堅・内 底白色N7/0	
瓦器 小皿	B929 第178回	(底) 口径 9.3cm 基高 1.8cm	B地区 K14H 第151回上	口縁部外面コカナ 底部外面回転 内面ナダ	やや堅 ± 1 mm 以下の灰・灰 色粒	良 好	外 底白色5.5Y7/4 底白色2.5Y7/4 内 底白色5Y7/4 底白色10Y8/1	磨耗している
白器 皿	B930 第178回	(底) 口径 16.2cm 残存高 4.3cm	B地区 B236-O S	内外面ともビンホールあり	胎	堅 硬	施釉部 底白色10Y8/1 底白色7.5Y8/1	
瓦器 小皿	B931 第178回	(底) 口径 8.8cm 基高 1.0cm	B地区 K14K H 第151回上	口縁部外面コカナ 底部外面回転 見込み裂けの暗文	胎 ± 2 mm 以下の白色粒	良 好	外 底色7.5Y4/1 底色N7/0 内 底色2.5G Y8/1 底色2.5Y7/6 内 底色N7/4 底色7.5Y4/1	太・暗文
白器 碗	B932 第179 第181回	(底) 口径 17.4cm 残存高 5.4cm	B地区 K14L I B12-O P	高台部カントケヅリ 内面とモジンホル・多い 底部内面に横線の条痕	胎 ± 1 mm 以下の白・白色 粒少	良 好	施釉部 底白色5Y8/2 底白色7.5Y8/2	
白器 碗	B933 第179 第182回	残存高 2.7cm (底) 口径 4.6cm	B地区 K13P X B236-O S	鉢形 底部高さカントケヅリ 内面とモジンホル・多い	胎	良 好	施釉部 オーラープラ 7.5Y2/2 施釉部 底白色5Y8/2	唐津系天目茶 碗
直筒器 杯身	B934 第40回	(底) 口径 15.2cm 残存高 3.5cm	B地区 K13T Y B236-O R 第15回	マキアゲ・ミズビキ 底部外面回転ナダ 底部内面ナダ	胎 ± 1 mm 以下の白色粒少 量	堅 硬	外・内 底色10R6/1 底色N7/0	
土器器 鍋 (把手)	B935 第183 第186回	残存高 2.6cm	B地区 K14Q D 第15回～7回	底部外面回転 底部内面調整不明	やや堅 ± 2 mm 以下の白・灰色 粒多量	良 好	外 底色10Y7/4 底色2.5Y7/3 内 底色2.5Y8/2	剥離している
土器器 鍋 (把手)	B936 第183 第186回	残存高 4.2cm	B地区 K14M 第15回	把手部外面回転 底部外面回転 方向のハケド (8 本/cm) 底部内面調整不明	やや堅 ± 2 mm 以下の白・灰色 粒多量	良 好	外・内 底白色5Y8/2	剥離している
瓦器 小皿	B937 第178回	残存高 2.9cm 基高 4.8cm	B地区 K14P J 第14回～3回	高台部砂動付 底部内面中央貫入アリ	胎	堅 硬	施釉部 底白色5Y8/4 施釉部 底白色2.5Y8/2	把手各 施釉部模様がい ひび割れ
瓦器 小皿	B938 第178回	(底) 口径 8.5cm 基高 1.7cm	B地区 K13Q W R622-O X 大切を拂る調 (2)	口縁部外面コカナ 底部外面回転 見込みジグザグ状暗文	胎 ± 2 mm 以下の白・灰色 粒少	やや 不良	外・堅・内 底白色2.5Y6/1	やや太い暗 文
土器器 器	B939 第183 第186回	(底) 口径 21.2cm 残存高 7.2cm	B地区 K14O F 第15回	口縁部内面回転ナダ 底部外面回転 方向のハケド (10 本/cm) 底部内面表状工具 によるナダ	胎 ± 1 mm 以下の白色粒	良 好	外・内 底黄色2.5Y8/3 内 底色5Y7/6	

種類	遺物番号	法量 (m)	出土 地点	注 法	胎 土	焼 成	色 調	備考
白磁 瓶	B943 遺版 179 第 176回	残存高 4.1m B地区 K14H J 第 I b ~ III層	高内施釉していない 見る所施釉 底面にシボール多い	青	堅 磬	施物部・露物部 灰白色2.5G Y8/1		
瓦器 小皿	B945 遺版 166 第 175回	(推) 口径 8.7cm 盤高 1.5cm	B地区 K14H 第 IV層上	青 ドラム以下 の白色粒 底面外周部 M字みら状状態	良 好	外・白 灰白色N4/0 断灰白色7.5Y8/1	見込み埋文 口縁内面に先 行	
磁器 碗	B949 遺版 176 第 176回	残存高 2.3cm	B地区 K14H 第 IV層上	ビンホール多い	青	堅 磬	施物部 灰白色2.5Y6/8 露物部 灰白色N8/0	
土師器 小皿	B956 第 151回	(推) 口径 8.2cm 盤高 1.6cm	B地区 K14H I 第 IV-P	口縁部内外面ヨコナデ 施釉調整不明	青 ドラム以 下の白・色 粒少	不 良	外・白・内 灰白色10Y R8/1	磨耗重い
須恵器 环身	B959 第 177回	(推) 口径 16.0cm 器高 5.5cm (推) 底径 11.4cm	B地区 K14C D 第 IV層上	マキアグ・ミズビキ 底面とも脚部ナデ ロクロ左方向	青 ドラム以 下の白色粒 黑色粘物粒	堅 磬	外・灰白色N4/0 断・内 灰白色N5/0	
須恵器 环身	B960 第 177回	残存高 3.7cm (推) 底径 13.4cm	B地区 K14H 第 IV層上 (面 上)	底部外周面輪へ切削ナデ 内面軽転ナタ削一定方 向のナデ、ロクロ右方向	青 ドラム以 下の白色粒少 量	堅 磬	外・灰白色N7/0 断・内 灰白色N6/0	
瓦器 小皿	B962 遺版 165 第 175回	(推) 口径 3.7cm 盤高 1.2cm	B地区 K13F W B612—O X 及保拂	口縁部内外面ヨコナデ 底面外周部横擦 内面ナデ	青 ドラム以 下の白色粒少 量	良 好	外・内 暗褐色灰10BG3/1 断灰オーラー灰 5G Y7/1	
土師質 羽釜	B966 遺版 167 第 155回	(推) 口径 30.8cm 残存高 7.0cm	B地区 K14L J B329—O X	脚部ヨコナデ、口縁部内外 ヨコナデ 体部外周部 内面ヨコナデ	やや粗 ドラム以下 の白・灰 色粒多 量	良 好	外 暗色 7.5Y R6/6 黒褐色 5.5Y R7/3 内 7.5Y R5/3 黒褐色 7.5Y R3/1	外面とも側 縁部外周部付 着
瓦質 片口鉢	B968 遺版 166 第 175回	(推) 口径 21.4cm 残存高 5.6cm	B地区 K13G F B612—O S 大皿を切る溝 ②	口縁部内外面ヨコナデ 体部外周部ヘラケヌリ 内面ナデ	青 ドラム以 下の白・色 粒	やや 不良	外 暗白色2.5Y8/2 灰白色2.5Y7/1 内 灰黄色2.5Y7/2	投石の付着わ り、あるいは 焼耗か?
土師器 甕	B972 第 338回	(推) 直高 15.5cm	B地区 K12F Y	底延・一体外周 新方向のハ ク日 (日本/α)、体部内面 右方向のヘラケヌリ、底部内 面下から上へのヘラケヌリ	青 ドラム以 下の白色粒多 量	良 好	外 暗白色2.5Y7/1 断灰2.5Y8/1 内 黑褐色2.5Y3/1	外面全体 漆付着
土師器 甕	B973 第 338回	(推) 直高 16.4cm	B地区 K12F Y B76—OW	底延・直周外周 新一方向内 面延び頭後上方右のヘラ ケヌリ、体部内面右方向のヘラ ケヌリ	青 ドラム以 下の白・灰 色粒多 量	外・断 内 暗黄色2.5Y8/3 内 5.5Y R6/3 底黄褐色10Y R4/2	外面全体漆付 着	
土師器 甕	B974 第 338回	残存高12.9cm	B地区 K12F Y B76—OW	底延・直周外周頭方のハ ク日 (日本/α)、底延・底部 内面右方向のヘラケヌリ	やや粗 ドラム以下 の灰・白 色粒含む	やや 不良	外 暗白色2.5Y8/2 暗褐色2.5Y3/1 内 5.5Y R5/2 底黄褐色2.5Y5/1 内 暗色2.5Y3/1	
土師器 甕	B975 遺版 103 第 338回	残存高5.0cm	B地区 K12F Y B76—OW	体部外壁上手斜方方向のハ ケヌリ (日本/α)、体部内面 下手ナデ	やや粗 ドラム以下 の灰・白 色粒含む	良 好	外 暗白色2.5Y8/2 暗褐色2.5Y R2/6 内 灰白色2.5Y8/2	外面全体漆付 着底部外周部 植根
土師器 甕	B976 遺版 133 第 338回	(推) 直高 15.0cm	B地区 K12F Y B76—OW	体部外壁横方向のハ ク日 (日本/α)、体部内面 ナデ、底延充窓?	やや粗 ドラム以下 の灰・白 色粒含む	外・断 内 暗白色2.5Y8/2	底延外周 漆付着 底延外周部 漆付着	
陶器 桶	B984 第 176回	(推) 口径 31.6cm 残存高 5.9cm	B地区 第 II~IV層	体部内面 滲跡 (4本/α)	青	良 好	外 暗褐色4R4/3 断灰10Y5/1 内 5.5Y R6/3 7.5R4/3	油煎燒
須恵器 甕	B985 第 176回	残存高 2.1cm (推) 底径 11.0cm	B地区 K14N P 第 III層	マキアグ・ミズビキ 内面裏面も開転ナデ ロクロ方向不明	青 ドラム以 下の白色粒 黑色粘物粒	良 好	外・内 灰白色N4/0 断灰褐色5 R6/1	
須恵器 环身	B987 第 176回	残存高 3.3cm (推) 底径 10.0cm	B地区 K14G H—I 第 III ~ IV層	マキアグ・ミズビキ 底部外周部ヘラ削初回調 整は開転ナデ	青 黑色粘物粒	良 好	外・断 内 灰白色N8/0	
須恵器 环身	B988 第 177回	残存高 1.15cm (推) 底径 9.2cm	B地区 K14I R 第 IV層上	マキアグ・ミズビキ 底部外周部ヘラ削初回調 整は開転ナデ	青 ドラム以 下の灰・白色 粒	やや 不良	外・断 内 暗白色10Y8/1 内 灰白色N8/0	
須恵器 环身	B989 第 177回	(推) 口径 12.9cm 器高 4.1cm (推) 底径 8.6cm	B地区 K14I I 第 V層上	マキアグ・ミズビキ 底部外周部ヘラ削初回調 整は開転ナデ	青 ドラム以 下の灰・白色 粒	外・断 内 暗白色10Y8/1 内 灰白色N8/0		

種類	遺物番号	汎量(cm)	出土地点	検査法	胎土	焼成	色調	備考
須磨器 杵身	B 990 第 178回	残存高 2.5cm (底) 底径 8.6cm	B地区 K14N F 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部内面凹輪ナゲ他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨 黒色鉱物粒	堅 硬	外 灰白色N7/0 内 灰白色N8/0	
須磨器 杵身	B 991 第 178回	(底) 口径 13.2cm 底高 5.3cm (底) 底径 5.0cm	B地区 K14M F 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部内面凹輪ナゲ他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨 黑色鉱物粒	堅 硬	外・断・内 灰白色N8/0	
須磨器 杵身	B 992 第 177回	残存高 1.8cm (底) 底径 7.8cm	B地区 K14H 日 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外面凹輪ラグラム切妻調整 他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨 黑色鉱物粒	堅 硬	外 灰灰色5D6/1 内 青灰色5B2/1	
須磨器 杵	B 993 第 178回	残存高 2.8cm (底) 底径 7.6cm	B地区 K14 P C 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外面調整不明 他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外・断・内 灰白色N8/0	
須磨器 杵身	B 994 第 178回	残存高 1.2cm (底) 底径 4.4cm	B地区 K14K I ~ L 第Ⅲ~Ⅳ層	マキアグ・ミズビキ 底部外面凹輪切妻調整 他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	良 好	外 灰白色N8/0 内 灰白色2.5G Y8/1	底部内面自然 輪
須磨器 杵身	B 995 第 178回	残存高 1.3cm (底) 底径 6.2cm	B地区 K14 Q E 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外面ナゲ他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外・断・内 灰白色N8/0	
須磨器 杵身	B 996 第 177回	(底) 口径 15.6cm 残存高 4.5cm (底) 底径 10.4cm	B地区 K14 H G 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 口縁・底部内面凹輪ナゲ他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外・断・内 灰白色N8/0	
須磨器 瓶蓋	B 997 第 178回	(底) 口径 6.2cm 残存高 3.25cm	B地区 K14 P G 第Ⅲ~Ⅳ層	マキアグ・ミズビキ 内外面とも回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外・内 灰白色N8/0 灰白色N7/0	口縁外面一 周部 自然輪
須磨器 二二鉢	B 998 第 178回	残存高 8.7cm	B地区 K14 K E 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 内外面とも回転ナゲ	素 $\phi 0.5\text{mm}$ 以下の白色骨	良 好	外 灰色N6/0 内 灰白色N8/0 内 灰白色N7/0	内部全体自然 輪
須磨器 杵身	B 999 第 178回	残存高 7.5cm (底) 底径 14.0cm	B地区 K14 Q A 第Ⅲ~Ⅳ層	マキアグ・ミズビキ 底部外面 調整不明 他は回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外 灰白色N8/0 内 灰白色10Y8/1	外部自然輪
須磨器 杵身	B 1000 第 178回	残存高 2.2cm (底) 底径 12.0cm	B地区 K14 N F 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外面 調整不明 内面小山状ナゲ一 定方向のナゲ	素 $\phi 1.4\text{mm}$ 以下の白色骨 多量	堅 硬	外 灰色N6/0 内 灰白色N8/0 内 灰白色N8/0	
須磨器 杵身	B 1001 第 178回	(底) 口径 20.0cm 残存高 6.3cm (底) 底径 12.1cm	B地区 K14 M G 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 内外面とも回転ナゲ クロロ方向不明	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の底・白色 骨	堅 硬	外 灰白色10Y8/1 内 灰白色N8/0	内部全体自然 輪
須磨器 壺	B 1002 第 178回	残存高 2.3cm (底) 底径 9.6cm	B地区 K14 N Y 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部下部凹輪ヘラケツリ クロロ左方向	素 $\phi 2\text{mm}$ 以下の白色骨少 量	堅 硬	外・内 灰色N6/0 灰白色N7/0	
須磨器 壺	B 1003 第 178回	残存高 1.5cm	B地区 K14 N Y 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部外面凹輪ヘラケツリ 2/2 他は回転ナゲ	素	不 良	外・断・内 灰白色10Y8/1	
須磨器 壺	B 1004 第 178回	(底) 口径 16.8cm 残存高 21.95cm	B地区 K14 H G 第Ⅲ層直上	マキアグ・ミズビキ 底部外面凹輪ヘラケツリ 2/2 ロクロ右方向	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の白色骨	堅 硬	外 灰色N8/0 内 灰白色N8/0	
須磨器 壺	B 1005 第 178回	残存高 1.8cm 底径 8.7cm	B地区 K14 T Q 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部内面中央ナゲ 他は回転ナゲ、ロクロ右方向	素 $\phi 2\text{mm}$ 以下の白色骨	堅 硬	外 灰色N8/0 内 灰白色N8/0 内 灰白色N8/0	底部内面 自然輪
須磨器 杵身	B 1006 第 178回	(底) 口径 18.0cm 残存高 7.25cm (底) 底径 11.4cm	B地区 K14 T P 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 内外面とも回転ナゲ	素 $\phi 1\text{mm}$ 以下の白色骨少 量	堅 硬	外・断・内 灰白色N7/0	
須磨器 壺	B 1007 第 179回	残存高 1.8cm 底径 4.2cm	B地区 K13 O T 第Ⅲ~Ⅳ層	高台内側無地	素	良 好	外 黄褐色 灰白色7.5Y8/2 青褐色 黄褐色5.5Y8/4 断 灰白色7.5Y8/2 内 灰白色10Y8/1	
須磨器 壺	B 1008 第 179回	残存高 4.3cm 底径 13.0cm	B地区 K14 P C 第Ⅲ層	マキアグ・ミズビキ 底部外面凹輪ヘラケツリ 底部外面ナゲ	素 $\phi 3\text{mm}$ 以下の底・灰色 骨 黑色鉱物粒	堅 硬	外 灰色N6/0 内 灰白色N8/0 内 灰白色N5/0 内 灰白色N7/0	外部全体 自然輪

種類	遺物番号	法量(♂)	出土地点	技法	胎土	焼成	色調	備考
土器器 河差	B1010 第 178回	(推) 口径 底面高 37.6cm 8.8cm	B地区 K14D 第III層	口縁部外側へ調節ヨコナダ 基部内側	やや密 基部内 壁以下の白・ 黒色粒	良 好	深白色10Y7/1 淡褐色10Y8/1 灰白色5Y7/1	調下部一体部 外側埋付器 剥離やすい
須恵器 瓦蓋	B1011 第 178回	(推) 口徑 底面高 14.0cm 8.0cm	B地区 K14D 第III層	マキアゲ、ミズビキ 内外面とも目皿ナダ	素色 素色 物質较少 量	良 好	外・内 灰白色10Y7/1	
土器器 河差	B1012 第 178回	底面高 1.8cm 底径 6.6cm	B地区 K14D 第III層	内外面とも封緘のため調整不 明	素 素 物質较少 量	良 好	外・内 灰白色5Y8/1 淡褐色5Y7R4/4 灰白色3.5Y8/3	封緘やすい
土器器 梱	B1013 第 178回	底面高 4.5cm	B地区 K14G 第III層	内面部外側封緘のため調整 不 明 口縁部外側ヨコナダ	素 素 素 物質较少 量	良 好	外・内 灰黄色2.5Y7/3 淡褐色2.5Y7R7/6	剥離している
瓦器 小皿	B1014 第 177回	(推) 口径 底面高 8.4cm 2.4cm	B地区 K13T V 第IV層上	口縁部内外面ヨコナダ 底部外側封緘後ナダ、見込み み平行線略文(本数不明)	素	良 好	外 内 黑色N4/0 灰白色10Y8/1 灰白色10Y4/1	細い暗文
土器器 小皿	B1016 第 176回	(推) 口径 底面高 9.6cm 1.7cm	B地区 K14G 第III層	口縁部内外面ヨコナダ 底部外側封緘後ナダ 内外面調整不 明	素 素 素 物質较少 量	良 好	外・内 灰白色5Y8/1 淡褐色2.5Y7/4	磨耗やすい
須恵器 瓦蓋	B1017 第 175回	底面高 1.4cm	B地区 K14G 第III層	マキアゲ、ミズビキ、天井部 内側中央凹部ナダ、一定方向 のナダ、つまみは凸軸ナダ	素 素 素 物質较少 量	良 好	外・内 灰白色N7/0	
須恵器 瓦蓋	B1018 第 177回	底面高 1.6cm	B地区 K14G 第IV層上	マキアゲ、ミズビキ、天井部 内側中央凹部ナダ一定方向 のナダ、つまみは凸軸ナダ	素 素 素 物質较少 量	良 好	外 内 黑色N6/1 灰白色6.0 灰白色10Y6/1	
須恵器 瓦身	B1019 回収 133 第 176回	(推) 口径 底面高 13.0cm 3.9cm (推) 底径 9.0cm	B地区 K13T V 第I-II層	マキアゲ、ミズビキ 天井部外側封緘後ナダ 一定方向のナダ、つまみは凸軸ナダ	素 素 素 物質较少 量	良 好	外 内 黑色N7/0	外表面自然釉
須恵器 瓦	B1021 第39回	底面高 2.1cm	B地区 B56-O-R	マキアゲ、ミズビキ 天井部外側封緘後ナダ 一定方向のナダ、天井部内側一定方 向のナダ	素 素 素 物質较少 量	良 好	外 内 灰褐色N3/0 灰白色10Y8/1 灰白色N4/0	
須恵器 瓦身	B1022 第39回	底面高 5.5cm	B地区 B56-O-R	体部内側調整タタキ(3本 /cm) 体部内側ナダ	素	中 不 良	外 内 灰色N4/0 オリーブ灰色 2.5GY6/2 内 灰色N5/0	
須恵器 瓦身	C 4 回収 122 第75回	口径 底面高 12.0cm 4.8cm 多径 13.9cm 底径 9.8cm	C地区 K13W R 土器群	外縁口縁部及内側 3/4回転ナ ダ、外側底部封緘へラケトリ クロロ右方向	素 1mm以下の白 色砂粒を含む	良 好	外 内 黑色N6/0 黑色N6/0 黑色N6/0	
須恵器 瓦身	C 5 回収 123 第75回	口径 底面高 11.6cm 5.2cm	C地区 K13W T C77-O-X 土器群	外縁口縁部及び内側 3/4回転 ナダ、外側底部封緘へラケトリ クロロ右方向	素	良 好	外 内 青灰色5B6/1 黑色S5-C 青灰色5B6/1	底部外側に へらき跡あり
須恵器 瓦身	C 6 回収 122 第75回	口径 底面高 12.6cm 5.1cm	C地区 K13W R 土器群	外縁口縁部～内側 3/4回転ナ ダ、外側底部封緘へラケトリ クロロ左方向	素	不 良	外 内 底白色2.5Y8/1 底白色2.5Y8/1 内 底白色2.5Y8/1	
須恵器 瓦	C 7 回収 121 第75回	口径 底面高 14.2cm 5.1cm	C地区 K13W R 土器群	天井部外側封緘へラケトリ 2、天井部内側一定方向のナ ダ、クロロ左方向	素	良 好	外 内 黑色N6/0 黑色N6/0 黑色N6/0	完形品
須恵器 瓦	C 8 第74回	口径(復元) 底面高 19.4cm 21.4cm	C地区 K13-VR C145-O-X	外縁口縁部へラケトリ直のあ たより凹ナダ、外側底部平行タ タキ、内面同心円タタキ	素 1mm以下の白 色砂粒を含む	良 好	外 内 底白色N7/0 底白色N7/0 底白色N6/0 黑色S5-C 5GY3-1	
須恵器 瓦	C 9 回収 125 第76回	口径(復元) 底面高 16.4cm 21.4cm	C地区 K13W R C149-O-X 土器群	口縁部封緘ナダ、一部平行タ タキの凹凸ナダ 外側底部平行タタキのみ凹凸 カッキ、外側底部平行タタキ	素 1mm以下の白 色砂粒を含む	不 良	外 内 底白色10Y8/1 底白色10Y8/1 内 底白色10Y8/1	
須恵器 瓦身	C 12 回収 121 第75回	口径 底面高 13.4cm 4cm	C地区 K13W R 土器群	マキアゲ、ミズビキ 天井部外側カタ目調 整他は無ナダ	5mm位の硬 小石及び1- 2mm位の白 色砂粒を含む	良 好	外 内 黑色N4/0 黑色N4/0 黑色N4/0 内 黑色N5/5	
須恵器 瓦身	C 13 第75回	口径 底面高 11.0cm 4.9cm 多径 11.9cm 底径 10.3cm	C地区 K13W S C77-O-X 土器群	外縁口縁部～ 内側 3/4回転ナダ 外側底部封緘ヘラケトリ クロロ右方向	素 1.5mm以下の 白色砂粒を含む	良 好	外 内 黑色N5/0 黑色N5/0 黑色N5/0	
須恵器 瓦身	C 14 回収 121 第75回	口径 底面高 12.2cm 4.9cm	C地区 K13W R 土器群	内面口縁部封緘ナダ1/2 外側底部封緘ヘラケトリ クロロ右方向	1.5mm以下の 白色砂粒を含む	良 好	外 内 黑色N6/0 黑色N6/0 黑色N7/0	
須恵器 瓦身	C 15 第75回	口径 底面高 13.1cm 4.6cm	C地区 K13W R 土器群	内面口縁部封緘ナダ 外側底部封緘ヘラケトリ クロロ右方向	0.5mm以下の 砂粒を含む	生燒	外 内 底白色5Y7/1 底白色2.5Y8/1 内 底白色2.5Y8/1	

種類	遺物番号	法 異 (cm)	出 土 地 点	技 法	新 土	発 成	色 調	備 考
直巻器 舟形	C16 四版 121 第75回	口径 底高 5.0cm 5.0cm	C地区 K13W R 土器群	内外面口縁部同軸ナダ 外側底部凹部へラケズリ 内側底部一定方向のナダ ロクロ左方向	1.5mm以下の 白色砂粒を含む	普通	外 灰白色N4/0 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0	
直巻器 筒形	C17 四版 122 第76回	口径 底高 25cm 47.8cm	C地区 K13W T C77-O X 舟の壺 土器群	外面口縁部凹部ナダ、平行ナ ダのちスリグレシナダ 外側底部平行ナタキ 内側同心円ナタキ	底 1.0mm以下の 白色砂粒を含む	良 好	内 灰白色N7/0 外 灰白色N7/0 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C19 四版 123 第76回	口径 底高 14.0cm 5.0cm	C地区 K13W T 土器群	舟先部外面凹部へラケズリ 外側口縁部・内面・内面凹部ナダ ロクロ右方向	底 1.0mm以下の 白色砂粒を含む	良 好	内 青灰色10B C6/0 外 灰白色N6/0 灰白色N6/0	
直巻器 舟形	C21 四版 123 第75回	口径 底高 12.8cm 4.9cm	C地区 K13W R 土器群	底外部外側部へラケズリ 外側口縁部・内面・内面凹部ナダ 内面同心円ナタキ	底	不 良	外 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C23 四版 124 第75回	口径 底高 12.4cm 5.55cm	C地区 K13W R 土器群	マキアゲ・ミズビキ 外側口縁部・内面凹部ナダ 底部底部へラケズリ	砂粒を多く含む	生焼け	外 灰白色N6/0 内 灰白色7.5Y8/1 灰白色7.5Y8/1	
直巻器 舟形	C25 四版 122 第75回	口径 底高 12.0cm 11.9cm	C地区 K13W R 土器群	外側底部へラコシ形状調整 外側底部凹部へラケズリ ロクロ左方向	底	良 好	外 灰白色N6/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C29 四版 122 第75回	口径 底高 15.2cm 6.0cm	C地区 K13W R 土器群	外側底部凹部へラケズリ 内面・外側底部ナタキのち ロクロ左方向	底	良 好	外 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C30 四版 121 第75回	口径 底高 15.2cm 5.4cm	C地区 K13W R 土器群	天井部外縁 1/2回転へラケズリ ナタキ。他は凹部ナダ ロクロ左方向	底	普通	外 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C34 四版 122 第75回	口径 底高 11.7cm 5.35cm	C地区 K13W T 土器群	外側底部凹部へラケズリ 内面・外側底部ナタキのち ロクロ左方向	底 1~2mm 以下の白色砂粒 を含む	良 好	外 青灰色7.5 YR 6/1 灰白色7.5 R6/1 内 灰白色2.5 YR 5/1	表面外面に 鉛体付着
直巻器 舟形	C35 四版 121 第75回	口径 底高 14.9cm 5.4cm	C地区 K13W R C13S-O X 土器群	天井部外縁 3/3回転へラケズリ ナタキ。天井部内縁 1/2回転ナ ダのナタキ。他は凹部ナダ	底	普通	外 灰白色10Y 7/0 灰白色7.5 Y7/1 内 灰白色2.5 Y7/1	
直巻器 舟形	C36 四版 122 第76回	口径 底高 12.6cm 4.4cm	C地区 K13V R C13S-O X のF 土器群	天井部外縁 1/2回転へラケズリ 他は凹部ナダ ロクロ左方向	底 0.5mm以下の 白色砂粒を含む	良 好	外 灰白色N5/0 内 灰白色N5/0 灰白色N5/0	完形品
直巻器 舟形	C37 四版 123 第76回	口径 底高 11.6cm 5.45cm	C地区 K13V R C13S-O X のF 土器群	外側底部 2/3回転へラケズリ 内面中央部上げナタキ ロクロ左方向	底 0.8mm以 下の白色砂粒 を含む	普通	外 明オーライ・灰色 2.5GY7/1 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0	
直巻器 舟形	C38 四版 121 第75回	口径 底高 12.0cm 4.3cm	C地区 K13W R 土器群	外側底部 2/3回転へラケズリ 内面中央部上げナタキ ロクロ左方向	底 2.0mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 灰白色N5/0 内 灰白色7.5 R6/1 灰白色7.5 R5/1	
直巻器 舟形	C39 四版 125 第76回	口径 底高 20.0cm 31.0cm	C地区 K13W R C13S-O X 土器群	外側口縁部横状文 立体平行ナタキのもの 簡單な凹凸ナタキ 外側底部平行ナタキ	底	良 好	外 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0 灰白色N6/0	
直巻器 舟形	C40 四版 123 第74回	口径 底高 22.6cm 42.7cm	C地区 K13W R C134-O X 土器群	外側口縁部凹部ナダ 内面底部凹部ナタキ 外側底部横状ナタキ	底	良 好	外 青灰色5 P 8/1 灰白色N7/1 内 灰白色N7/1	全体にゆがみ きずありの 為傷が各所 で見られる
直巻器 舟形	C42 四版 123 第69回	口径 底高 13.6cm 3.5cm	C地区 K13W S C78-O X 舟の壺 土器群	外側底部凹部へラケズリ 他は凹部ナタキ ロクロ左方向	底	普通	外 灰白色N7/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	部分的に大き く歪んでいる その部分に他の 鉛体付着 完形品
直巻器 舟形	C43 四版 122 第75回	口径 底高 8.0cm 6.5cm	C地区 K13W R C139-O X 土器群	外側底部凹部へラケズリ 他は凹部ナタキ ロクロ右方向	底 2.0mm以下の 白色砂粒を数 見	普通	外 灰白色10Y 7/1 灰白色N7/0 内 灰白色N6/0	
直巻器 舟形	C45 四版 123 第70回	口径 底高 23.0cm 46.7cm	C地区 K13W R C147-O X のO 土器群	外側底部舟子タタキ 内面・同心内文。底部に かかっていねにスリッシュ	底 (土)	良 好	外 灰白色N5/0 内 灰白色N5/0 灰白色N6/0	
直巻器 舟形	C49 四版 121 第75回	口径 底高 13.6cm 4.8cm	C地区 K13W R C147-O X 土器群	外側天井部 2/3回転へラケズリ 内面天井部 1/6仕上げナ タキ、他は凹部ナダ。ロクロ左 方向	底 2.0mm以下 の白色砂粒を多 量に含む	不 良 生焼け	外 灰白色7.5 Y8/1 灰白色7.5 Y8/1 内 灰白色7.5 Y8/1	
直巻器 舟形	C50 四版 122 第74回	口径 底高 47.4cm 18.6cm	C地区 K13V R C144-O X 土器群	マキアゲ・ミズビキ 外側口縁部凹部ナタキのもの 横彫り状文 他は凹部ナタキ	底 1.0mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 灰白色N5/0 内 灰白色N7/0 灰白色N7/0	

種類	遺物番号	直 径 (cm)	出 土 地 点	性 质	胎 土	発 成	色 調	備 考
須磨器 斧身	C55 国版 121 第75回	口径 基高 4.8cm 3.0cm	C地区 K13W R C147-O X 土器群 小串村五 土器群	外表面部 2/3回転ヘラケズリ 内面 ≈ 1/4一定方向のナ ダ、ロクロ左方向	透 3.0mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 透 内 青灰色5 B 4/1 暗紫灰色5 R 4/1 青灰色5 B 6/1	
須磨器 斧身	C57 国版 121 第75回	口径 基高 12.2cm 5.0cm	C地区 K13W R 土器群	外表面部 2/3回転ヘラケズリ 内面 ≈ 1/10一定方向のナ ダ、他は回転ナダ、ロクロ左 方向	透 3.0mm以 下の白 黒色砂粒 を含む	不 良 生焼け	外 内 黑色5 Y 5/1 灰白色5 Y 8/1 灰白色5 Y 8/1	
須磨器 要	C58 国版 125 第74回	口径 基高 23.1cm 50.5cm	C地区 K13W R C147-O X 土器群	口縁部分は回転ナダ 内面全体に同心円文タッキ 内面全体に同心円文タッキ 外表面部に同心円文タッキ のもの混在	陶 黏土	良 好	外 内 浅白色N 8/0 灰白色N 7/0 灰白色N 8/0	焼け面み苦し い
須磨器 無刃高伴	C59 国版 122 第73回	口径 (復元) 基高 (復元) (復元) 31.5cm 15.0cm 15.0cm	C地区 K13W R C147-O X 土器群	回転ヘラケズリ 外表面部にカスレ及び擦損状 況 ロクロ右方向	透 2.0mm以 下の白 色砂粒 を含む	良 好	外 内 透N 4/0 透N 4/0 透N 6/0	
須磨器 要	C62 国版 124 第69回	口径 基高 22.2cm 41.9cm	C地区 K13W R C147-O X 土器群	外表面部分は回転ナダ 内面全体に同心円文タッキ 外表面部に同心円文タッキ のもの混在	透 3.0mm以 下の白 黒色砂粒 を含む	良 好	外 内 青灰色10 B G 5/1 暗灰褐色10 B G 5/1 青灰色10 B G 5/1	
須磨器 要	C63 国版 124 第74回	口径 基高 30.0cm 31.0cm	C地区 K13W R 土器群	口縁部分は回転ナダ 内面全体に同心円文タッキ 外表面部に同心円文タッキ	透 3.0mm以 下の白・ 黒色の砂 粒を多く含む	不 良 生焼け	外 内 浅白色5 Y 8/1 灰白色5 Y 7/1 灰白色5 Y 8/1	
須磨器 無刃	C65 国版 124 第69回	口径 基高 9.5cm 4.6cm	C地区 K13W R C147-O X 北側	外表面部 2/3回転ヘラケズリ 他は回転ナダ ロクロ右方向	透 7.0mmの 白色砂粒の混 ざり混在する の砂粒を含む	良 好	外 内 青灰色5 B G 4/1 暗灰褐色5 H 5/1 青灰色5 B 5/1	
須磨器 口口審	C66 国版 137 第 117回	口径 基高 21.0cm 19.6cm	C地区 K14W R C667-O W	外表面部回転ヘラケズリ 内面全体に同心円文タッキ 内面底部不整方向のナダ	透 2.0mm以 下の白・灰黑 色の砂粒を含	良 好	外 内 灰白色N 7/0 明オリーブ色 5 C Y 7/1	
須磨器 口口審	C67 国版 125 第76回	口径 基高 32.1cm 24.6cm	C地区 K13W R (771回)一 般 器皿部分 土器群	外表面部分回転ヘラケズリ 内面全体に同心円文タッキ 内面底部不整方向のナダ	透 3.0mm以 下の白・灰黑 色の砂粒を多 く含む	不 良 生焼け	外 内 深黄色2.5 Y 8/3 深黄色2.5 Y 8/3 深黄色2.5 Y 8/3	
須磨器 縦	C68 国版 122 第75回	口径 基高 12.6cm 10.6cm	C地区 K13W S (復元) (復元) 青灰色 粘土	口縁部分外輪廻形状 性質外表面に日食感 度調査未調査	透 1.0mm以 下の白 色砂粒を多 く含む	良 好	外 内 浅白色N 7/0 灰白色N 7/0 深灰色N 6/0	
須磨器 横形	C69 国版 122 第75回	口径 基高 12.7cm 19.9cm	C地区 K13W S (復元) 粘土	外表面回輪廻形状文 内面の刃角付に円孔未貫通成 あり	透 1.0mm以 下の白 色砂粒を多 く含む	良 好	外 内 青灰色5 P B 5/1 灰白色5 E 6/0 深灰色N 6/0 明オリーブ色 2.5G Y 4/1	完製品
須磨器 火 丈	C70 国版 124 第69回	口径 (復元) 基高 10.5cm 8.6cm	C地区 K13T R C77-O X	口縫口縫低吹抜文及び回転ナ ダ、外表面全体の格子タッキ 内面全体にタッキを粗く ソスしてある	透 2.0mm以 下の白 色砂粒を多 く含む	良 好	外 内 浅黄色4.0 暗灰褐色5 P 5/1 灰白色N 5/0	墨み極めて大
須磨器 要	C75 国版 123 第78回	口径 (復元) 基高 高6.6cm 鋼部動火径 6.6cm	C地区 K13W R C138-O X	外表面部回転ナダ後削状文 を施している。外表面部回転ナ ダの格子タッキ後粗くナダ ロクロ右方向	透 4.0mm以 下の白・ 黒・灰黒色 砂粒を多く含む	中 中 不 良	外 内 青灰色5 R 5/1 にぶい黄褐色 IDY R 7/2 にぶい黄褐色 10 Y 7/2 内 灰白色2.5 Y 6/2	
須磨器 大 丈	C76 国版 124 第72回	口径 基高 49.5cm 102.0cm	C地区 K13X S C151-O X 土器群	外表面部近縁方向の格子(?) タッキ後粗く状工具によ る格子間隔を大きく4回に 繰り替えてある。外表面部 縁方向の格子タッキ	透 3.0mm以 下の白 色砂粒を多 く含む	良 好	外 内 青灰色5 B 5/1 暗灰褐色5 P 6/1 灰白色N 6/0	
須磨器 杵	C77 国版 126 第55回	口径 基高 11.9cm 3.6cm	C地区 K13C B C150-O R 河川	天井部外輪廻形1/3未調査 他は回転ナダ ロクロ右方向	透 0.5~1 mm以 下の黒色 砂粒を多量 に含む。クラ ークが認めら れる	不 良	外 内 浅白色N 8/1 灰白色N 8/1	完製品
土器等 裏	C80 国版 106 第54回	残存高 6.9cm	C地区 K13V R C666-O S	剥離・磨耗著しい為調査不可	透 3.0mm以 下の白 色砂粒を多量 に含む。2.0mm 以上の白色砂 粒を含む。	良 好	外 内 青灰色2.5 V 6/1 黄灰色2.5 G 6/1	
土器等 土器	C81 国版 102 第53回	口径 基高 3.2cm 2.95cm 3.05cm	C地区 K13V S C666-O S	外表面微かえ 内面底面に跡の跡らしき物 全体的に剥耗	透 2.0mm以 下の赤 灰白・ 黑色砂 粒を含む。ク ラーケが認め られる	良 好	外 内 赤褐色7.5 Y R 7/3 赤褐色7.5 Y R 7/3	

種類	遺物番号	法量 (cm)	出土地点	特徴	胎土	焼成	色調	備考
陶生土器 甕	C82 回版 102 第31回	口径 (復元) 18.4cm 底径 9.0cm 残存高 7.3cm	C地区 K13 V T 表面層以上 黒色胎土	側面著しい 鉢底部付近削おさえ後テシ 状工具で縦方向にナタでいる 跡を有する。	S mm以下の白 色砂粒を多量 に含む。クサ ビ繊維多く認め られる。	良 砂	外 に点々褐色 7.5Y R7/6 内 底黄色2.5Y R7/2 灰黄色2.5Y R7/2	
陶生土器 甕	C85 回版 102 第31回	口径 (復元) 14.5cm 底径 (復元) 9.0cm	C地区 K13 V T 上部群	外表面底部付近削おさえ後テシ 状工具で縦方向にナタでいる 跡を有する。	4 mm以下の灰 色・灰・白色 砂粒を多く含む	良 砂	外 暗反色N3/0 に点々褐色色0R6/4 内 底黄色2.5Y R7/3 灰黄色2.5Y R7/1	
陶生土器 甕	C86 回版 102 第31回	口径 (復元) 10.2cm 底径 9.0cm 残存高 10.2cm	C地区 K13 V S	口縁部分近ヨコナ 側面著しく調整不明	極めて粗、3 ~5mmの大粒の 白色砂粒及び5.0 mmの大粒の白色砂粒 を極めて多く含む	良 砂	外 底黄色10Y R6/2 底黄色10Y R5/2 内 底黄色10Y R5/2	
土器 甕	C87 回版 102 第31回	口径 7.2cm 底径 7.2cm 残存高 7.2cm	C地区 K13 V S	外表面底部付近削おさえ 側面著しい	極めて粗、2 ~3mmの大粒の 白色砂粒及び0.5mm 以下の白色砂粒 を含む。	良 砂	外 に点々褐色 2.5Y R6/4 内 に点々褐色色10Y R7/2 灰黄色10Y R5/2	
陶生土器 甕	C88 回版 102 第31回	口径 25.8cm 底径 11.8cm 残存高 11.8cm	C地区 K13 V S	外表面部に5条の浅縫 側面著しく調整不明	4 mm以下の白 色・灰・白色砂粒を多く含む	良 砂	外 に点々褐色 2.5Y R6/4 内 に点々褐色色 2.5Y R6/4 内 底黄色2.5Y R7/2	
須恵器 杯身	C90 第56回	口径 10.6cm 基高 3.4cm	C地区 K14 U B C130 - OR	外表面部 1/3へ切り口調整 内部 1/3削除ヨコナ 後斜上げナタ、クロロ左方向	普通 3 mm以 上の白色砂粒及 び6.0mm以上の 黒色砂粒を含む	良 砂	外 底色N4/0 底色N4/0 内 底色N4/0	
須恵器 杯身	C91 回版 196 第55回	口径 12.1cm 基高 3.5cm	C地区 K14 U B C130 - OR	天井部外縁 2/3へ切り口調整 天井部内部 2/3仕上げナ タ。底は凹凸ナタ	普通 2 mm以 上の白色砂粒及 び半透明の砂粒 を含む	良 砂	外 底色N6/0 底色10Y 5/1 内 底色N6/0	
須恵器 瓶身	C93 回版 125 第56回	口径 7.6cm 基高 21.3cm	C地区 K13 U T 青色釉層V 層	口縁部分近ナタ及び吹練2本 外表面削き口付 内面ナタ	1~3 mmの白 石の粒を少量 含む	良 砂	外 底色N6/0 底色N6/0 内 底色N6/0	
須恵器 瓶身	C94 回版 129 第76回	口径 8.2cm 基高 25.5cm	C地区 K13 W R 土器群	マチナゲ・ミズビキ 両面全体にカナ貝	下 1.0mm以 上の白色砂粒 及び黒色砂粒 を含む	良 砂	外 底色7.5Y 6/1 内 底色7.5Y 6/1	完形品
須恵器 蓋	C95 回版 138 第82回	口径 17.8cm 基高 2.5cm	C地区 K14 Y F 第4 d 層	外表面部 1/2回転ナタ 内表面部 3/4回転ナタ後不 定方向のナ タロコ右方向	密	良 砂	外 淡白色N8/0 内 淡色10Y 6/1	
須恵器 杯身	C97 回版 195 第55回	口径 10.8cm 基高 3.2cm	C地区 K14 U B C130 - OR	外表面部 1/2回転ヘラナ タ多少凹凸天井部 1/3仕上 ナタ。底は凹凸ナタ	普通 2~3 mmの白 色・白・白色砂 粒多数含む	良 普通	外 密閉色1P R5/1 内 1.5R 6/0 内 明青色5 BT7/1	完形品
須恵器 杯身	C98 回版 126 第55回	口径 10.6cm 基高 3.9cm	C地区 K14 U B C130 - OR	外表面天井部 1/2回転ヘラナ タ。底は凹凸ナタ ケタロコ右方向	普通 3 mm以 上の白色砂粒及 び半透明の砂 粒を含む	不 良	外 淡白色10Y 8/1 内 淡色10Y 8/1 内 淡色10Y 8/1	
須恵器 皿	C101 回版 129 第56回	口径 19.8cm 基高 8.8cm	C地区 K14 W T C129 - OR	孔の開口を回取り 鉢底部削り具で削えている ロコ右方向	5 mm以下の白 色砂粒を多く含む	良 砂	外 淡色10Y 6/1 内 淡色10Y 5/1 内 淡色10Y 6/1	
須恵器 皿	C104 回版 129 第56回	口径 9.7cm 基高 12.6cm	C地区 K13 X Y C130 - OR	マチナゲ・ミズビキ 内面吹練及び外表面全体に低 度の砂粒の跡が自然顔に よって残る	小さな気泡 2~3 mmの白 色砂粒を含む	良 砂	外 淡色N5/0 内 淡色N6/0 内 淡色N5/0	
須恵器 甕	C106 第78回	口径 36.7cm 基高 35.5cm 基高 36.2cm	C地区 K13 V R C130 - OX	外表面部~底部削り 鉢底部の棒子ナタ ロコ右方向	5 mmの大 粒の白色砂粒を少 量含む。以下 の白色砂粒 ・黒い粘土粒 を多量に含む	密	外 青色N5 8 R5/1 内 密青色10B G7/1	
須恵器 甕	C106 第101回 第10回	口径 17.8cm 基高 2.8cm つまみ 2.7cm 基高 7 cm	C地区 K14 U J C438 - O P	内面天井部 1/2回転ナタの後 不定方向のヘラナタ、外面天 井部 3/4回転ヘラナタの後 回転ナタ。ロコ右方向	2~3 mmの 白色砂粒及 び2~3 mmの 白色小石粒 を含む	良 砂	外 底色N7/0 内 底色N5/0 内 底色N6/0	
須恵器 杯身	C109 回版 134 第99回	高台径 9.3cm 残存高 2.3cm	C地区 K14 S J C471 - O P	マチナゲ・ミズビキ 内面吹練回転ナタの後一定方 向のナタ。全体的に回転ナタ	黑色粘土 を含む	良 砂	外 底色N6/0 内 淡白色N8/0 内 淡色10Y R6/1 内 淡白色N7/0	

種類	遺物番号	法長(m)	出土地点	技 法	胎 土	施 成	色 調	備考
土器部 皿	C110 国版 134 第 350回	口径(復元) 17.2cm 底高 2.3cm	C地区 K14S J C471 - O P	口縁部ヨコナフ 外面一部摩滅	密 1mm以下 の灰色砂粒を含む。 サリモニ合む。	良 好	外 外 内	赤褐色10R 6/8 褐色7.5Y R 4/3 灰白色2.5Y R 8/2
土器部 皿	C112 国版 175 第 352回	口径 9.0cm 底高 1.5cm	C地区 K14X D C133 - O S	外面底部 3/4幅押さえ後ナフ 内面 = 2/3ヨコナフ	密	良 好	外 外 内	赤褐色10R 6/8 褐色7.5Y R 4/3 灰白色2.5Y R 8/2
土器部 皿	C118 国版 175 第 359回	口径 20.6cm 底高 1.9cm	C地区 K14R J C347 - O P	口縁部凹駆ナフ 摩耗著しい	密	不 良	外 外 内	淡黃褐色10Y R 8/4 褐色7.5Y R 4/3 灰白色2.5Y R 8/2
直筒器 斧	C120 国版 134 第 350回	口径 16.0cm 底高 1.5cm	C地区 K14H J C347 - O P	マキアグ、ミズビヒ 口縁部近辺凹駆ナフ	密	良 好	外 外 内	暗青色10G 7/1 深青色10G 7/1 明青色10G 7/1
直筒器 水瓶	C121 国版 134 第 350回	残存高 2.4cm 底径(復元) 7.2cm	C地区 K14S I C326 - O P	外面底部折れ凹駆 他の凹駆ナフ クロロ右方向	密 1.5~0. 5mmの白色砂 粒を含む。	良 好	外 外 内	灰白色7.5Y 7/1 深灰褐色10Y 1/1 變化している
直筒器 水瓶	C122 国版 134 第 350回	残存高 3.0cm 底径(復元) 6.0cm	C地区 K14F I C533 - O P	内面底部凹駆ナフの後不定方 向のナフ。他の凹駆ナフ。口 クロロ右方向	密 4 ~ 0.5 mmの砂粒含む	良 好	外 外 内	灰白色N 7/0 暗褐色10G 8/1 灰白色N 7/0
土器部 皿	C123 国版 175 第 133回	口径 8.8cm 底高 1.4cm	C地区 K14W C C133 - O S 植物繊の上	内面底部スリ行看 外側底部3次大 口縁部ヨコナフ	密 5.5mmの 灰色小石及び 2~3mmの 灰色小石。1~ 2.5mmの灰色 小石を多く含む	普 通	外 外 内	灰白色2.5Y 7/2 褐色5Y 7/2 灰白色2.5Y 8/1 灰白色2.5Y R 8/2
土器部 皿	C124 国版 175 第 133回	口径(復元) 8.8cm 底高 2cm	C地区 K14W G C133 - O S	外面底部折れ凹駆 ヨコナフ凹駆ナフ	密 1mm以下 の黑色砂粒。1 ~5mmの 砂粒を含む。	普 通	外 外 内	灰黄色2.5Y 7/2 灰白色2.5Y 8/2 灰白色2.5Y R 7/3
黑色土器 陶	C125 国版 175 第 133回	残存高 1.6cm 高台径 5.6cm	C地区 K14 V C133 - O S 植物繊	内面底部略凹 外表面擦傷サニ及ヨコナフ	密 0.1mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 外 内	暗灰色N 3/0 灰白色10Y R 8/1 灰白色2.5Y 8/2 暗灰色N 3/0
瓦器部 瓦	C126 国版 175 第 133回	口径(復元) 11.6cm 底高 4.7cm 高台径 4.0cm	C地区 K14 X D C133 - O S	内面底部 口縁部ヨコナフ 外表面擦傷おさえの後ナフ	密 3.5mmの 黑色小石含む	良 好	外 外 内	灰灰灰N 3/0 黑色N 7/0 灰色N 4/0
瓦器部 瓦	C127 国版 175 第 133回	高台径 4.0cm 高台高 1cm	C地区 K14 V C C133 - O S	内面底部 高台にりつけその後ナフ調整	普通	良 好	外 外 内	浅色N 6/0 浅灰色10Y R 8/1 灰色N 8/0
瓦器部 瓦	C128 国版 175 第 133回	口径(復元) 12.5cm 底高 4.75cm 高台径 4.6cm	C地区 K14 X D C133 - O S	内面底部 底高1.7cm 口縁部ヨコナフ 不定方向ナフ。口縁部ヨコ ナフ。外表面擦傷おさえ後ナフ	密	良 好	外 外 内	浅色1.5Y 0/1 浅色7.5Y 8/2 浅白色10Y R 8/1 暗灰色N 3/0
瓦器部 瓦	C129 国版 175 第 133回	口径(復元) 12.5cm 底高 2.9cm	C地区 K143 L C133 - O S	内面底部 ヨコナフコナフ 外表面擦傷おさえ	密 0.1mm以 下の灰色砂粒 を含む	良 好	外 外 内	暗灰色N 3/0 灰白色10Y R 8/1 灰色N 4/0
瓦器部 瓦	C131 国版 175 第 133回	口径(復元) 14.8cm 底高 4.4cm	C地区 K14 V C C133 - O S	内面底部 ヨコナフコナフ 外表面擦傷おさえ	密 0.1mm以 下の灰色砂粒 を含む	良 好	外 外 内	暗灰色N 3/0 灰白色10Y R 8/1 浅灰色10Y R 8/1 口縫部 灰色N 4/0
瓦器部 瓦	C132 国版 175 第 133回	口径(復元) 15.8cm 底高 4.5cm	C地区 K14 V C C133 - O S	内面底部 底高2.5cm ヨコナフナフ 外表面擦傷おさえ	密 1~2mm の灰色小石を 含む	良 好	外 外 内	浅灰色10Y R 8/1 浅灰色10Y R 8/1 浅灰色10Y R 8/1 底高内 褐色10Y R 6/1
直筒器 甌	C135 国版 177 第 135回	口径 22.0cm 底高 4.1cm	C地区 K14 Y F C235 - O S	マキアグ、ミズビヒ 外表面凹駆ハケツ工具による ヨコナフ。内面底部削おさえ及 びハケツリ	密 2~3mm の白色小石 及2~3mm の灰色砂粒を 含む	良 好	外 外 内	暗色N 6/0 黑色N 7/0 暗色N 7/0
直筒器 甌	C136 国版 174 第 360回	口径(復元) 15.2cm 底高 3.5cm	C地区 K14 S D C261 - O S	マキアグ、ミズビヒ 口縁部凹駆ナフ。内面底部一 部自然削れ看。高台にりつけ	普通 2 ~ 4 mmの 白色小石及び 2~3mm の灰色砂粒含む	良 好	外 外 内	暗灰色N 7/0 深灰色10Y R 8/1 深灰色2.5Y 5/1 自然船 灰オーブ 7.5Y 6/2
直筒器 甌	C136 国版 177 第 135回	残存高 2.5cm 底径(復元) 18.0cm	C地区 K14 W G C234 - O S	マキアグ、ミズビヒ 外表面削れおさえ化粧が 一部にみられる。口縁部ヨコナ フ。クロロ左方向	密 3 ~ 0.5 mmの 砂粒及び 5 ~ 0.5mm の黑色砂粒含む	良 好	外 外 内	深褐色10Y R 8/1 深褐色10Y R 8/1 灰白色N 7/0
瓦器部 瓦	C137 国版 175 第 133回	口径(復元) 14.5cm	C地区 K14 W F C133 R - O 上	外表面削れおさえ化粧が 一部にみられる。口縁部ヨコナ フ。クロロ左方向	普通 0.1mm以 下の砂粒及び 5 ~ 0.5mm の黑色砂粒含む	普 通	外 外 内	灰白色2.5Y 8/1 灰白色 2.5Y 8/2 灰白色2.5Y 8/1

種類	遺物番号	法量 (cm)	出土地点	性状	胎土	焼成	色調	備考
須恵器 杯盃	C138 第1358	口径 (復元) 20.8cm 器高 3.0cm 縁幅 3.2cm 底 0.7cm	C地区 K19B-H C370-O-S	マキアゲ・ミズビキ つまみ付回転ナデ 美術部外壇中央部回転ヘラケ ズリ 天井墨名手蓋不定方向のナデ 他は黒引ナデ	胎 黒色胎物 粒を含む	良 好	外 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0	
須恵器 杯身	C139 第1359	残存高 2.0cm	C地区 K19C-D C353-O-S	マキアゲ・ミズビキ 全体的に回転ナデ、クロ右方向。 裏面に黒い淀出物有り	胎	良 好	外 黑白色2.5Y8/1 内 黑白色N8/0	
土師器 壺	C140 第1360	口径 (復元) 12.0cm 残存高 3.1cm	C地区 K19A-G C234-O-S	口縁部分追加ナデ 外側底部墨有えの後ナデ。 すす付村、内部底部墨有	胎 2mm以下 の白色砂粒 を含む	良 好	外 黑色5Y1H7/1 内 黑色5Y8/4 内 黑白色5Y6/1	
須恵器 杯盃	C141 第1361	口径 (復元) 16.0cm 底盤 40.2cm 器高 2.5cm	C地区 K19Y-G C356-O-S	マキアゲ・ミズビキ 外側天井墨・中央回転ヘラケズ リ。他は黒引ナデ 全体的に生焼け	胎 黑色胎物 粒を多く含む	不 良 燒	外 黑色N4/0 内 黑白色7.5Y8/1 内 黑白色7.5Y8/1 内 黑白色N7/1 内 黑白色N7/1	
須恵器 鋏	C142 第1362	口径 (復元) 40.2cm 器高 22.4cm	C地区 K19Y-J C361-O-S	マキアゲ・ミズビキ 全体的に回転ナデ 外側底部にかけてヘラケズリ	胎 2~3mm の灰色の小石 粒を含む	良 好	外 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0	
須恵器 壺	C143 第1363	口径 (復元) 30.0cm 残存高 14.8cm	C地区 K19A-G C354-O-S	マキアゲ・ミズビキ 口縁部分回転ナデ	胎 2~3mm の灰色の小石 粒及び白色の小 石を含む	不 良	外 黑白色10Y8/1 内 黑白色10Y8/1 内 黑白色7.5Y8/1	
須恵器 杯身	C144 第1364	口径 1.55cm 高台径 8.8cm 底盤 13.5cm	C地区 K19D C351-O-S	マキアゲ・ミズビキ 内面底部墨ナデ 高台にりつけ 外側底部墨ナデ	胎 2~4mm の白色の小石 粒、2mm以下 の白色砂粒を 含む	良 好	外 黑色N6/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0	
須恵器 杯身	C147 第1365	口径 (復元) 8.0cm 高台径 8.0cm	C地区 K19A-H C362-O-S	マキアゲ・ミズビキ 全体的に回転ナデ	胎 0.1mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 黑色N6/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0	
土師器 壺	C148 第1366	口径 (復元) 12.0cm 底盤 11.5cm 第1156	C地区 K19E K19W-K C367-O-W	須恵器の性状を残している	胎		外 黑白色5Y8/1 内 黑白色5Y8/1 内 黑白色5Y8/1、8/2	墨書き「水」
土師器 杯	C149 第1367	口径 (復元) 10.3cm 底盤 9.7cm 第1157	C地区 K19E K19W-K C367-O-W	外側底部ナデの後大きく左方 に向っている。 外側底部墨おさえの後一定方向に斜 て一定方向のナデ及び 波状痕有	胎 4mm以下 の白、明褐色 砂粒を少許含む	良 好	外 黑白色5Y8/3	墨書き「清水」
瓦器	C150 第1368	口径 (復元) 9.6cm 器高 1cm	C地区 K19Y-C C360-O-S	口縁部分コナダ 内面底部墨ナデの後ナデ 外側底部墨おさえ	胎 黑色胎物 粒を含む	良 好	外 黑色N4/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N4/0	
土師器 杯	C151 第1369	口径 19.0cm 器高 3.4cm 第1158	C地区 K19W-K C367-O-W	口縁部分コナダ 内面底部墨ナデの後ナデ 内面底部墨の輪文後、放射状 の輪文	胎 3.5mm の灰色の小石 粒含む	良 好	外 に 黒い赤褐色 5Y H 5/3 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N7/0	墨書き「上」
須恵器 杯盃	C152 第1370	口径 11.0cm 器高 3.35cm	C地区 K19U-B C380-O-R	マキアゲ・ミズビキ 内面底部墨ナデ後一定方向 のナデ、外側底部回転へらけ 後未調整	胎 2mm以下 の白色砂粒含む	良 好	外 黑色N5/0 内 黑色N6/0 内 黑色N6/0	
馬口土器 桶	C153 第1371	高台径 6.5cm 底盤 6.5cm	C地区 K19W C381-O-R	全体的に無耗失し、	胎 1mm以下 の白色砂粒 及び1.5mm 以下の褐色 砂粒含む	良 好	外 オーバーカラ20Y3/1 内 黑白色2.5Y8/3 内 黑白色N3/0	
須恵器 盃	C154 第1372	口径 10.7cm 器高 4.5cm	C地区 K19B C330-O-R 河用 堆土器群	マキアゲ・ミズビキ 天井墨外側 1/2回転ヘラケズ リ、クロ右方向	胎 0.1mm以 下の白色砂粒 及び2~3mm の白色小石を 含む	良 好	外 黑白色X6/0 内 黑白色2.5Y6/2 内 黑白色N6/0	
須恵器 壺	C155 第1373	口径 16.0cm 器高 3.4cm	C地区 K19W-K C367-O-W	口縁部分コナダ 内面底部墨コナダ後不定 方向のナデ 外側底部墨有 ロクロ右方向	胎 2.0mm以 下の白色砂粒 を含む	良 好	外 黑色10Y4/1 内 黑白色N5/2 内 黑白色5Y8/2 内 黑白色10Y5/1	
須恵器 杯身	C156 第1374	口径 12.2cm 底盤 13.5cm 器高 13.5cm	C地区 K19X-V C332-O	内面底部 1/3回転ナデの後、 不定方向のナデ 外側底部墨コナダ後ヘラケズ リ、クロ右方向	胎 0.5~1mm の黒色粒 及び2.5~3.5mm の白色粒含む	良 好	外 黑色N4/0 内 黑白色N7/0 内 黑白色N3/0	
須恵器 杯身	C158 第1375	口径 10.0cm 器高 3.0cm	C地区 K14U-B C130-O-R 堆土器群 9-611	内面底部 2/3回転ヘラケズ リ口縁部分回転ナデ一部自然 輪 ロクロ左方向	胎 0.5~1mm の黒色粒 及び2.5~3.5mm の白色粒含む	良 好	外 黑色N6/0 内 黑白色10R6/2 内 黑白色N6/0	

種類	出土番号	法量(α)	出土地点	性 法	胎 土	燒 成	色 調	備 考
須恵器 杯盤	C161 同號 132 第 117回	口径 13.7cm 盤高 3.0cm 内面直径 11.2 内面径深 8.3	C地区 K14V K C667-OW	外縁天井部凹輪ナゲ 内縁天井部 1/4回転後一定方 向のナゲ クロロ左方向	1.5mmの白 ・黒色砂粒含 む	良 好	外 底色N6/0 底色N7/0 底色N6/0	
須恵器 杯盤	C162 同號 117回	口径 14.8cm 盤高 3.1cm	C地区 K14V K C667-OW	天井部外縁中央回転ヘラケズ リ、天井部内縁 1/4回転ナゲ 後一定方向のナゲ、クロロ左 方向	密	良 好	外 近色T.5Y6/1 近色T.5Y5/1 底色T.5Y5/1	
土師器 杯盤	C163 同號 138 第 116回	残存高 8.4cm 脚部径 (復元) 12cm	C地区 K14V K C667-OW	算出外縁回転ナゲ 外縁天井部ヘラケズリ 内縁下部ハケメ	密 2mm以上 大きな白色 砂を含む	良 好	外 底色T.5Y8/4 底色T.5Y H5/6 底色T.5Y8/3 底色T.5Y8/4 底色T.5Y H5/6	
土師器 底	C164 同號 138 第 116回	口径 9.5cm 盤高 3.05cm	C地区 K14V K C667-OW	内縁底部回転ナゲ不定方向 のナゲ 内縁天井部状態の略後放射状態 で 内縁ヘラケズリ及び細孔あえ 放射ア	普通 2~4 mmの黑色小 石粒含む クサリ焼合む	良 好	外 底色T.5Y R5/2 底色T.5Y H4/3 底色T.5Y R8/2 内 底色T.5Y 底色T.5Y R4/2 底色T.5Y R8/2	
須恵器 杯身	C165 同號 128 第 96回	口径 10.55cm 盤高 4.8cm 支脚径 12.5cm 青灰色砂	C地区 K14V K C667-OW	口縁回転2焼き直輪 外縁底部 1/2回転ヘラケズリ クロロ右方向	3mm以下の白 色砂粒含む 粘物質を多 量に含む	良 好	外 底色N7/0 底色N4/0 底色N7/0	
須恵器 二子 ニフミ	C167 同號 180 第 193回	残存高 4.4cm 脚部径 5.9cm	C地区 K14V K C152-O-S	外縁口縁ヨコナゲ 外縁底部手押ヘラケズリ 内縁底部削りあえ	2.0mm以下の白 色砂粒含む 粘物質を多 量に含む	堅 硬	外 底色N7/0 底色N5/0 底色N8/0	
白磁	C168 同號 182 第 182回	口径 (復元) 13.8cm 残存高 3.35cm	C地区 K19H K 第三回 暫下	カンチケズリ 貫入 ビンホールあり	1mm以下の黑 色砂粒あり	良 好	外 底色T.5Y8/2 底色T.5Y9/0 底色T.5Y8/2	
青磁碗	C169 同號 180 第 182回	口径 (復元) 13.8cm 残存高 4.2cm	C地区 K14V K 第二回 暫下	全体的に施釉	密	良 好	外 底色T.5G6/1 底色T.5G6/1 底色N8/0	
青磁碗	C170 同號 180 第 180回	残存高 2.6cm 高台径 4.5cm 高台高 0.9cm	C地区 K19B B 第二回 暫下	全体的に施釉 高台～底部にかけて露胎	密 3mmの黑 色砂粒含む	良 好	外 オリー/底色T.5Y5/2 底色T.5Y7/2 底色T.5G6/1	
須恵器 杯身	C171 同號 154 第 101回	口径 11.2cm 盤高 2.25cm 内縁 10.1cm	C地区 K14V K C42-Z-O-P	外縁天井部ヘラケズリ 内縁天井部凹輪ナゲ 一定方向ナゲ、口縁部に重ね 焼き直輪	密 黑色砂 粒含む	良 好	外 底色T.5Y7/0 底色T.5Y7/0 内 明青灰5 B7/1	
須恵器 杯盤	C173 同號 137 第 117回	口径 10.9cm 盤高 2.3cm	C地区 K14V K C667-OW	マキアグ・ミズビキ 全体に回転ナゲ 1/4一定方向のナ ゲ	密 1.5mm大 きの黑色砂粒	良 好	外 底色T.5Y7/1 底色T.5Y7/1	
韓式壺 上部 手枕杯	C174 同號 129 第 56回	口径 (復元) 12.6cm 残存高 3.3cm	C地区 K13XX C132-OR	外縁各部施タキ	1mm以下の白 い砂粒あり	良 好	外 底黄褐色T.5Y R7/6 底黄褐色T.5Y R4/2 底色T.5Y R6/6 内 底黄褐色T.5Y R8/1 底色T.5Y R6/6 内 底黄褐色T.5Y R7/6 底黄褐色T.5Y R4/2	
瓦器 把手	C178 同號 126 第 56回		C地区 K15V X C132-OR 板砂	外縁工具を用いたヨコナゲ 内外面ともカーボンふく残る	1mm以下の白 色無色の砂 粒を含む、黑 色の軟物質を 含む	良 好	外 底色N4/0 底色T.5Y8/1 底色N4/0	
瓦器 把手	C179 第 36回		C地区 K18A T C132-OR	マキアグ・ミズビキ	密 1mm以下 の白色砂粒を 少量含む	良 好	外 底色N5/0 底色T.5Y8/1 底色N5/0	
須恵器 杯身	C182 同號 142 第 118回	口径 13.4cm 盤高 3.8cm	C地区 K14V K C667-O-X	マキアグ・ミズビキ 全体に回転ナゲ クロロ右方向	密 1mm以下 の白色砂粒を 含む	普通	外 底色T.5Y5/1 底色T.5Y8/0	
土師器 杯	C183 同號 136 第 182回	口径 (底) 1.4cm 高台径 6.1cm	C地区 K13V W 第三回 暫下	高台天井部 1/2回転ヘラケズ リ及び内縁天井部 1/3回転ナゲの後一左方向のナ ゲ、クロロ左方向	粗 2mm以下 の白色砂粒 及び小石粒 含む	不 良	外 底色T.5Y R6/6 底色T.5Y R6/4 内 底色T.5Y R7/4 内 底色T.5Y R3/3	
須恵器 杯盤	C187 同號 177 第 131回		C地区 K13V S C132-OR	マキアグ・ミズビキ	密 2mm以下 の白色砂粒 及び白色 砂粒含む	良 好	外 底色N5/0 底色N7/0 底色N7/0	
須恵器 杯盤	C188 同號 136 第 56回	口径 (復元) 14.8cm 盤高 6.4cm	C地区 K13V T C132-OR	外縁天井部 1/2回転ヘラケズ リ及び内縁天井部 1/3回転ナゲの後一左方向のナ ゲ、クロロ左方向	密 2mm以下 の白色砂粒 及び白色 砂粒含む	良 好		

種類	遺物番号	法葉 (cm)	出土地点	技法	胎土	焼成	色調	備考
須恵器 壺	C189 国版 128 第56回	口径 7.4cm 高さ 12.1cm	C地区 K13U U C13U-O R 上部	外面底部凹へラケヅリ 内面底部 1/6掉によるたき は白軽ナヂ。ロクロ右方向	胎 1mm以下 の白色の砂粒 及び 1~2mm の白色小石多 く含む	良 好	外 底色N6/0 内 底色N7/0 内 底色N6/0	
須恵器 壺	C190 国版 127 第57回	口径 (復元) 30.2cm 基高 26.6cm 斜面最大径 33.1cm	C地区 K13X V C13Z-O R	外面底部カキ目調製及び腹方 向の平行タキ 外側底部内側の平行タキ 内側底部内側タキ ロクロ右方向	胎 2mm以下 の白・赤褐色 の砂粒を含む クリア感認め られる	不 良	底 底色2.5Y8/2	
須恵器 杯身	C192 国版 134 第58回	口径 15.8cm 4.7cm 高台径 9.5cm	C地区 K13W I C25I-O S	マキアゲ・ミズビキ 外側底部内側タキの後ナヂ は白軽ナヂ	胎 2mm以下 の白色の砂粒及 び 3mmの白色 の砂粒を含む	良 好	外 底色N5/0 内 濃灰褐色10Y R5/1 内 底色N5/0	
土師器 皿	C193 国版 116回 第 116回	口径 (復元) 18.4cm 高さ 3.7cm	C地区 K13V K C687-O W	マキアゲ・ミズビキ 外側底部内側タキの後ナヂ は白軽ナヂ	胎 1~2mm の白色の小石 含む	良 好	底 淡褐色2.5Y7/3 内 濃青褐色10Y R7/6 内 淡褐色2.5Y7/3 内 淡褐色2.5Y7/3 内 濃青褐色10Y R7/6	
瓦器	C194 国版 175	口径 14.5cm 4.0cm 高台径 (復元) 10.6cm 基高 5.4cm	C地区 K13E K C13S-O S 下	マキアゲ・ミズビキ 内側底部内側タキ 外側底部内側タキの後ナヂ は白軽ナヂ	胎 色釉物 粒含む	良 好	外 暗灰色N4/0 内 淡褐色10Y R5/1 内 淡褐色N4/0	
須恵器 杯身	C195 国版 129 第56回	口径 (復元) 10.6cm 基高 5.4cm	C地区 K13W H V 6-V 箔	マキアゲ・ミズビキ 外側底部内側タキ 外側底部内側タキの後ナヂ は白軽ナヂ。ロクロ右方向	胎 1~2mm の白色の砂粒 及び白色砂粒 を含む	良 好	外 底色N6/0 内 底色N6/0 内 底色N6/0	
須恵器 ツマミ	C196 国版 158 第 162回		C地区 K14U L 基高 5cm 幅 5cm	マキアゲ・ミズビキ 自然剥付着	やや粗 胎 2mm の白色の 砂粒及び 3mmの白色小 石を含む	良 好	外 底色N7/0 内 淡褐色7.5Y R5/1 内 合成物 7.5Y R5/3	
須恵器 高杯 脚附	C197 国版 139 第 162回	残存高 9.8cm 基高 5.6cm	C地区 K13V K C687-O W (2)	外面へラケヅリ 内側底部内側タキ後ナヂ 外側底部ハゲメ1cm/4本	胎 クラリ感含む	普通	外 底色2.5Y7/3 内 淡褐色2.5Y7/3 内 淡褐色2.5Y7/3	
土師器 高杯	C198 国版 134 第 101回	残存高 2.6cm 口径 (復元) 2.6cm	C地区 K13V S J C472-O P	口縁切削タキ 外側底部へラケヅリ	2mm以下 の白色 砂粒を少し含む	普通	外 淡褐色2.5Y7/3 内 淡褐色2.5Y7/3 内 淡褐色2.5Y7/3	
須恵器 蓋台 杯	C199 国版 158 第 182回	残存高 (推) 6.6cm	C地区 K14T G 第56回	マキアゲ・ミズビキ 内面自然剥付着	胎 2mm 太の白色 砂粒を含む	良 好	外 暗オリーブ灰色 2.5G Y4/1 胎 送白色7.5Y7/1 内 オリーブ灰色 2.5G Y4/1 内 オリーブ灰色10Y4/2 胎 オリーブ灰色 7.5Y4/3	
須恵器 瓶手	C200 国版 129 第56回		C地区 K13Y C13Z-O R 瓶身	マキアゲ・ミズビキ 把手三ヶ所にヘラキをつ けている	やや粗 胎 3mm 以下の白色 砂粒及び 白色砂粒 を多く含む	やや 不良	外 オリーブ灰色 2.5G Y4/1 胎 送白色7.5Y7/1 内 オリーブ灰色 2.5G Y7/1 内 底色N5/0	
須恵器 脚附	C201 国版 158 第 182回		C地区 K14S J 第56回 下	マキアゲ・ミズビキ 全体的にていねいなヘラケヅ リ	胎	良 好	外 底色N7/0 内 底色N7/0 内 底色N7/0	
須恵器 高足壺	C202 国版 158 第 182回		C地区 K14T J 第56回 下		中や粗 胎 5mm 以下の白色砂粒 を多く含む	普通	外 底色N5/0 内 底色5 P5/1 内 底色N5/0	
須恵器 蓋子壺	C203 国版 158 第 182回		C地区 K13Y 基高 d 第56回 (蓋子 d 埋 蓋取用時)	マキアゲ・ミズビキ 15%の残存 使用未認められ ない。	胎 5mm 以下の白色砂粒 を含む	普通	外 底色N4/0 内 底色5 P5/1 内 底色N5/0 内 底色N5/0	中央にしきり のある形態か
青磁 皿	C210 国版 158 第 182回	残存高 8cm 高台径 (復元) 4.9cm	C地区 K13A D 第56回	ゴケ高台	胎	良 好	外 (無地) オリーブ黄色 7.5Y6/3 胎 内 淡褐色10Y8/1 内 淡褐色2.5Y7/3 胎 淡白色10Y8/1	
須恵器 鏡架	C211 国版 158 第 182回	残存高 4.5cm	C地区 K13T S C35E-1 鏡架 d (鏡 d 鏡 取用時)		胎 2.0mm以 下的白色砂粒 を含む	良 好	外 底色N7/0 内 底色N7/0 内 底色N7/0	
須恵器 円盤環	C212 国版 136 第84回	残存高 2.5cm	C地区 K14T K C35E-O S	マキアゲ・ミズビキ 両の部分に墨付着	胎 1mm以 下的白色砂粒 を少 量含む	普通	外 底色N7/0 内 にごい褐色 7.5Y7/3 内 底色10Y7/1	

種類	遺物番号	法 番 (m)	出 土 地 点	性 質	胎 土	燒 成	色 調	備 考
須恵器 円筒甌	C215 國版 156 第61回	現存高 1.9cm 底径 26.8cm	C地区 K14U L C366-O S	マキアグ・ミズビキ 全体に凹凸ナデ	面 1mm以下 の白色砂粒を 少々含む	堅 破	外 嘴ヨリープ灰 2.5G Y7/1 内 明ヨリープ灰 2.5G Y7/1 内 黄ヨリープ灰 2.5G Y7/1	
白磁碗	C219 國版 158 第 182回	口径 (復元) 10.6cm 現存高 2.3cm	C地区 K14V D 第61回 潟	マキアグ・ミズビキ ロ繩部カンナケズリ 全体的に施釉	面	良 好	外 (地) 純白色 5 G Y8/1 内 白色 N8/0 (地) 純白色 5 G Y8/1	
瓦器鏡	C220 第 133回	口径 (復元) 10.6cm 現存高 2.3cm	C地区 K14U L D C366 O S	ロ繩部ヨコナデ 内縁部文 高台径 5.4cm 高台高 0.6cm	2mm以下の灰 白色の小石を 少し含む	良 好	外 純白色 N8/0 灰白色 D9Y8/1 内 純白色 N4/0	
須恵器 盃蓋上器	C223 國版 158 第 182回	現存高 1.5cm 底径 10.4cm 高台径 8.4cm 高台高 0.4cm	C地区 K14S D 第61回 潟	マキアグ・ミズビキ 内縁部凹凸ナデ及び 縁ヨコナデ 外縁部ケズリ及び 墨書きあり	面 1.0mm以 上の黑色砂粒 及び 2.0mm以 上の白色砂粒 を含む	良 好	外 純白色 D9Y7/1 内 純白色 D9Y8/1 内 純白色 D9Y8/1	
須恵器 杯蓋	C224 國版 134 第 101回	口径 11.3cm 現存高 2.1cm つまみ筋 2.25cm	C地区 K14S J C456-O P	外縁部凹凸部へラケズリ 内縁部井型一定方向のナデ ロクロ右方向	面 6.1mm以 上の白色砂粒 を含む	良 好	外 純白色 N4/0 内 純白色 N6/0 内 黄色 N5/0	
須恵器 蓋	C226 國版 137 第57回	口径 19.2cm 現存高 32.5cm 高台高 12.5cm	C地区 K19D B C122-O R 高台	マキアグ・ミズビキ 外縁部平行タタキ 内縁部△タタキ	面 2.0mm以 上の白・灰色 砂粒を多く含む	良 好	外 純白色 D9Y7/1 内 純白色 D9Y8/1 内 純白色 D9Y8/1 内 黄色 N8/0	
須恵器 人面甌	C227 國版 134 第 95回	口径 (復元) 27.5cm 現存高 4.9cm 底径 (復元) 22cm 高台高 0.9cm	C地区 K14H K C481-O P	マキアグ・ミズビキ 内縁部凹凸ナデ 全体に凹凸ナデ	面 1mm以下 の白・灰色 砂粒を多く含む	良 好	外 純白色 2.5G Y7/2 内 純白色 2.5G Y8/1 内 純白色 2.5G Y8/1	
須恵器 甌	C242 國版 137 第 117回	口径 (復元) 12.1cm 現存高 15.0cm	C地区 K14W K C667-O W	マキアグ・ミズビキ 外縁部工具用いた三ヨコ方向 のナデ、外縁部上面自然輪	面 4.0mm以 上の白・灰色 砂粒を多く含む	良 好	外 青灰色 5 BC6/1 青灰色 5 BG5/1 内 青灰色 5 BC5/1	
須恵器 杯蓋	C246 國版 128 第66回	口径 10.8cm 現存高 1.8cm あぎくし	C地区 K19H C C132-O R	外縁部中部 2-3倍へラケズリ 内縁部天井部 1/3周心内タ クルを 1-2 本している (1 モ 2 本)。ロクロ右方向	面 2.0mm以 上の白色砂粒 及び 黑色粘物質 を少量含む	良 好	外 灰色 N4/0 内 黄色 2.5Y6/1 内 灰色 2.5Y6/1	
瓦器 甌	C247 國版 130 第58回	口径 15.4cm 現存高 14.9cm 現存高10.7cm 以下	C地区 K19B G C683-O R G.L. 2.8cm	内縁部凹凸方向のハケ目 (1 cm × 1.5cm) の後凹凸ナデ 内縁部並ばらばな風向のハ ケ目 (1cm × 4.5cm) の後工 具を使いた凹凸ナデが目よ り細くなる	面 1mm以 上の白・灰色 砂粒を少々含む タカリ健闘の 跡を含む	良 好	外 淡色 N4/0 内 云云 淡色 10Y8/6/3 内 淡色 N4/0	
須恵器 皿	C251 國版 137 第 117回	口径 16.4cm 現存高 6.3cm	C地区 K14V K C667-O W	内縁部凹凸ナデ作不定方 向のナデ、内縁部火炙あり ロクロ右方向	面	良 好	外 灰色 N6/0 内 純白色 N7/0 内 灰色 N6/0	
須恵器 大 甌	C252 第70回	現存高6.9cm	C地区 K13W S C78-O X 土器蓋	外縁部凹凸方向の丸子タタキ 外縁部凹凸方向の丸子タタキ 上面上面自然輪	面 1mm以下 の白色砂粒を含 む	堅 破	外 純白色 N4/0 内 純白色 N7/0 内 灰色 N6/0	
須恵器 杯身	C253 國版 137 第 117回	口径 8.8cm 現存高 3.5cm 底径 6.1cm	C地区 K14W K C667-O W 土器蓋	外縁部自然輪 凹凸及び内縁部自然輪 全体に凹凸ナデ	面 4.0mm以 上の灰・白色 砂粒を含む	良 好	外 淡色 N4/0 内 淡色 N6/0 内 灰色 N6/0	
須恵器 長筒甌	C254 國版 137 第 117回	現存高 24.7cm 底径 10.9cm 胴径 最大 19.2cm	C地区 K14W K C667-O W	外縁部凹凸ナデ 内縁部火炙ナデ ロクロ右方向	面 4.0mm以 上の灰・白色 砂粒を含む	堅 破	外 灰色 N7/0 明暎灰 10C Y8/1 内 成白色 N4/0	底部外側口 縁自然輪
須恵器 杯身	C255 第 117回	口径 11.1cm 現存高 3.05cm 底径 7.75cm	C地区 K14W K C667-O W	マキアグ・ミズビキ 内縁部火炙ナデ 内底一部一定方向のナ デ、内底一定方向内 のナデ	面 1mm以 上の白色砂粒及び 黑色粘物質を含 む	堅 破	外 淡色 N6/0 内 淡色 N6/0 内 成色 N6/0	外側自然輪
須恵器 皿	C257 國版 137 第 117回	口径 (復元) 15.7cm 現存高 1.55cm 底径 13.3cm	C地区 K14V K C667-O W 第57回	内縁部凹一定方向内ナデ 外縁部凹凸輪へラケ目ナデ調 整口縁凹凸ナデ	面 2.0mm以 上の白色砂粒を少 々含む	堅 破	外 純白色 2.5G Y6/1 純白色 2.5G Y6/1 内 純白色 2.5G Y6/1	
須恵器 杯身	C258 第 117回	口径 (復元) 16.4cm 現存高 5.1cm 底径 12.5cm	C地区 K14V K C667-O W 上層土器蓋	内縁部1-3倍ナデ作一定 方向のナデ、外縁部底 1/3周 ナデの後底調整 内底凹凸ナデ	面 2.0mm以 上の白色砂粒及び 黑色粘物質を含 む	良 好	外 灰色 NS/0 内 灰色 N6/0 内 灰色 N6/0	口縁ひずみ 外側底部自然 輪
須恵器 杯身	C 259 第 117回	口径 (復元) 14.0cm 現存高 4.4cm 底径 (復元) 10.1cm	C地区 K14V K C667-O W 上層土器蓋	マキアグ・ミズビキ 全体に凹凸ナデ	面 2mm以 上の白色砂粒を少 々含む	堅 破	外 純白色 N7/0 内 純白色 N7/0 内 灰色 N6/0	

種類	遺物番号	性 品 (cm)	出 土 地 点	技 法	施 土	焼 成	色 調	備 考
煮器 杯身	C200 第 117号	口径 (復元) 12.9cm 高さ 3.8cm 底径 (復元) 9.1cm	C地区 K14V K C067 - OW 草田層	外側底部同軸ヘラ切削調整 外側口縁部 1/2周灰色を含む	表面 1mm以下 の白色砂粒を含む	堅 硬	外 復元10Y4/1、N6.0 復元N7/0 内 灰白色N7/0	
煮器 杯身	C201 第 117号	口径 (復元) 10.95cm 高さ 3.8cm 底径 (復元) 7.4cm	C地区 K14V K C067 - OW 上層出土土	マキアグ・ミズビキ 外側底部・表裏工具を用いた 凹面ナギ・内側天井部 1/2周 一定方向のナギ	底 2mm以 下の白色砂粒 を含む	堅 硬	外 復元N6.0 内 灰白色N6.0	
煮器 杯身	C202 第 118号	口径 (復元) 9.9cm 高さ 3.8cm 底径 (復元) 6.9cm	C地区 K14V K C063 - OX	外側底部に「×」のヘラ切削 あり、内側天井部 1/2周凹面ナギ ・内側天井部 1/2周一定方向 のナギ	底 1mm以下 の白色砂粒を含む	堅 硬	外 オリーブ灰色 断 復元10Y6/1 復元底部10Y6/1 内 灰白色N7/0	外側底部自然 無
煮器 杯身	C204 第 118号	口径 (復元) 14.5cm 高さ 3.1cm	C地区 K14V L C063 - OX	マキアグ・ミズビキ 外側底部 1/2周輪ヘラケツリ の後ナギ・内側底部 1/2周輪 ナギの後一定方向のナギ	普通 2mm以 下の白色砂粒 及び4mm以上 の灰色 小石砂粒含 黒色粘物質	食 好	外 復元N7/0 内 復元N7/0 底 灰白色N6.0	
煮器 杯身	C205 第 143号	口径 (復元) 13.15cm 高さ 3.5cm	C地区 K14V L C063 - OX	内面に角突きでうろここの「 えだす」状の横筋模様あり、 並みわざりあり。外側底部 輪ヘラ切り後ナギ調整	底 6mm以 下の 白色砂粒 黒色粘物質を 多く含む	堅 硬	外 底延部10Y6/1 内 灰白色10Y7/1	完形品
煮器 杯身	C206 第 143号	口径 (復元) 14.6cm 高さ 2.6cm	C地区 K14V L C063 - OX	マキアグ・ミズビキ 内面天井部 1/2周輪ナギ後調 整・外側天井部小魚眼輪ヘラ ケツリ後ナギ調整	底 1mm以下 の白色砂粒 を含む	堅 硬	外 オリーブ灰色 断 オリーブ灰色 2.5GY6/1 内 10Y6/1灰色 2.5GY6/1	
煮器 杯身	C207 第 118号	口径 (復元) 12.6cm 高さ 3.6cm 底径 (復元) 8.8cm	C地区 K14V L C063 - OX	マキアグ・ミズビキ 内側底部 1/2周輪ナギ後不 一定方向のナギ・ロクヨウ方向	普通 2mm以 下の白色砂粒 及 2mm以上 の灰色 小石砂粒含 黒色粘物質	食 好	外 復元N6.0 内 復元N5.0 底 灰白色N5.0	
煮器 杯身	C208 第 118号	口径 (復元) 16.0cm 高さ 2.4cm 底径 (復元) 2.6cm 高さ 8cm	C地区 K14V L C067 - OW の葉裏	外側天井部同軸ヘラケツリ の後ナギ・内側底部凹面ナギ後 凹面ナギ後一定方向のナギ ロクヨウ方向	粗 2mm以 下の 白色砂粒及 び2-4mmの 灰色小石砂粒 を含む	食 好	外 復元N7.0 内 灰白色N5.0 底 灰白色N6.0	外側自然無
煮器 杯身	C209 第 143号	口径 (復元) 17.25cm 高さ 2.85cm	C地区 K14V L C063 - OX	外側天井部凹面ヘラケツリ後 ナギ・内側底部凹面ナギ後 凹面ナギ後一定方向のナギ ロクヨウ方向	底 3mm以 下の 白色砂粒を 多く含む	堅 硬	外 復元N6.0 内 復元N7.0 底 灰白色N7.0	
煮器 皿	C210 第 143号	口径 (復元) 31.0cm 高さ 2.4cm 底径 (復元) 28.00cm	C地区 K14V L C063 - OX	マキアグ・ミズビキ 内側底部凹面ヘラケツリ後 凹面ナギ後一定方向のナギ ロクヨウ方向	やや粗 3mm以 下の 白色砂粒を 多く含む	堅 硬	外 底延部5G6/1 内 5GY7/1 底 5GY6/1	
煮器 杯身	C212 第 55号	口径 (復元) 12.15cm 高さ 4.0cm	C地区 K14T B 河原 C306 - OX の葉裏	外側天井部凹面ヘラケツリ及 びヘラ突起・内側天井部凹面 ナギ後一定方向のナギ ロクヨウ方向	中や粗 5mm以 下の 白色砂粒及 び2-4mmの 灰色小石砂粒 を多く含む 黒色粘物質が 認められる	不 硬	外 底 5GY8/2 内 5GY8/1 底 5GY8/1	
煮器 杯身	C213 第 143号	口径 (復元) 13.8cm 高さ 4.9cm 底径 (復元) 2.7cm 高さ 2.7cm	C地区 K14V L C063 - OX	内側天井部凹面ナギ後不 一定方向のナギ・つまみはりつ ロクヨウ方向	底 黑色粘物 質を含む	食 好	外 復元N6.0 内 10Y5/1 内 灰白色N7.0 底 オリーブ色 7.5Y5/1	完形品 外側全体自然 無
深 口 盤	C214 第 84号	口径 (復元) 17.7cm 高さ 3.3cm 底径 (復元) 2.8cm 高さ 1.0cm	C地区 K14T K C306 - OS	外側天井部凹面ヘラケツリ 内側・凹面ナギ後不一定方 向のナギ ロクヨウ方向	粗 2mm以 下の 白色砂粒含 む	食 好	外 復元N7.0 内 復元N7.0 内 灰白色10Y7/1	
煮器 杯身	C215 第 135号	口径 (復元) 15.6cm 高さ 2.7cm	C地区 K14T K C306 - OS	マキアグ・ミズビキ 内側天井部凹面ヘラケツリ後 ナギ・他は凹面ナギ	食 2mm以 下の 白色砂粒を 含む	堅 硬	外 復元5G6/1 内 復元10G6/1 内 底 10G6/1	外側全体自然 無
煮器 杯身	C216 第 84号	口径 (復元) 15.1cm 高さ 4.0cm	C地区 K14T L C306 - OS	マキアグ・ミズビキ 内側天井部凹面ヘラケツリ後 ナギ・全体に凹面ナギ	粗 2mm以 下の 白色砂粒及 び2-4mmの 灰色小石砂粒	食 好	外 復元N7.0 内 灰白色N7.0 底 灰白色N7.0	
煮器 杯身	C217 第 84号	口径 (復元) 12.3cm 高さ 4.0cm	C地区 K14T L C306 - OS	マキアグ・ミズビキ 天井部外側凹面ヘラ切削ナギ ・内側凹面ナギ後大き く3方向にナギ	底 3mm以 下の 白色砂粒を 含む 黒色粘物質が 認められる	食 好	外 復元10G6/1 内 明オリーブ灰色 5GY7/1 内 明オリーブ灰色 5GY7/1	
煮器 杯身	C218 第 84号	口径 (復元) 13.5cm 高さ 3.8cm 底径 (復元) 10.8cm	C地区 K14T L C306 - OS	外側底部削さえ 内側底部凹面調整 ロクヨウ方向	底 3mm以 下の 白色砂粒を少 し及び黒色粘 物質を含む	食 好	外 復元10G6/1 内 灰白色N7.0 底 灰白色N7/0	口縁少量自 然無かかる

種類	遺物番号	法 異 (cm)	出 土 地 点	註 法	胎 土	焼 成	色 調	備考
須磨器 斧身	C269 國版 135 第64回	口径 (復元) 12.1cm 器高 3.3cm	C地区 K14RL C356-O-S	マキアグ・ミズビキ 外面底面粘土ひら肌ナダ 輪刃削面軸	胎 1mm以下 の白色砂粒含む	良 好	外 内 底 面 底 部 内 底 部 内	褐色N6/0 底白色N7/0 底白色N7/0
須磨器 斧身	C281 國版 116回	口径 12.4cm 器高 3.6cm	C地区 K14V-L C667-OW 輪の集石	マキアグ・ミズビキ 内部底面削面へ一定方向 のナダ、外側底面粘土ひら肌 残る。	やや粗 2mm 以上の白色砂 粒含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色N6/0 底白色N6/0 底白色N6/0
須磨器 斧身	C282 國版 135 第55回	口径 (復元) 11.5cm 器高 3.1cm 底径 (復元) 7.9cm	C地区 K14RL C356-O-S	マキアグ・ミズビキ 外側底面削面へラ形状及びだ すさ秋の變成度あり	胎 1mm以下 の白色砂粒を少 量含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色オーラー灰 2.5G Y7/1 底白色2.5G Y8/1 底白色N6/0
須磨器 斧身	C283 國版 142 第 118回	口径 (復元) 11.5cm 器高 3.85cm	C地区 K14V-L C667-OW 輪の集石	マキアグ・ミズビキ 外側底面粘土ひら肌後ナダ、 及びヘラ足跡あり 他のは削面ナダ	胎 1mm以下 の白色砂粒及び 2mmの白色 小石を含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色N4/0 底白色N7/0 底白色N6/0
須磨器 斧身	C284 國版 143 第 118回	口径 (復元) 13.7cm 器高 3.4cm	C地区 K14V-L C625-O-X	マキアグ・ミズビキ 内部底面削面へ一切削面 ロクロ右方内	やや粗 3mm 以下の白色砂 粒を多量に及 び黒色砂粒を 認める	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N7/0 底白色N6/0 底白色N6/0 底色10Y6/0
須磨器 斧身	C285 國版 142 第 118回	口径 (復元) 13cm 器高 3.85cm	C地区 K14V-L C823-O-X	マキアグ・ミズビキ 口縁部丸みを含 外側底面粘土ひら肌後ナダ	胎 1mm以下 の白色砂粒及び 2mmの白色 小石を含む 黑色砂粒も含 む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N7/0 底白色N7/0 底白色N7/0 底色灰色N6/0
須磨器 口刀身	C286 國版 142 第 118回	残存高 8.9cm	C地区 K14S-K C356-O-S	マキアグ・ミズビキ 全体全体に黒色縫隙に 自然物、外側底面～削面自然物 かなり多くかかる	胎 4mm以下 の白色砂粒及 び黒色砂粒を 多量含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色オーラー色 1.5Y6/2 底白色N8/0 底白色N8/0
須磨器 斧身	C287 國版 135 第64回	口径 (復元) 13.0cm 器高 3.55cm	C地区 K14U-L C356-O-S	外側底面削面へ一切削ナダ 丸みをもたらす 外側底面削面はあくまで 灰色を呈す	やや粗 3mm 以下の白色砂 粒を多量に及 び黒色砂粒を 認める	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N7/0 底黑色10G Y7/1 底白色N7/0
須磨器 斧身	C288 國版 143 第 118回	口径 (復元) 16.5cm 器高 4.45cm	C地区 K14V-L C625-O-X	マキアグ・ミズビキ 内面天井部削面ナダ後不平行 のナダ、他は削面ナダ	胎 4mmの底 部小石及び黑 色砂粒を多く含 む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N8/0 底黑色7.5R6/2 底白色N7/0
須磨器 斧身	C289 國版 142 第 118回	口径 16.0cm 器高 4.25cm 底径 11.8cm	C地区 K14V-K C823-O-X	内面底面削面ナダ後一定方向 のナダ、外側底面削面へ切 削ナダ調整、外側底面削面 ひら肌残るツメ彫認められる 丸みを含む	やや粗 4mm 以下の白色砂 粒を多量含む 黑色砂粒を含む	不 良	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色N6/0 底白色N8/0 底白色N7/0 底白色N7/0
須磨器 斧身	C290 國版 143 第 118回	口径 16.5cm 器高 4.2cm	C地区 K14V-K C823-O-X	内面底面削面ナダ後一定方向 のナダ、内面底面削面による 削面ナダ、底面底面粘土ひら 肌が残り未調査	胎	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N6/0 底白色N6/0 底白色N6/0
須磨器 斧身	C291 國版 142 第 118回	口径 (復元) 15.2cm 器高 3.8cm	C地区 K14V-K C623-O-X	マキアグ・ミズビキ 外側底面粘土ひら肌の底ナダ 他は削面ナダ	胎 1mm以下 の白色砂粒及 び黑色砂粒を 含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N8/0 底白色N8/0 底白色N7/0
須磨器 錐	C292 國版 143 第 118回	口径 (復元) 12.45cm 器高 5.5cm	C地区 K14V-K C823-O-X	マキアグ・ミズビキ 内面天井に大きめの底の底成度 丸み 体部～底面静止へラケズリ	良 好 1mm以下 の白色砂粒及 び黑色砂粒を 多量含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色10G Y5/1 底黑色5R6/1 底白色N7/0
須磨器 斧身	C293 國版 118回	口径 13.55cm 器高 3.9cm	C地区 K14V-L C623-O-X 輪の集石	マキアグ・ミズビキ 外側底面削面へ一切削面 丸みをもたらす 底面底面粘土ナダ ナダの後三分割のナダ	やや粗 3mm 以下の白色砂 粒を多量含む	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色色10G G6/1 底黑色5B G6/1 底白色3BG5/1
須磨器 斧身	C294 國版 143 第 118回	口径 (復元) 30.5cm 器高 6.6cm 底径 (復元) 14.95cm	C地区 K14V-L C823-O-X	マキアグ・ミズビキ 内部に削面ナダ 底面ハリツリ付近はヘラケズ リ	胎 1mm以下 の白色砂粒及 び黑色砂粒を 認める	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色色10G 5/1 底黑色10G Y8/1 底白色N8/0
須磨器 斧身	C295 國版 135 第64回	口径 (復元) 14.0cm 器高 4.0cm 底径 (復元) 9.3cm	C地区 K14S-L C356-O-S	マキアグ・ミズビキ 内部に削面ナダ 底面ハリツリ付近はヘラケズ リ	良 好 1mm以下 の白色砂粒及 び黑色砂粒を 認める	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	底白色N8/0 底黑色2.5G Y7/1 底黑色2.5G Y7/1
須磨器 斧身	C296 國版 135 第64回	口径 (復元) 14.25cm 器高 3.75cm 底径 (復元) 9.8cm	C地区 K14T-L C356-O-S	マキアグ・ミズビキ 全体に削面ナダ 外側底面削面ナダあくま ど底土ひら肌の残る	胎 1mm以下 の白色砂粒を 少量含む、黑 色砂粒を認める	良 好	外 内 底 部 内 底 部 内	褐色色10G Y7/1 底白色N8/0